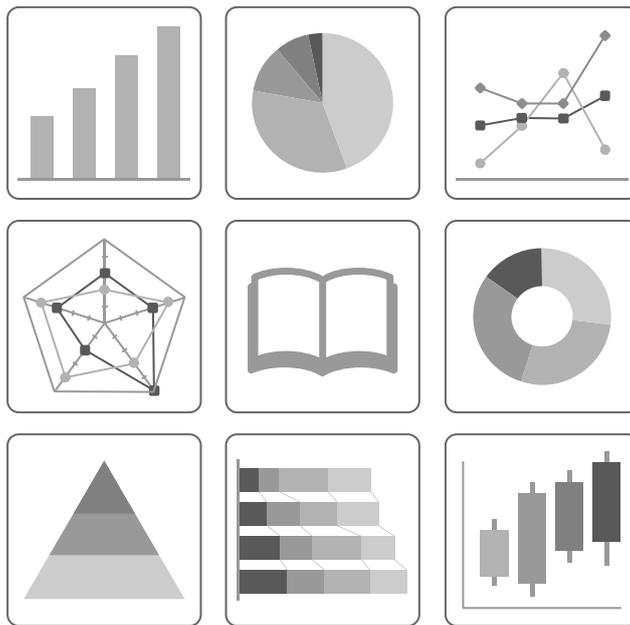


河南町 地域福祉に関するアンケート 調査結果報告書



令和 5 年 3 月

河 南 町

河南町社会福祉協議会

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
(1)	回答者属性.....	2
(2)	世帯のことについて.....	5
(3)	地域との関わり合いについて.....	6
(4)	地域での活動について.....	31
(5)	悩みごとや福祉に関する相談先について.....	52
(6)	社会的な課題について.....	58
(7)	災害発生時における助け合い活動について.....	73
(8)	記述式項目への回答.....	79

I 調査の概要

1 調査の目的

町民の皆様にご意見を伺い、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関するご意見などをお聞きし、「第4期河南町地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

河南町在住の18歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和4年8月4日から令和4年8月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
町民	1,000通	434通	43.4%

6 調査結果の表示方法

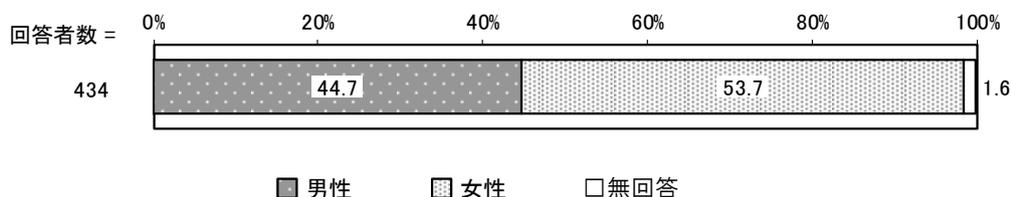
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

(1) 回答者属性

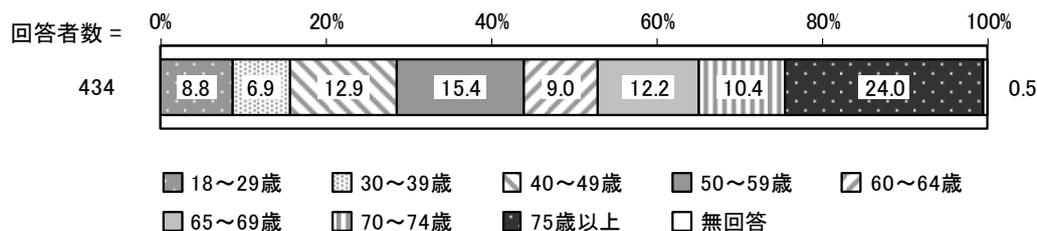
問1 あなたの性別についておうかがいします。(○は1つだけ)

「男性」の割合が44.7%、「女性」の割合が53.7%となっています。



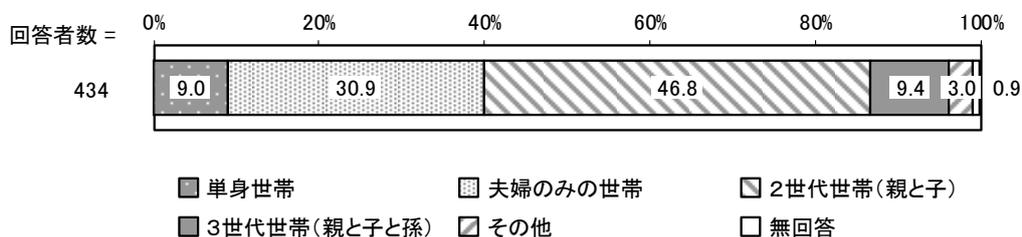
問2 あなたの年齢は次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

「75歳以上」の割合が24.0%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が15.4%、「40～49歳」の割合が12.9%となっています。



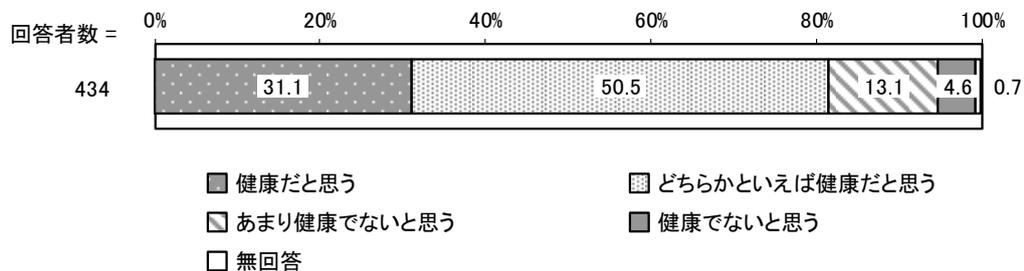
問3 あなたの世帯構成はどのようになっていますか。(○は1つだけ)

「2世代世帯(親と子)」の割合が46.8%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が30.9%となっています。



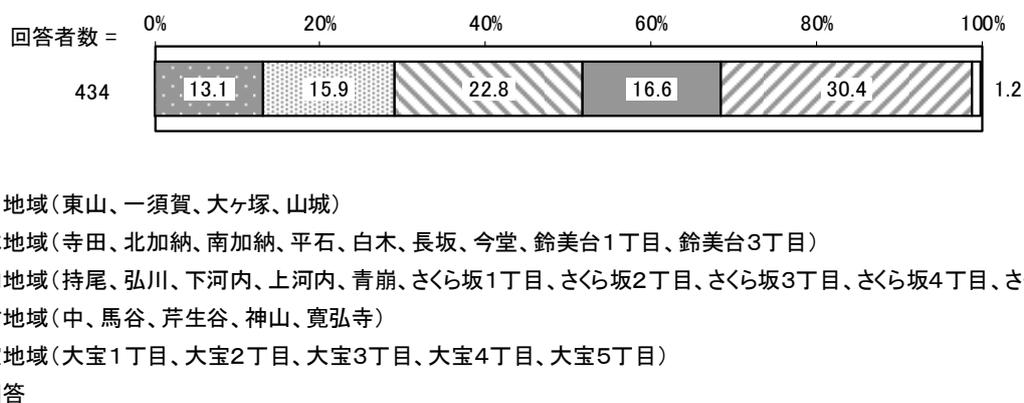
問4 あなたは、健康だと感じていますか。(○は1つだけ)

「健康だと思う」と「どちらかといえば健康だと思う」をあわせた“健康だと思う”の割合が81.6%、「あまり健康でないと思う」と「健康でないと思う」をあわせた“健康でないと思う”の割合が17.7%となっています。



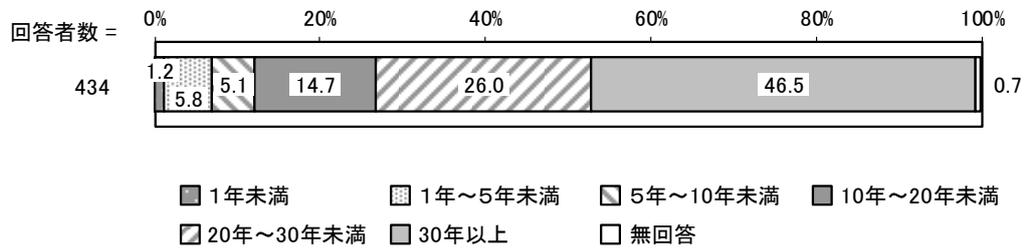
問5 あなたのお住まいの地域(旧小学校区)はどちらですか。(○は1つだけ)

「大宝地域(大宝1丁目、大宝2丁目、大宝3丁目、大宝4丁目、大宝5丁目)」の割合が30.4%と最も高く、次いで「河内地域(持尾、弘川、下河内、上河内、青崩、さくら坂1丁目、さくら坂2丁目、さくら坂3丁目、さくら坂4丁目、さくら坂南)」の割合が22.8%、「中村地域(中、馬谷、芹生谷、神山、寛弘寺)」の割合が16.6%となっています。



問6 あなたは、河南町に通算でどのくらいお住まいですか。(〇は1つだけ)

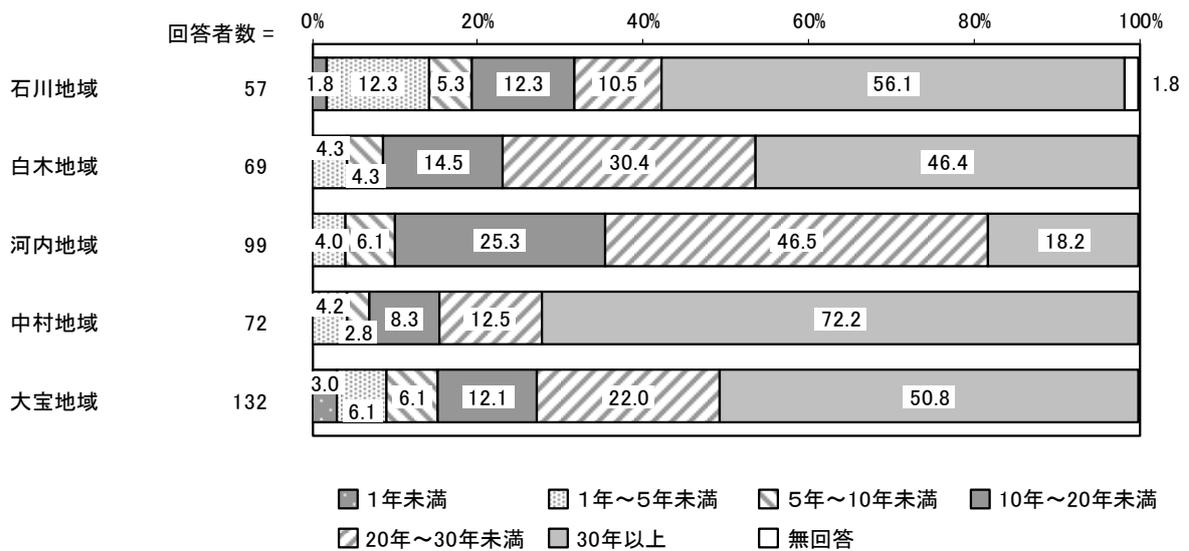
「30年以上」の割合が46.5%と最も高く、次いで「20年～30年未満」の割合が26.0%、「10年～20年未満」の割合が14.7%となっています。



【地域別】

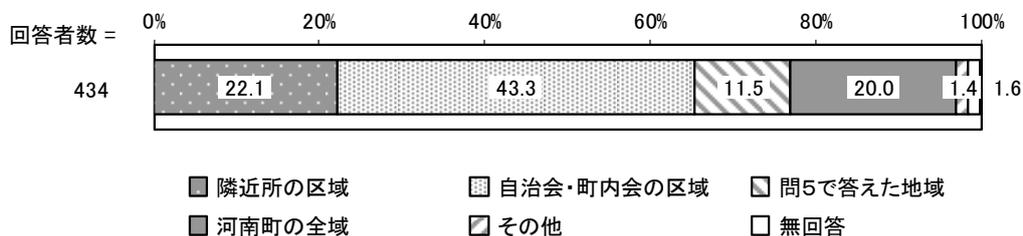
地域別でみると、他に比べ、石川地域で「1年～5年未満」の割合が高くなっています。また、河内地域で「20年～30年未満」の割合が、中村地域で「30年以上」の割合が高くなっています。

また、昭和45年から入居が始まった大宝地域でも半数以上の方が「30年以上」と答えています



問7 日常生活上、「地域で助け合う」ということを意識した場合、あなたの考える「地域」とは、次のどの範囲ですか。(〇は1つだけ)

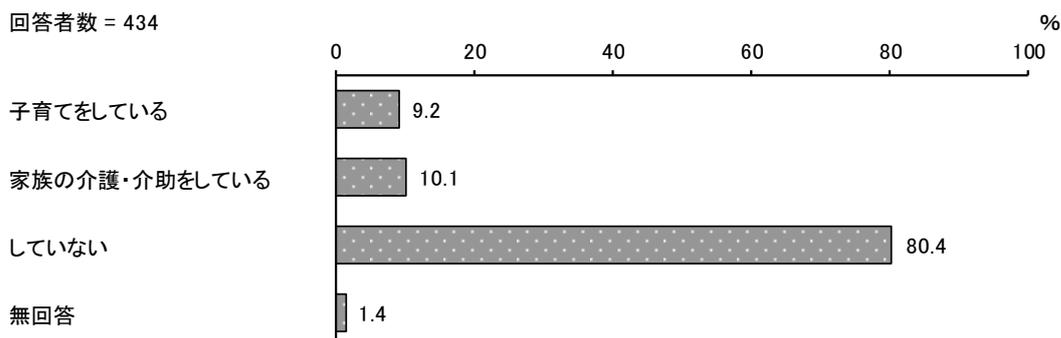
「自治会・町内会の区域」の割合が43.3%と最も高く、次いで「隣近所の区域」の割合が22.1%、「河南町の全域」の割合が20.0%となっています。



(2) 世帯のことについて

問8 あなたは、現在、就学前の子を育てていたり、ご家族（同居・別居を問わない）の介護・介助をしていますか。(あてはまるものすべてに〇)

「していない」の割合が80.4%と最も高く、次いで「家族の介護・介助をしている」の割合が10.1%となっています。

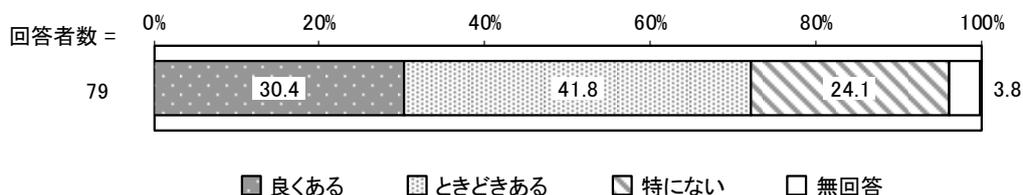


問8で「子育てをしている」「家族の介護・介助をしている」のいずれかにお答えの方に向かっていきます。

問8-1 あなたが子育てやご家族の介護・介助をしているなかで、生活上悩みや不安を感じることはありますか。(〇は1つだけ)

「ときどきある」の割合が41.8%と最も高く、次いで「良くある」の割合が30.4%、「特にない」の割合が24.1%となっています。

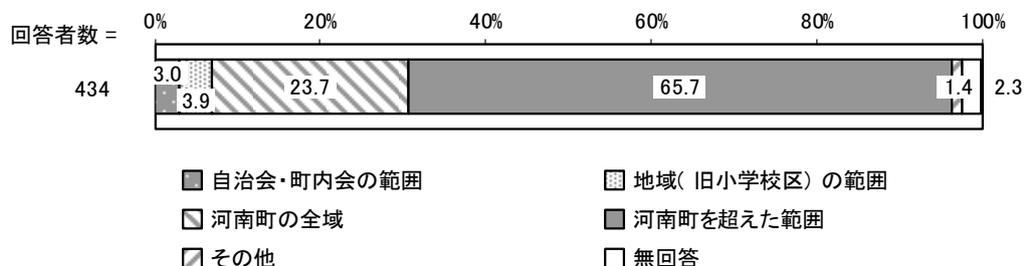
程度の差はありますが、7割を超える方が子育てや家族の介護・介助をする中で何らかの悩みや不安を感じています。



(3) 地域との関わり合いについて

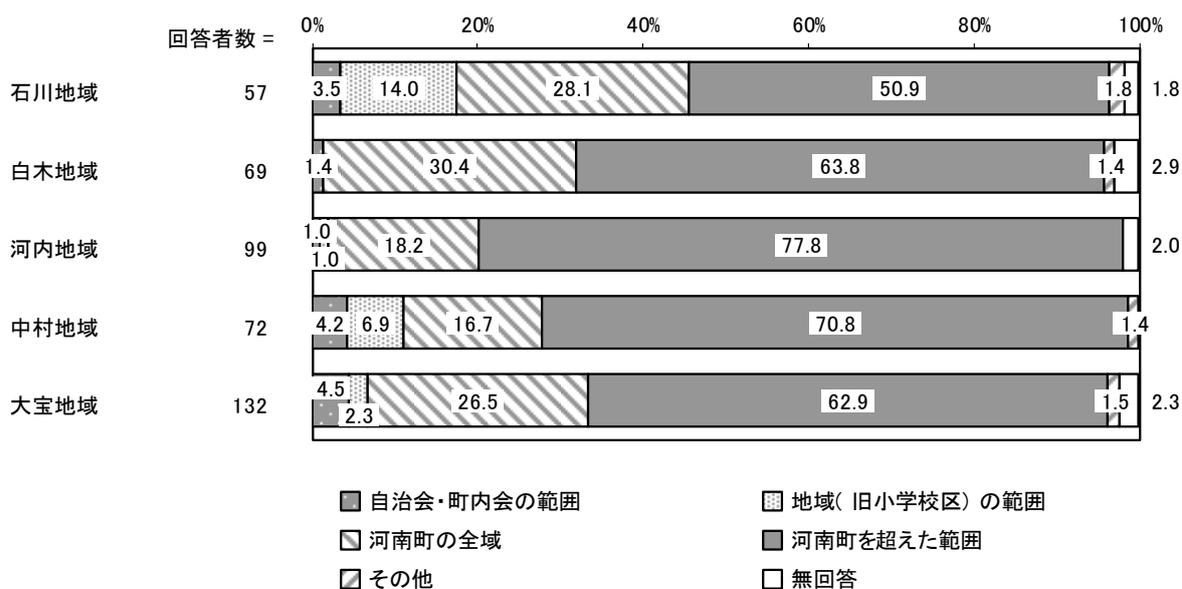
問9 通勤や通学は除いて、あなたが日常の買い物、活動などで行動する範囲は、次のどれに近いですか。(〇は1つだけ)

「河南町を超えた範囲」の割合が65.7%と最も高く、次いで「河南町の全域」の割合が23.7%となっています。



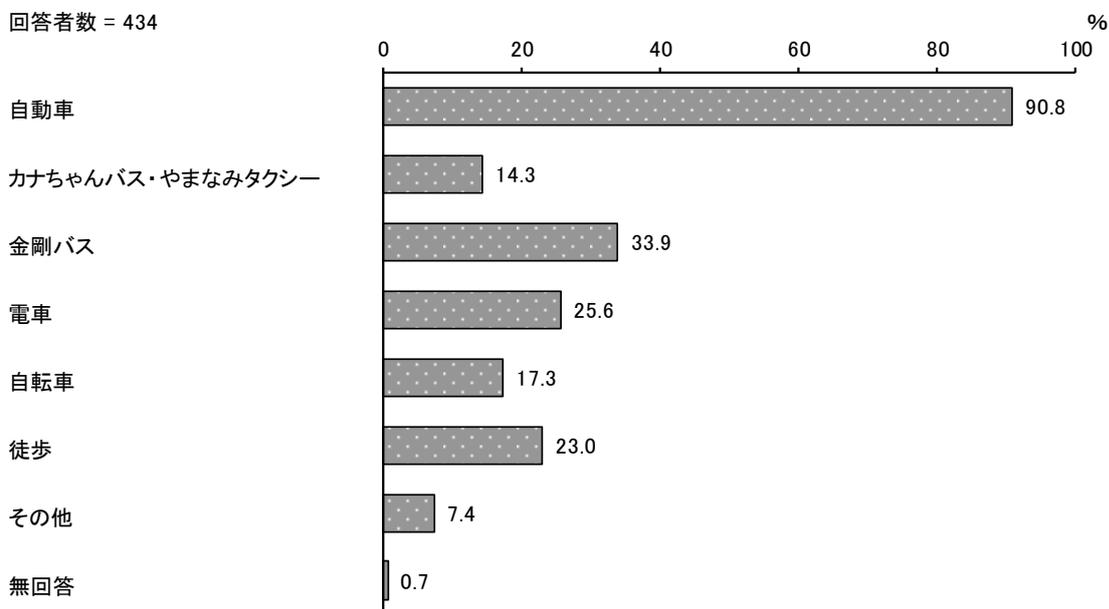
【地域別】

地域別でみると、他に比べ、河内地域で「河南町を超えた範囲」の割合が高くなっています。逆に石川地域では、半数近い方が日常の買い物や活動を河南町内で済ませています。



問 10 あなたのご家庭では、どのような移動手段をお持ちですか。また、普段の生活の移動手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「自動車」の割合が90.8%と最も高く、次いで「金剛バス」の割合が33.9%、「電車」の割合が25.6%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～29歳で「電車」「自転車」の割合が、75歳以上で「カナちゃんバス・やまなみタクシー」の割合が高くなっています。

75歳以上で「自動車」の割合が減り、「カナちゃんバス・やまなみタクシー」の割合が増えますが、75歳以上の8割の方が「自動車」を利用している状況にあります。

単位：%

区分	回答者数(件)	自動車	カナちゃんバス・やまなみタクシー	金剛バス	電車	自転車	徒歩	その他	無回答
18～29歳	38	92.1	2.6	42.1	42.1	36.8	31.6	2.6	—
30～39歳	30	93.3	6.7	26.7	16.7	16.7	16.7	10.0	—
40～49歳	56	96.4	12.5	39.3	26.8	26.8	17.9	12.5	—
50～59歳	67	95.5	13.4	38.8	37.3	28.4	25.4	11.9	—
60～64歳	39	94.9	10.3	33.3	23.1	2.6	17.9	2.6	—
65～69歳	53	96.2	13.2	20.8	24.5	15.1	22.6	3.8	—
70～74歳	45	93.3	17.8	28.9	15.6	13.3	20.0	6.7	—
75歳以上	104	79.8	23.1	36.5	20.2	6.7	26.9	6.7	1.0

【地域別】

地域別でみると、他に比べ、河内地域と大宝地域で「カナちゃんバス・やまなみタクシー」の割合が高くなっています。逆に石川地域では「カナちゃんバス・やまなみタクシー」を利用していると答えた方がいませんでした。また、石川地域は他地域に比べて「自転車」の割合が高くなっています。河南町の北に位置し他地域に比べて平坦なところが多いという地理的・地形的な要因が考えられます。

「金剛バス」を利用する方が多いのは大宝地域、河内地域、中村地域でした。

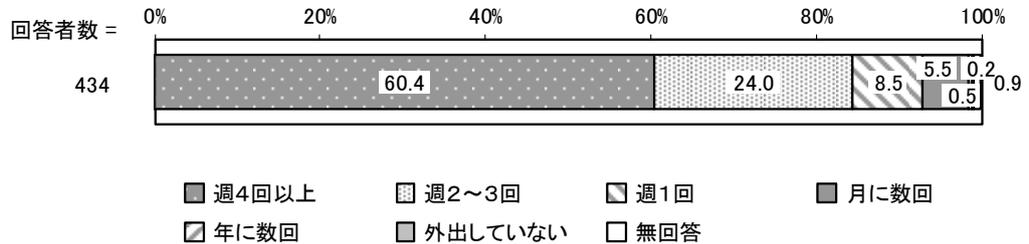
単位：％

区分	回答者数 (件)	自動車	カナちゃんバス・ やまなみタクシー	金剛バス	電車	自転車	徒歩	その他	無回答
石川地域	57	89.5	—	22.8	19.3	31.6	26.3	1.8	—
白木地域	69	88.4	5.8	21.7	21.7	13.0	13.0	10.1	1.4
河内地域	99	98.0	23.2	36.4	28.3	12.1	15.2	12.1	—
中村地域	72	94.4	9.7	33.3	25.0	19.4	30.6	8.3	—
大宝地域	132	87.1	21.2	43.9	28.8	16.7	28.8	3.8	—

問 11 あなたが外出する頻度はどのくらいですか。(○は1つだけ)

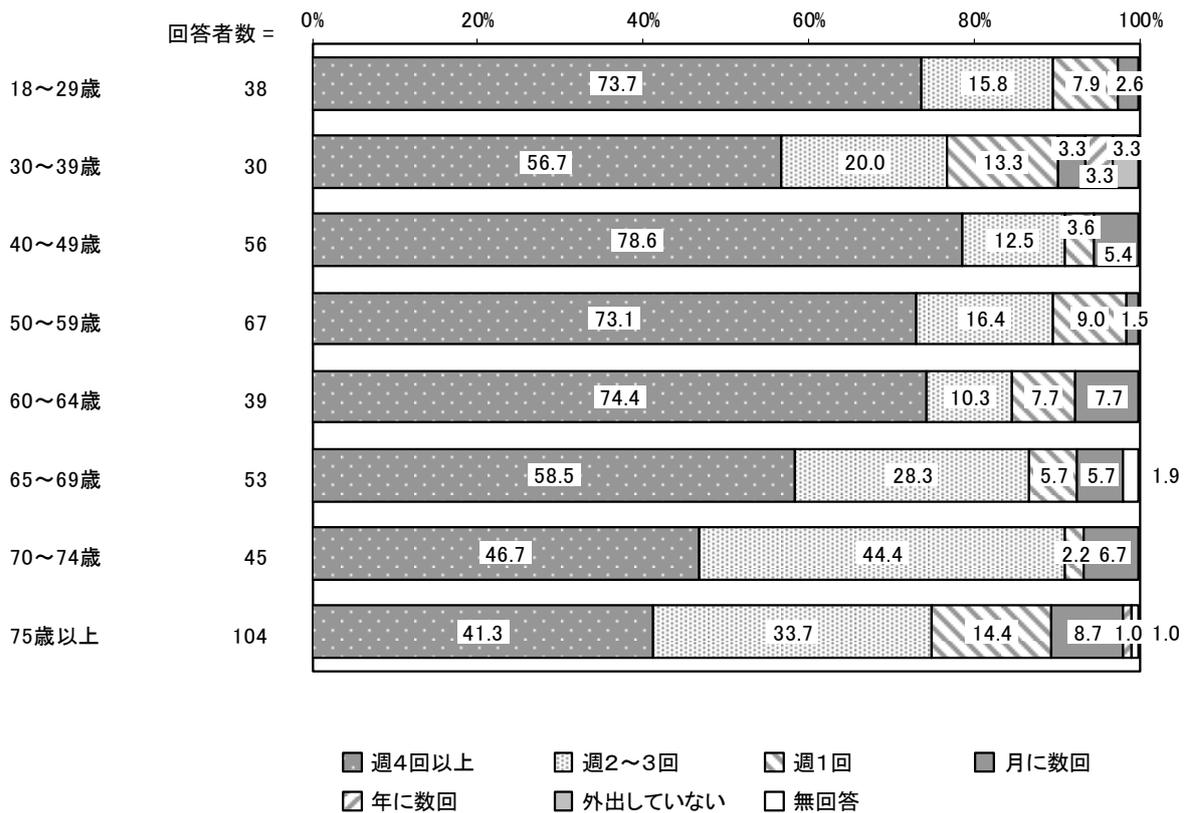
「週4回以上」の割合が60.4%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が24.0%となっています。

また、週1回以下しか外出しない方が14.7%となっています。



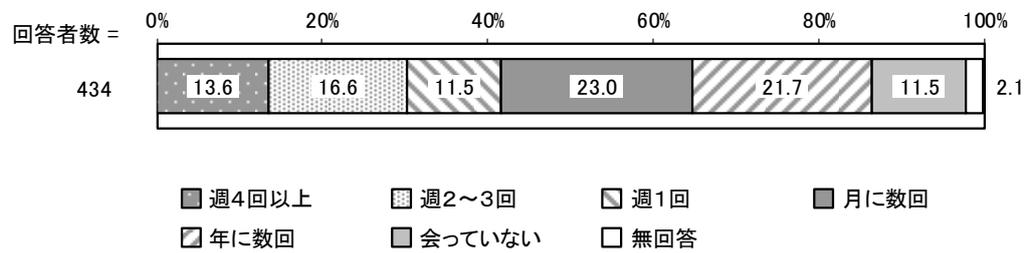
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「週2～3回」の割合が高くなっています。また、週4回以上外出する人の割合は、年齢が高くなるほど低くなる傾向にあります。



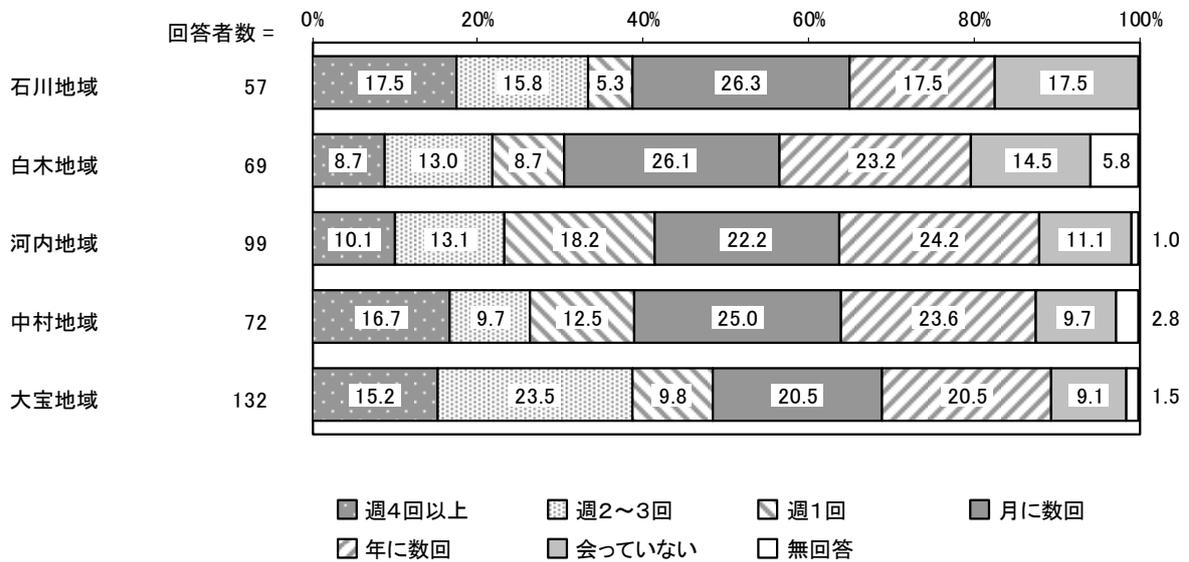
問 12 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つだけ)

「月に数回」の割合が23.0%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が21.7%、「週2～3回」の割合が16.6%となっています。



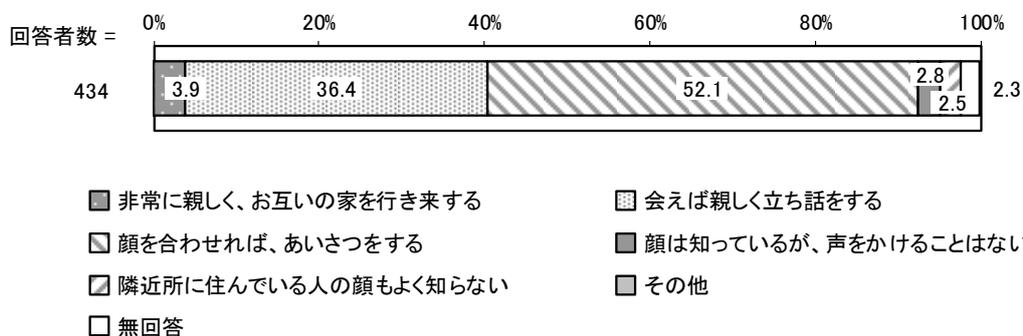
【地域別】

地域別でみると、他に比べ、大宝地域で「週2～3回」の割合が高くなっています。また、石川地域で「会っていない」の割合が高くなっています。



問 13 ふだん近所の人と、どの程度の付き合いをしていますか。(〇は1つだけ)

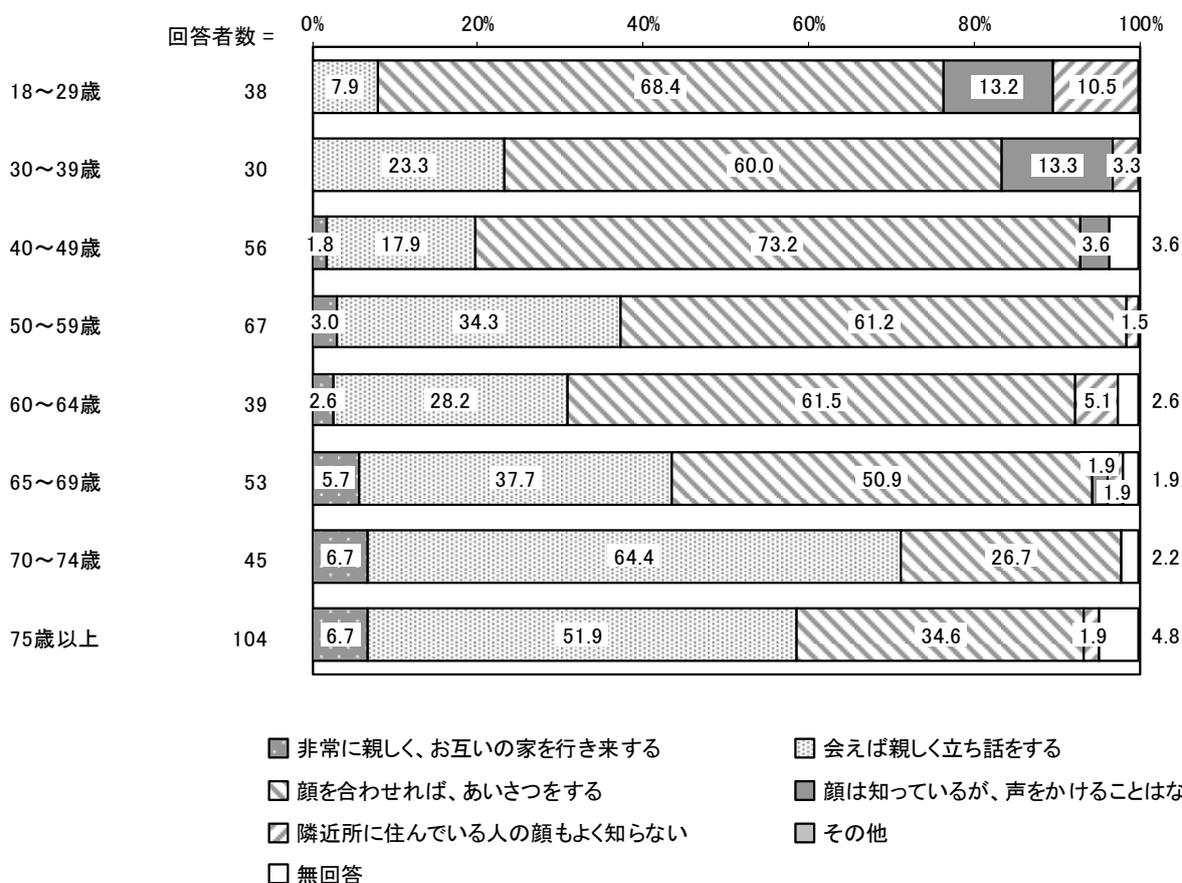
「顔を合わせれば、あいさつをする」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「会えば親しく立ち話をする」の割合が 36.4%となっています。



【年齢別】

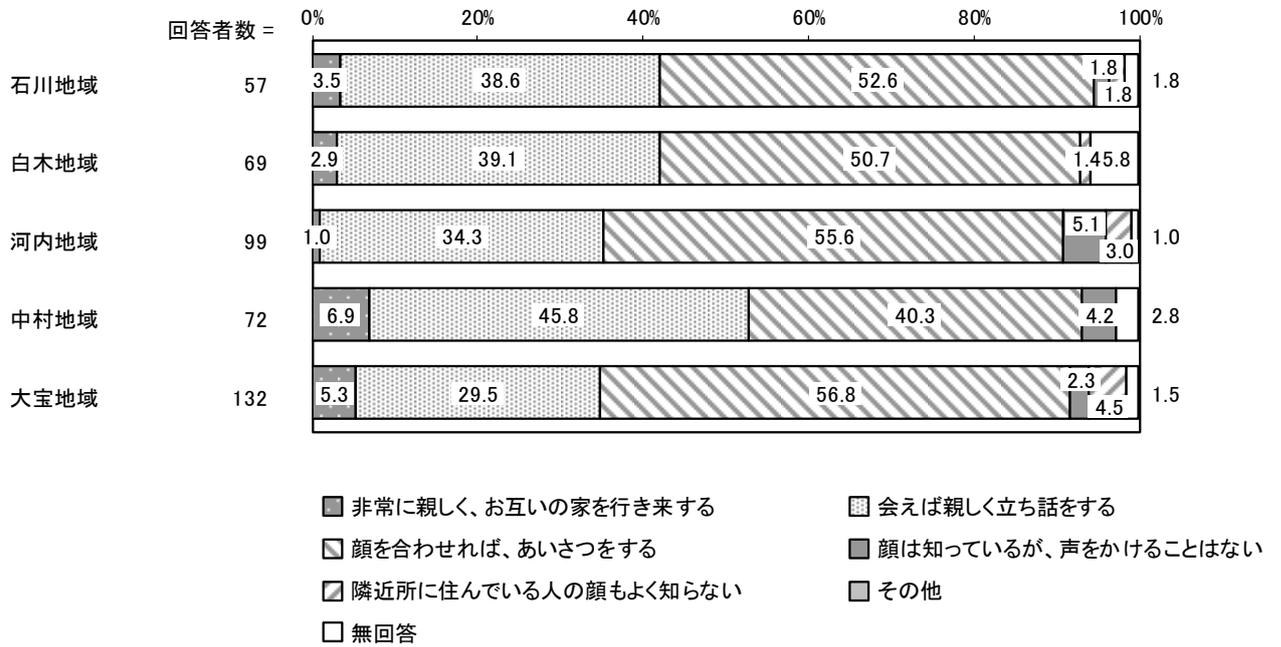
年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「会えば親しく立ち話をする」の割合が高くなっています。

70歳未満では、半数以上の方が「顔を合わせれば、あいさつをする」程度の付き合いにとどまっていると言えます。



【地域別】

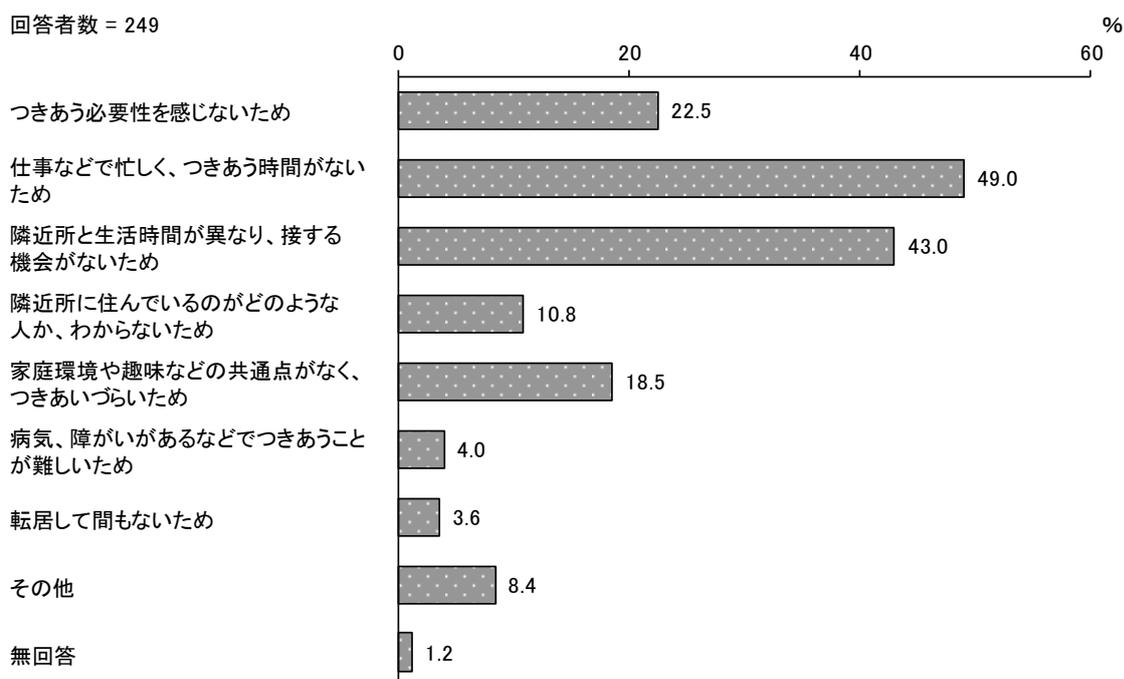
地域別でみると、他に比べ、中村地域で「非常に親しく、お互いの家を行き来する」、「会えば親しく立ち話をする」の割合が高くなっています。



問 13 で「顔を合わせれば、あいさつをする」「顔は知っているが、声をかけることはない」「隣近所に住んでいる人の顔もよく知らない」のいずれかにお答えの方にかがいます。

問 13-1 近所づきあいがあまりないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事などで忙しく、つきあう時間がないため」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が 43.0%、「つきあう必要性を感じないため」の割合が 22.5%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、30歳以上では年齢が低くなるにつれ「仕事などで忙しく、つきあう時間がないため」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、40～49歳で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	つきあう必要性を感じないため	仕事などで忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいがつらいため	病気、障がいがあるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	その他	無回答
18～29歳	35	25.7	45.7	48.6	14.3	20.0	—	5.7	2.9	—
30～39歳	23	34.8	69.6	39.1	21.7	8.7	4.3	4.3	8.7	—
40～49歳	43	16.3	62.8	58.1	14.0	18.6	4.7	2.3	9.3	—
50～59歳	42	14.3	61.9	35.7	14.3	16.7	—	7.1	9.5	—
60～64歳	26	11.5	57.7	30.8	3.8	26.9	3.8	—	15.4	—
65～69歳	29	27.6	41.4	34.5	—	13.8	3.4	6.9	10.3	3.4
70～74歳	12	33.3	33.3	33.3	—	8.3	—	—	8.3	—
75歳以上	38	28.9	15.8	50.0	10.5	26.3	13.2	—	5.3	2.6

【地域別】

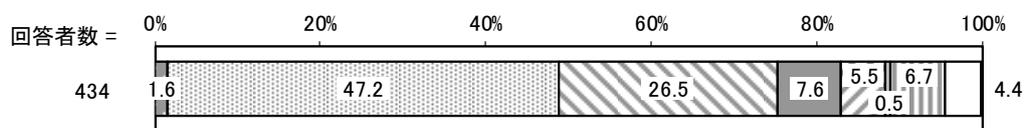
地域別でみると、他に比べ、白木地域、中村地域で「仕事などで忙しく、つきあう時間がないため」の割合が高くなっています。また、中村地域で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	つきあう必要性を感じないため	仕事などで忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいがつらいため	病気、障がいがあるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	その他	無回答
石川地域	32	31.3	56.3	34.4	6.3	18.8	3.1	6.3	6.3	3.1
白木地域	36	25.0	58.3	30.6	11.1	16.7	5.6	2.8	16.7	—
河内地域	63	22.2	50.8	49.2	14.3	14.3	3.2	1.6	6.3	—
中村地域	32	12.5	59.4	56.3	3.1	28.1	6.3	3.1	—	—
大宝地域	84	22.6	36.9	41.7	13.1	19.0	3.6	3.6	10.7	1.2

問 14 あなたは今後、ご近所との関わりをどのようにしたいですか。(〇は1つだけ)

「隣近所の人との付き合いを大切にしたい」の割合が47.2%と最も高く、次いで「地域全体を良くする活動については、協力し合って行いたい」の割合が26.5%となっています。

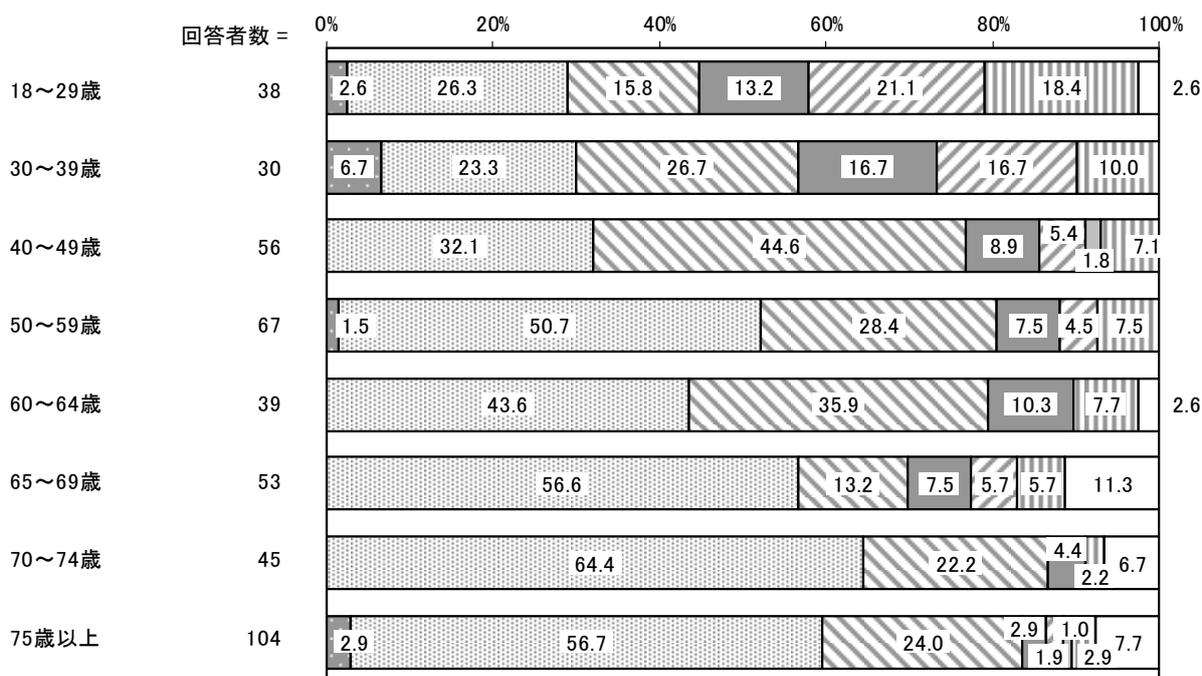


- 心から打ち解け合える関係を築きたい
- 隣近所の人との付き合いを大切にしたい
- 地域全体を良くする活動については、協力し合って行いたい
- あまり関わりを持ちたくない
- 興味がない
- その他
- わからない
- 無回答

【年齢別】

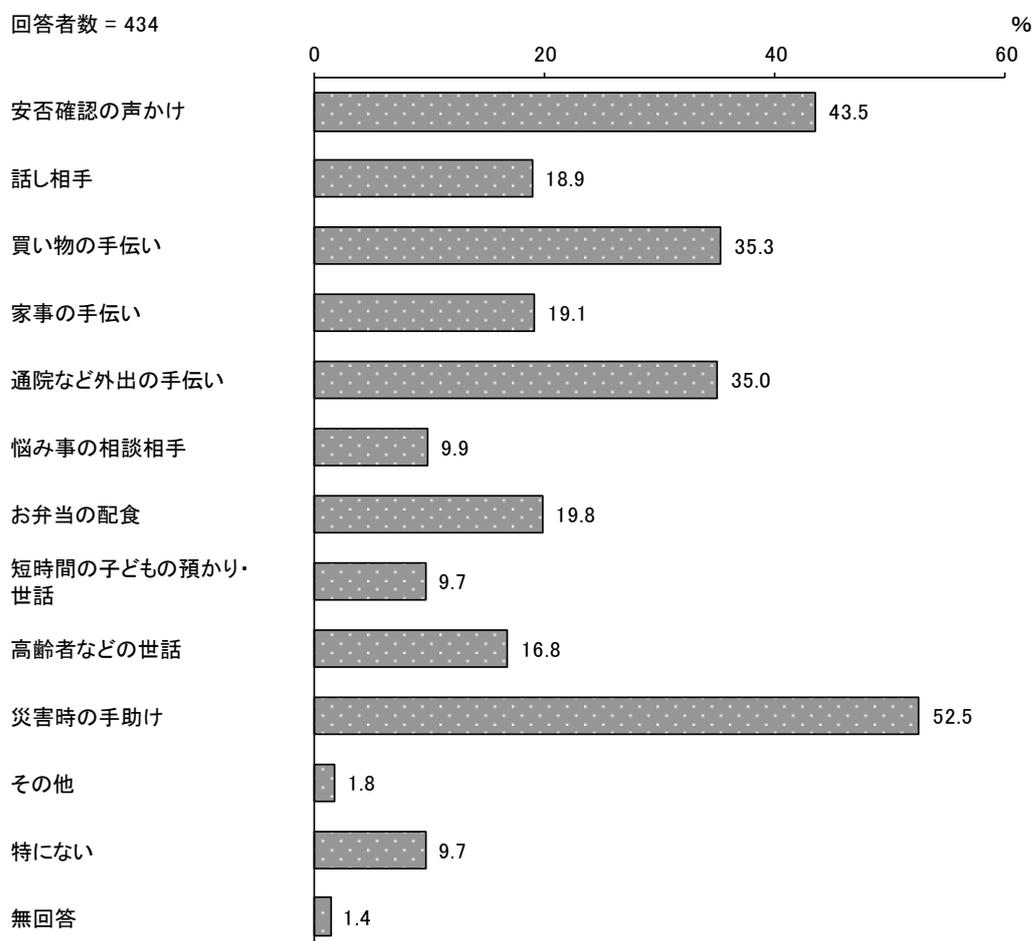
年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「隣近所の人との付き合いを大切にしたい」の割合が、40～49歳で「地域全体を良くする活動については、協力し合って行いたい」の割合が高くなっています。40～49歳の方は、活動に参加しやすくなる仕掛けがあれば、活動に参加してくれる可能性があります。

また、18～29歳、30～39歳は「あまり関わりを持ちたくない」の割合が他世代より高くなっていますが、「隣近所の人との付き合いを大切にしたい」、「地域全体を良くする活動については、協力し合って行いたい」を合わせた割合が5割近くあります。



問 15 あなたやご家族が、高齢や病気、または子育てなどで日常生活が不自由になった時、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「災害時の手助け」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「安否確認の声かけ」の割合が 43.5%、「買い物の手伝い」の割合が 35.3%となっています。



【地域別】

地域別でみると、他に比べ、中村地域、大宝地域で「安否確認の声かけ」の割合が高くなっています。また、河内地域で「災害時の手助け」の割合が高くなっています。

単位：%

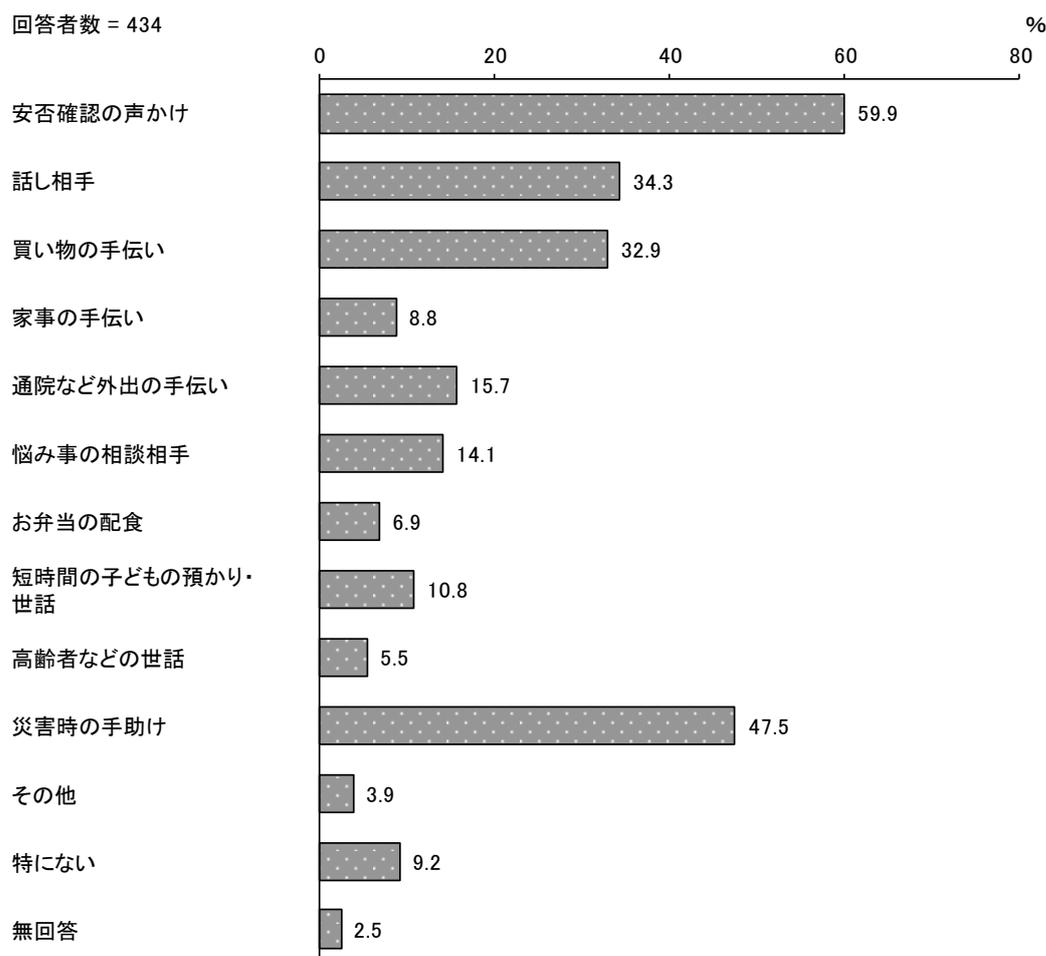
区分	回答者数(件)	安否確認の声かけ	話し相手	買い物の手伝い	家事の手伝い	通院など外出の手伝い	悩み事の相談相手	お弁当の配食	預かり・子どもの短時間の子どもの世話	高齢者などの世話	災害時の手助け	その他	特にない	無回答
石川地域	57	40.4	19.3	28.1	22.8	33.3	14.0	19.3	15.8	17.5	47.4	1.8	12.3	—
白木地域	69	37.7	11.6	31.9	15.9	42.0	7.2	21.7	10.1	13.0	44.9	4.3	8.7	5.8
河内地域	99	40.4	21.2	34.3	19.2	31.3	13.1	23.2	11.1	17.2	60.6	3.0	11.1	—
中村地域	72	47.2	18.1	38.9	20.8	40.3	11.1	27.8	8.3	19.4	55.6	—	2.8	1.4
大宝地域	132	48.5	21.2	38.6	18.9	32.6	6.8	12.9	6.8	16.7	50.8	0.8	11.4	0.8

問 16 隣近所に、高齢者や障がいのある人、子育てなどで困っている世帯があったら、あなたはどのような手助けができますか。(あてはまるものすべてに○)

「安否確認の声かけ」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「災害時の手助け」の割合が 47.5%、「話し相手」の割合が 34.3%となっています。

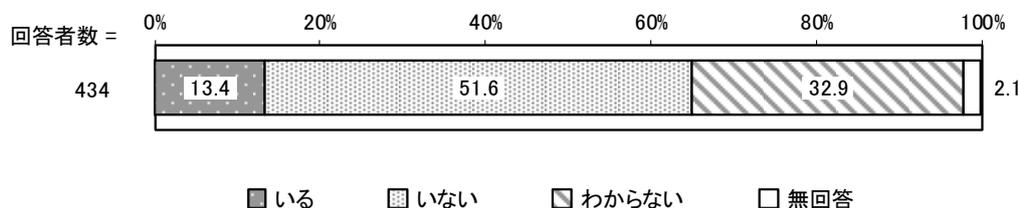
「安否確認の声かけ」、「話し相手」、「買い物の手伝い」といった比較的ハードルが低い活動で割合が高い傾向にあります。

また、災害という非常時には半数近い方が手助けできると答えています。



問 17 あなたの隣近所には、「ちょっと心配だな…」と気にかかる人はいますか。(〇は1つだけ)

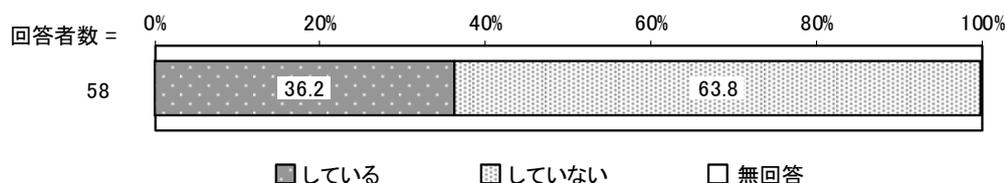
「いない」の割合が51.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が32.9%、「いる」の割合が13.4%となっています。15パーセント近い方が「いる」と答えています。



問 17 で「いる」とお答えの方にうかがいます。

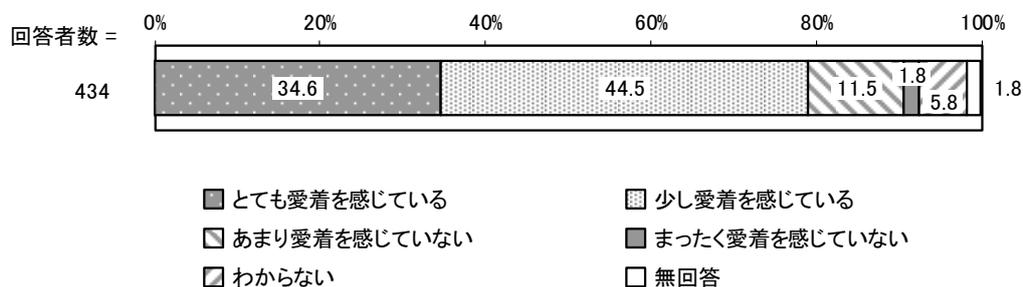
問 17-1 あなたは、気にかかる人に手助けをしていますか。(〇は1つだけ)

「している」の割合が36.2%、「していない」の割合が63.8%となっています。



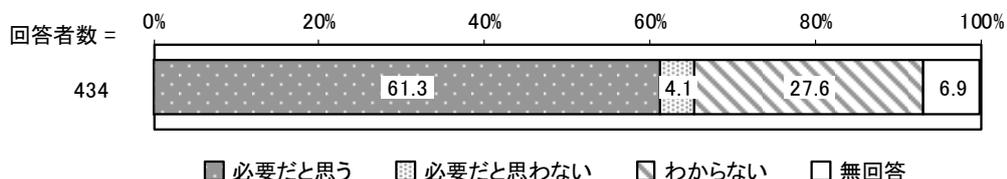
問 18 あなたは住んでいる地域に対して、愛着を感じていますか。(〇は1つだけ)

「とても愛着を感じている」と「少し愛着を感じている」をあわせた“愛着を感じている”の割合が79.1%、「あまり愛着を感じていない」と「まったく愛着を感じていない」をあわせた“愛着を感じていない”の割合が13.3%、「わからない」の割合が5.8%となっています。



問 19 あなたは、地域社会での生活で起こる問題に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

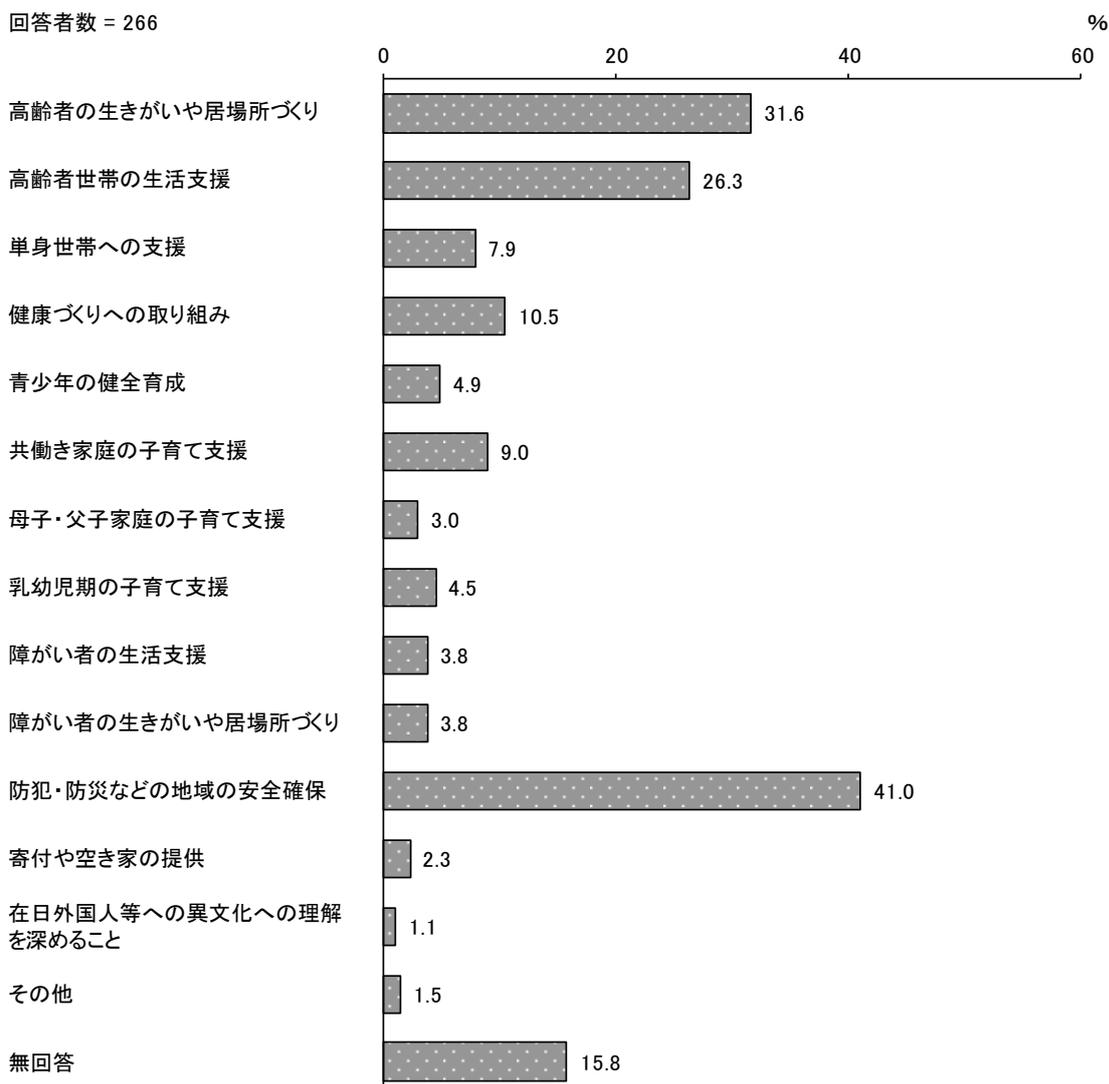
「必要だと思う」の割合が61.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が27.6%となっています。



問 19 で「必要だと思う」とお答えの方にかがいます。

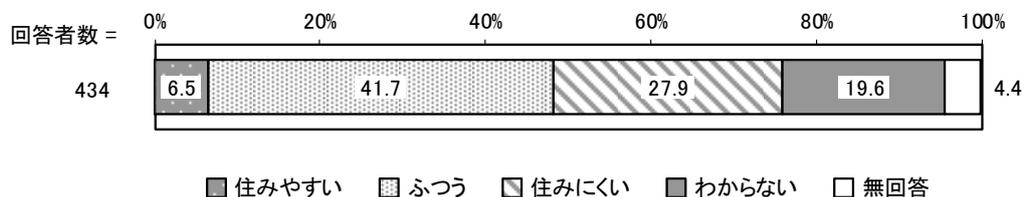
問 19-1 地域の人たちが協力して、取り組んでいくことが特に必要な問題は、どのようなことだと思いますか。(○は2つまで)

「防犯・防災などの地域の安全確保」の割合が41.0%と最も高く、次いで「高齢者の生きがいや居場所づくり」の割合が31.6%、「高齢者世帯の生活支援」の割合が26.3%となっています。比較的身近な項目で高くなる傾向があります。



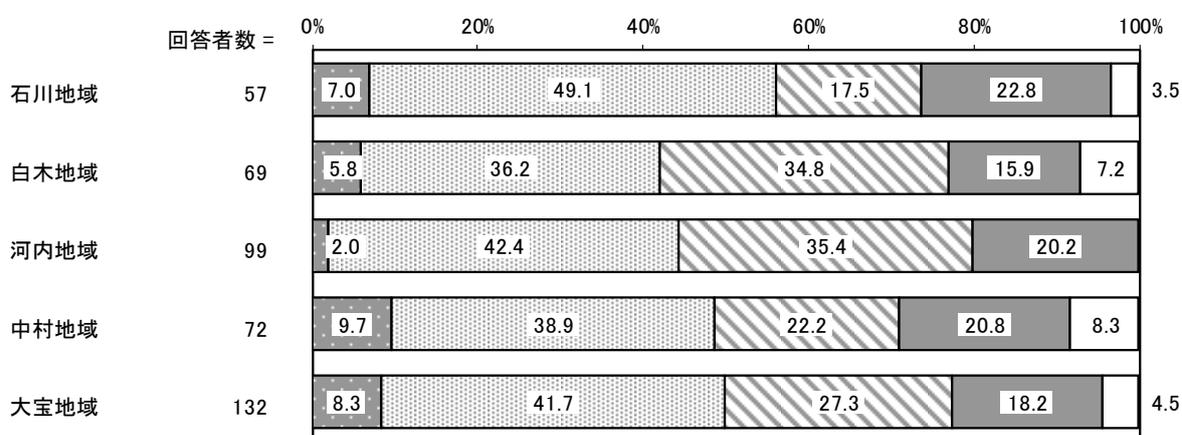
問 20 河南町は、支援が必要な方（障がいのある方や高齢者、子育てをしている方）にとって、住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

「ふつう」の割合が41.7%と最も高く、次いで「住みにくい」の割合が27.9%、「わからない」の割合が19.6%となっています。



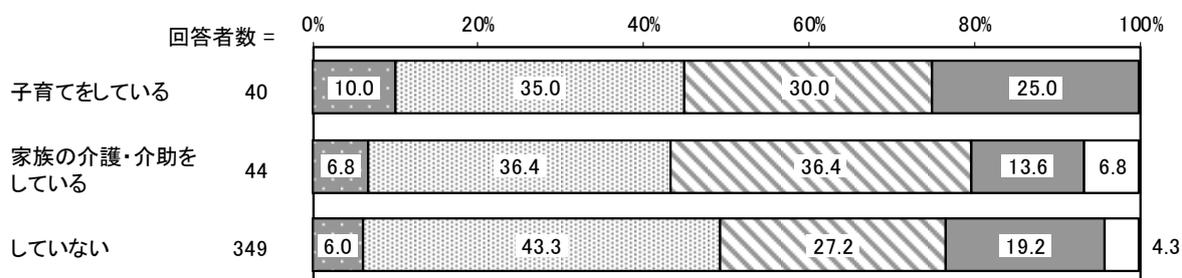
【地域別】

地域別でみると、他に比べ、石川地域で「ふつう」の割合が高くなっています。また、白木地域、河内地域で「住みにくい」の割合が高くなっています。



【子育て・家族の介護の有無別】

子育て・家族の介護の有無別でみると、他に比べ、子育てをしているで「わからない」の割合が、家族の介護・介助をしているで「住みにくい」の割合が高くなっています。また、していないで「ふつう」の割合が高くなっています。



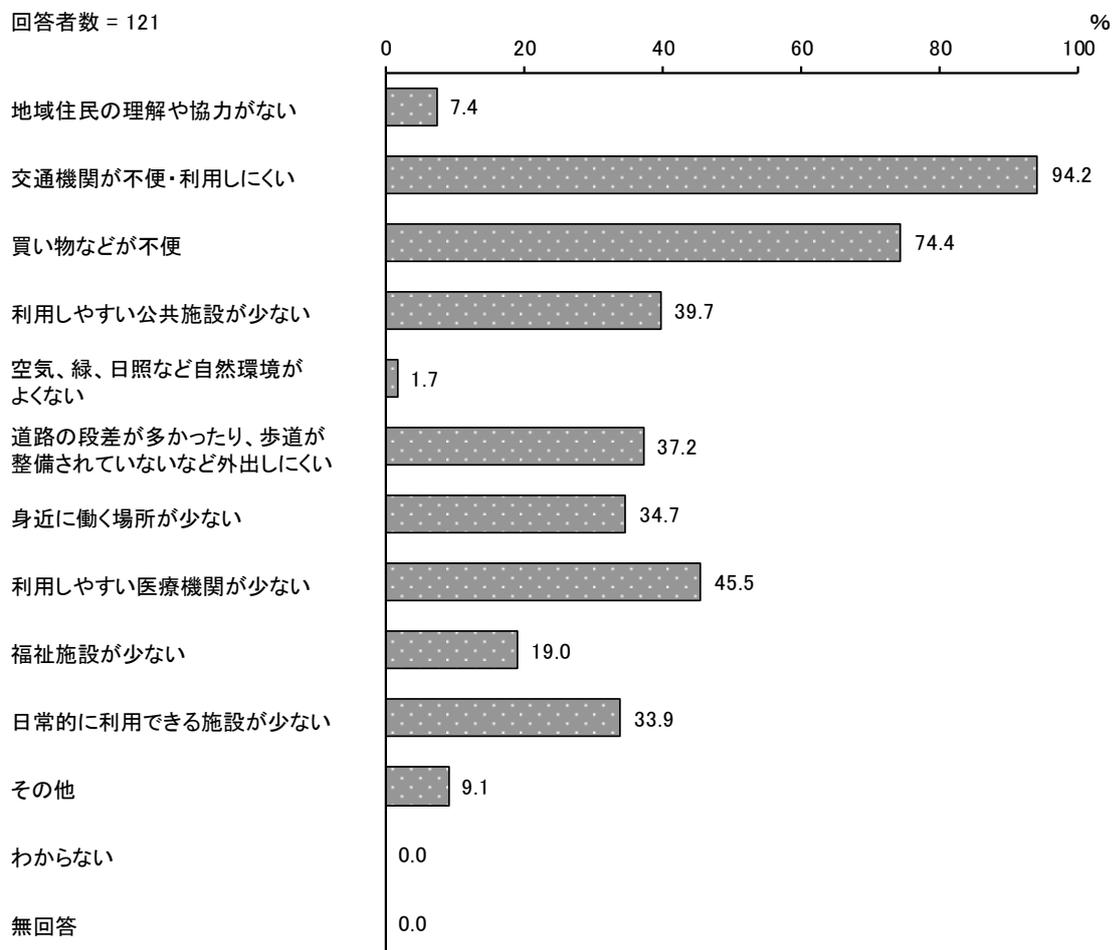
問 20 で「住みにくい」とお答えの方にかがいます

問 20-1 住みにくいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「交通機関が不便・利用しにくい」の割合が 94.2%と最も高く、次いで「買い物などが不便」の割合が 74.4%、「利用しやすい医療機関が少ない」の割合が 45.5%となっています。

移動手段の確保、買い物支援などの方策が求められています。

回答者数 = 121



【地域別】

単位：％

区分	回答者数（件）	地域住民の理解や協力が ない	交通機関が不便・利用し にくい	買い物などが不便	利用しやすい公共施設が 少ない	空気、緑、日照など自然環境が よくない	道路の段差が多かったり、歩道が 整備されていないなど外出しにくい	身近に働く場所が少ない	利用しやすい医療機関が 少ない	福祉施設が少ない	日常的に利用できる施設が 少ない	その他	わからない	無回答
石川地域	10	10.0	100.0	50.0	50.0	10.0	70.0	20.0	40.0	20.0	40.0	10.0	—	—
白木地域	24	8.3	95.8	62.5	16.7	—	45.8	54.2	45.8	16.7	4.2	16.7	—	—
河内地域	35	5.7	94.3	77.1	37.1	2.9	20.0	31.4	40.0	5.7	34.3	2.9	—	—
中村地域	16	12.5	93.8	81.3	56.3	—	43.8	25.0	37.5	43.8	56.3	—	—	—
大宝地域	36	5.6	91.7	83.3	47.2	—	36.1	33.3	55.6	22.2	41.7	13.9	—	—

【子育て・家族の介護の有無別】

子育て・家族の介護の有無別でみると、他に比べ、子育てをしているで「買い物などが不便」「身近に働く場所が少ない」「利用しやすい医療機関が少ない」の割合が高くなっています。

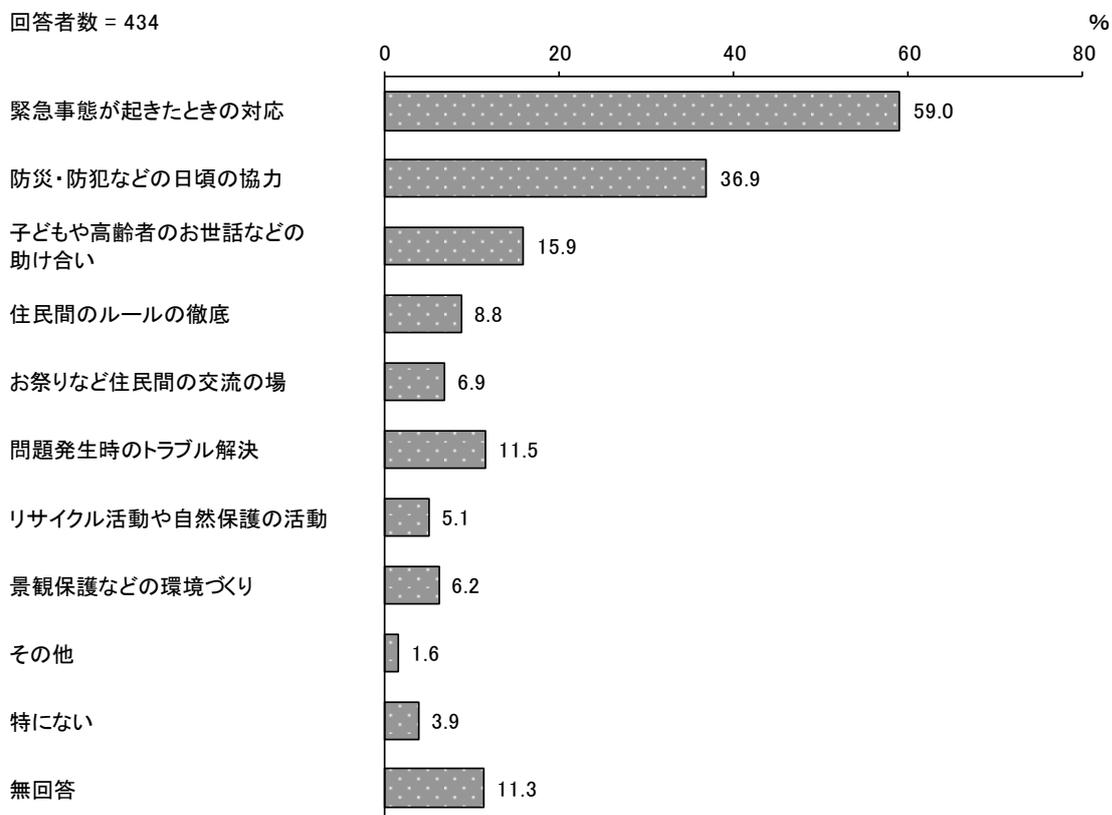
単位：％

区分	回答者数（件）	地域住民の理解や協力が ない	交通機関が不便・利用し にくい	買い物などが不便	利用しやすい公共施設が 少ない	空気、緑、日照など自然環境が よくない	道路の段差が多かったり、歩道が 整備されていないなど外出しにくい	身近に働く場所が少ない	利用しやすい医療機関が 少ない	福祉施設が少ない	日常的に利用できる施設が 少ない	その他	わからない	無回答
子育てをしている	12	—	100.0	83.3	33.3	—	41.7	58.3	83.3	25.0	33.3	16.7	—	—
家族の介護・介助を している	16	—	93.8	62.5	37.5	—	43.8	31.3	43.8	12.5	12.5	12.5	—	—
していない	95	9.5	93.7	75.8	41.1	2.1	35.8	31.6	42.1	18.9	36.8	8.4	—	—

問 21 あなたは、地域社会の役割についてどのようなことを期待しますか。
(○は2つまで)

「緊急事態が起きたときの対応」の割合が59.0%と最も高く、次いで「防災・防犯などの日頃の協力の割合が36.9%、「子どもや高齢者のお世話などの助け合い」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別でみると、「緊急事態が起きたときの対応」以外では、他に比べ、60～64歳で「防災・防犯などの日頃の協力」の割合が、30～39歳で「子どもや高齢者のお世話などの助け合い」の割合が高くなっています。

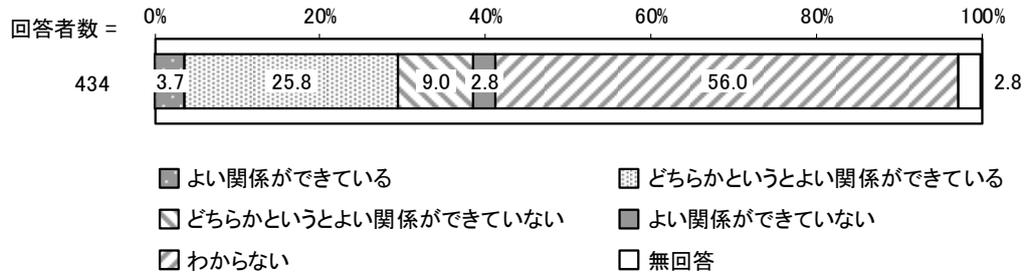
また、18～29歳、30～39歳で、「お祭りなど住民間の交流の場」が多世代より高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	緊急事態が起きたときの対応	防災・防犯などの日頃の協力	子どもや高齢者のお世話などの助け合い	住民間のルールの徹底	お祭りなど住民間の交流の場	問題発生時のトラブル解決	リサイクル活動や自然保護の活動	景観保護などの環境づくり	その他	特になし	無回答
18～29歳	38	42.1	39.5	18.4	2.6	15.8	5.3	13.2	—	2.6	13.2	7.9
30～39歳	30	60.0	23.3	30.0	10.0	13.3	16.7	10.0	3.3	3.3	6.7	—
40～49歳	56	48.2	35.7	14.3	5.4	8.9	12.5	5.4	7.1	3.6	3.6	21.4
50～59歳	67	67.2	37.3	13.4	10.4	3.0	20.9	3.0	6.0	1.5	—	11.9
60～64歳	39	66.7	46.2	10.3	12.8	5.1	12.8	2.6	2.6	—	2.6	12.8
65～69歳	53	60.4	35.8	15.1	13.2	3.8	7.5	1.9	9.4	1.9	1.9	7.5
70～74歳	45	71.1	40.0	15.6	6.7	6.7	4.4	4.4	2.2	2.2	2.2	11.1
75歳以上	104	56.7	36.5	16.3	8.7	5.8	9.6	4.8	10.6	—	3.8	11.5

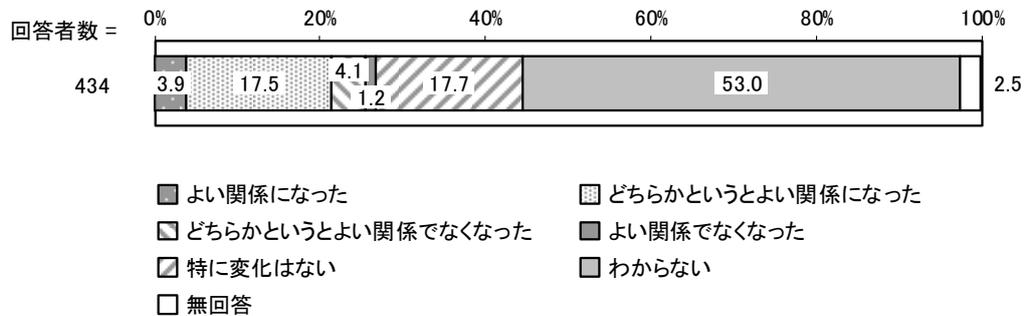
問 22 あなたは、地域福祉に関する本町と住民との協働（パートナーシップ）について、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

「よい関係ができている」と「どちらかというとい関係ができている」をあわせた“よい関係ができている”の割合が 29.5%、「どちらかというとい関係ができている」と「よい関係ができている」をあわせた“よい関係ができている”の割合が 11.8%、「わからない」の割合が 56.0%となっています。



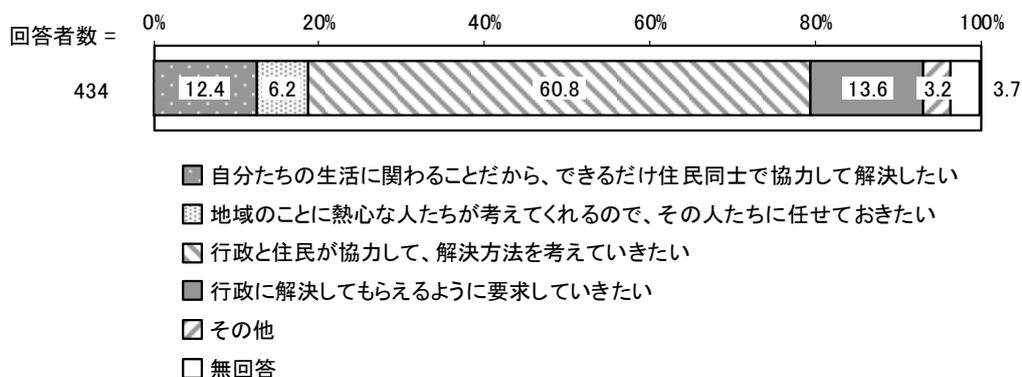
問 23 地域福祉に関する本町と住民との協働（パートナーシップ）について、以前と比べて（約 10 年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（○は1つだけ）

「よい関係になった」と「どちらかというとい関係になった」をあわせた“よい関係になった”の割合が 21.4%、「どちらかというとい関係でなくなった」と「よい関係でなくなった」をあわせた“よい関係でなくなった”の割合が 5.3%、「特に変化はない」の割合が 17.7%、「わからない」の割合が 53.0%となっています。



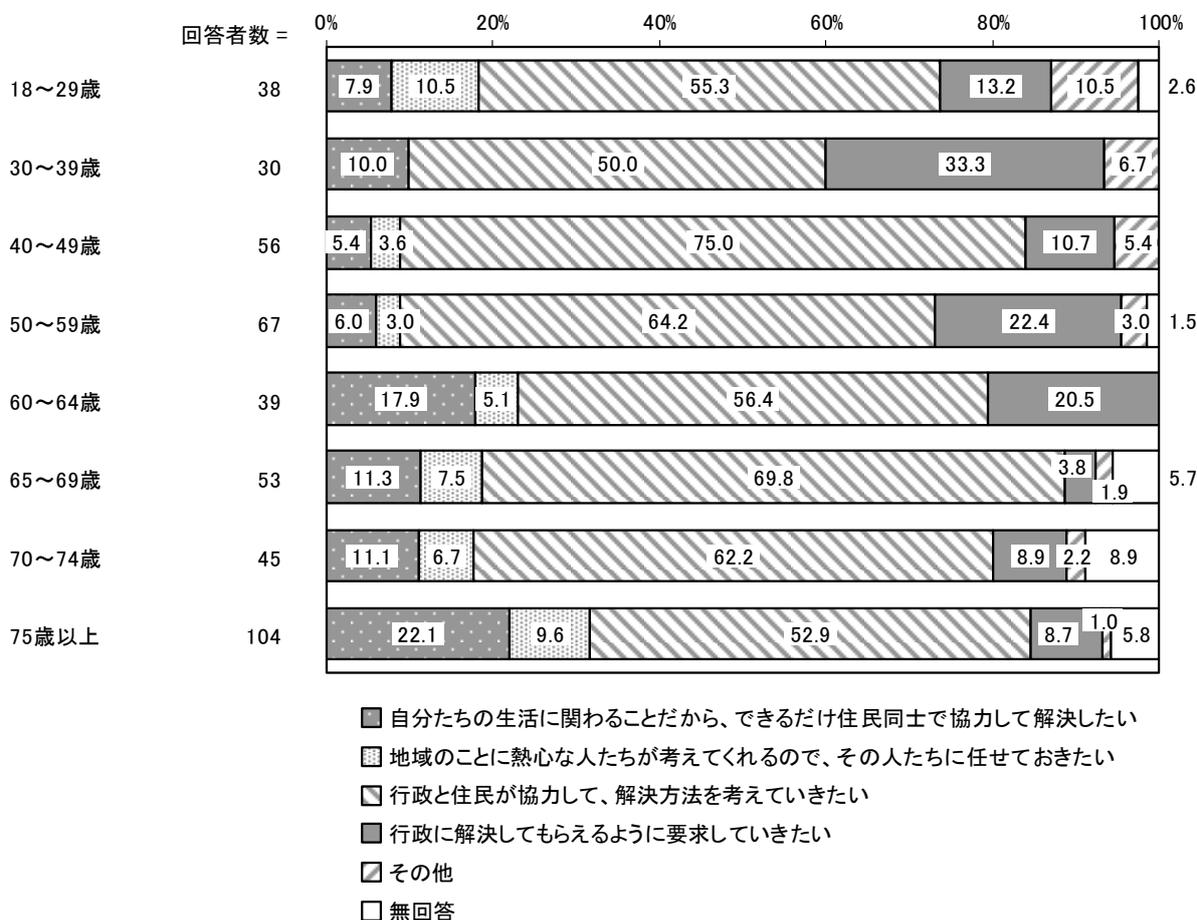
問 24 今後、地域の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのがよいと思いますか。(〇は1つだけ)

「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「行政に解決してもらえるように要求していきたい」の割合が 13.6%、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が 12.4%となっています。



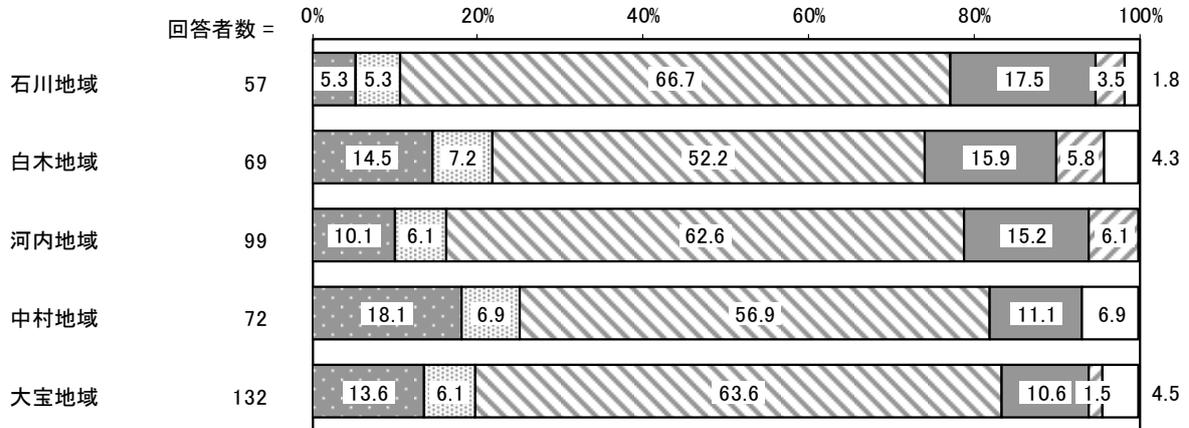
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、75歳以上で「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が、40～49歳で「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が高くなっています。また、30～39歳で「行政に解決してもらえるように要求していきたい」の割合が高くなっています。



【地域別】

地域別でみると、大きな差異はみられませんが、白木地域、・中村地域で「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が高く、石川地域・白木地域・河内地域で「行政に解決してもらえるに要求していきたい」の割合が高くなっています。

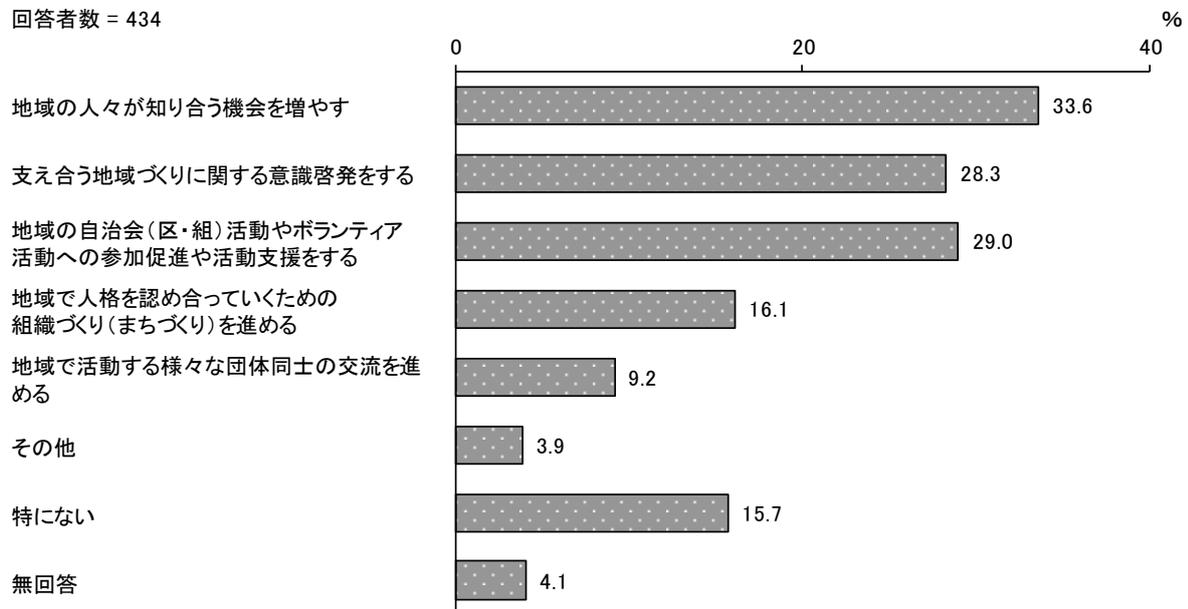


- 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
- 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- 行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい
- 行政に解決してもらえるように要求していきたい
- その他
- 無回答

問 25 住民同士が共に支え合う地域づくりを進めるために、河南町はどのような支援を行う必要があると思いますか。(○は2つまで)

「地域の人々が知り合う機会を増やす」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「地域の自治会(区・組)活動やボランティア活動への参加促進や活動支援をする」の割合が 29.0%、「支え合う地域づくりに関する意識啓発をする」の割合が 28.3%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「支え合う地域づくりに関する意識啓発をする」の割合が、65～69歳で「地域の自治会（区・組）活動やボランティア活動への参加促進や活動支援をする」の割合が高くなっています。また、40～49歳で「地域で活動する様々な団体同士の交流を進める」の割合が高くなっています。

また、18～29歳、30～39歳では、「地域の人々が知り合う機会を増やす」が最も多くなっています。この世代は問21で、地域社会の役割について期待することで「お祭りなど住民間の交流の場」と答えた割合が他世代より高いため、若い世代の方に活動に参加してもらうためのヒントとなる可能性があります。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域の人々が知り合う機会を増やす	支え合う地域づくりに関する意識啓発をする	地域の自治会（区・組）活動やボランティア活動への参加促進や活動支援をする	地域で活動を認め合っていくための組織づくり（まちづくり）を進める	地域で活動する様々な団体同士の交流を進める	その他	特にない	無回答
18～29歳	38	36.8	21.1	18.4	15.8	10.5	2.6	31.6	—
30～39歳	30	40.0	20.0	13.3	16.7	3.3	13.3	26.7	—
40～49歳	56	23.2	25.0	28.6	25.0	16.1	5.4	16.1	—
50～59歳	67	29.9	31.3	20.9	20.9	10.4	6.0	13.4	3.0
60～64歳	39	30.8	20.5	35.9	10.3	7.7	2.6	15.4	2.6
65～69歳	53	41.5	26.4	43.4	7.5	5.7	3.8	17.0	5.7
70～74歳	45	24.4	42.2	37.8	11.1	4.4	2.2	11.1	6.7
75歳以上	104	39.4	31.7	29.8	16.3	10.6	1.0	9.6	7.7

【地域別】

地域別でみると、他に比べ、石川地域で「地域で人格を認め合っていくための組織づくり（まちづくり）を進める」の割合が、他地域では「地域の人々が知り合う機会を増やす」が最も高くなっています。

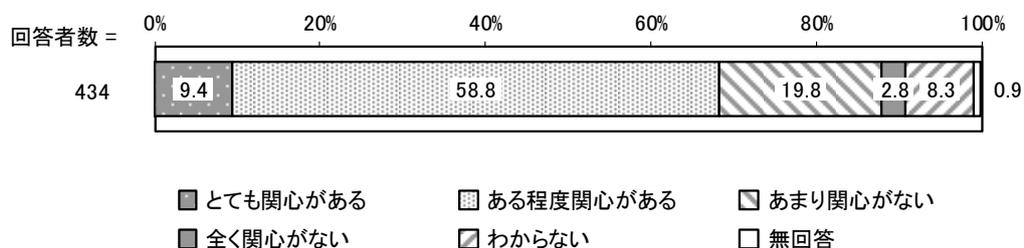
単位：％

区分	回答者数(件)	地域の人々が知り合う機会を増やす	支え合う地域づくりに関する意識啓発をする	地域の自治会(区・組)活動やボランティア活動への参加促進や活動支援をする	地域で人格を認め合っていくための組織づくり(まちづくり)を進める	地域で活動する様々な団体同士の交流を進める	その他	特にない	無回答
石川地域	57	21.1	21.1	24.6	26.3	8.8	—	29.8	3.5
白木地域	69	30.4	26.1	26.1	8.7	7.2	2.9	23.2	8.7
河内地域	99	40.4	35.4	28.3	9.1	13.1	7.1	8.1	1.0
中村地域	72	31.9	30.6	29.2	20.8	6.9	2.8	12.5	8.3
大宝地域	132	37.1	27.3	33.3	17.4	8.3	3.8	13.6	1.5

(4) 地域での活動について

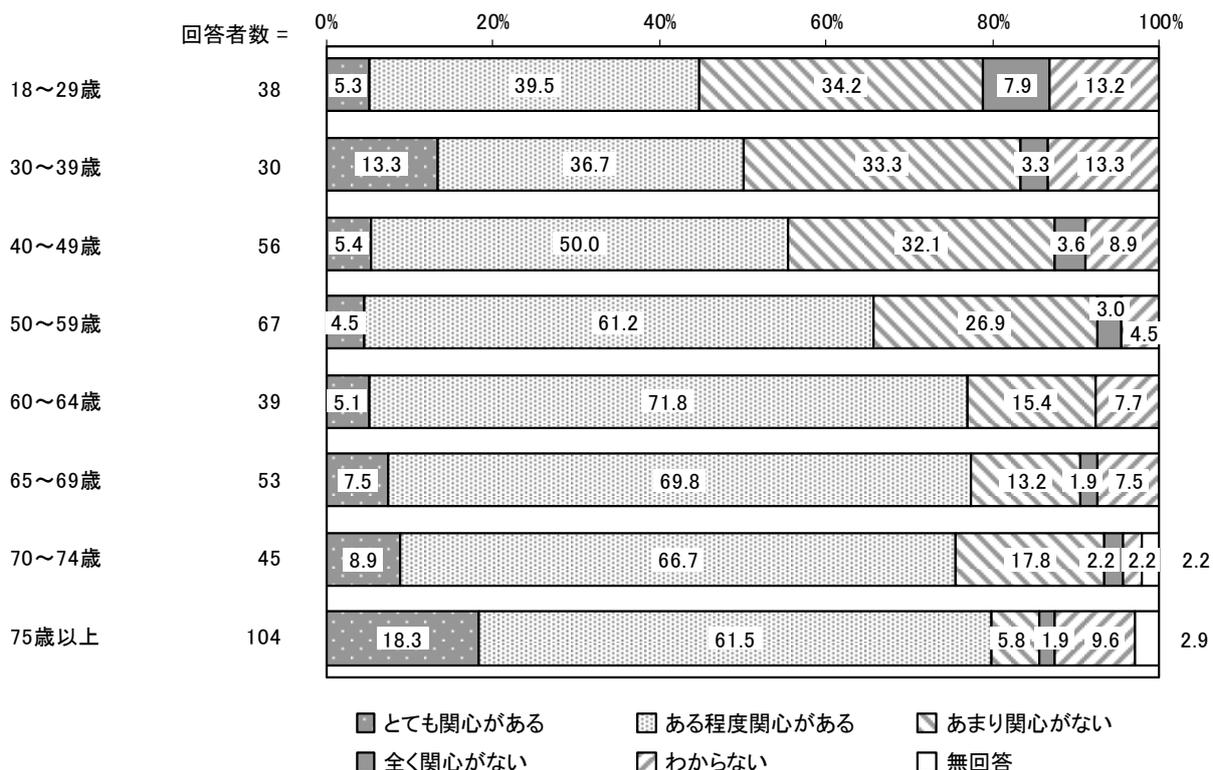
問 26 あなたは、「福祉」に関心がありますか。(○は1つだけ)

「とても関心がある」と「ある程度関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が 68.2%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が 22.6%、「わからない」の割合が 8.3%となっています。



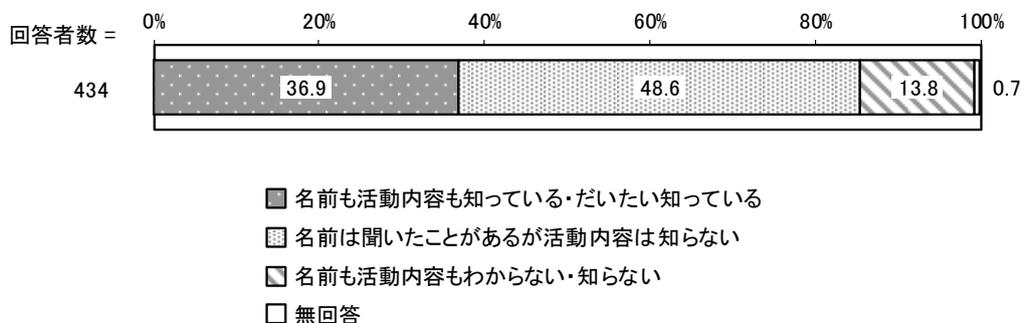
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～29歳で“関心がない”の割合が高くなっています。全体的に、年齢が高くなるほど“関心がある”の割合が高くなる傾向があります。



問 27 あなたは、社会福祉協議会をご存じですか。(〇は1つだけ)

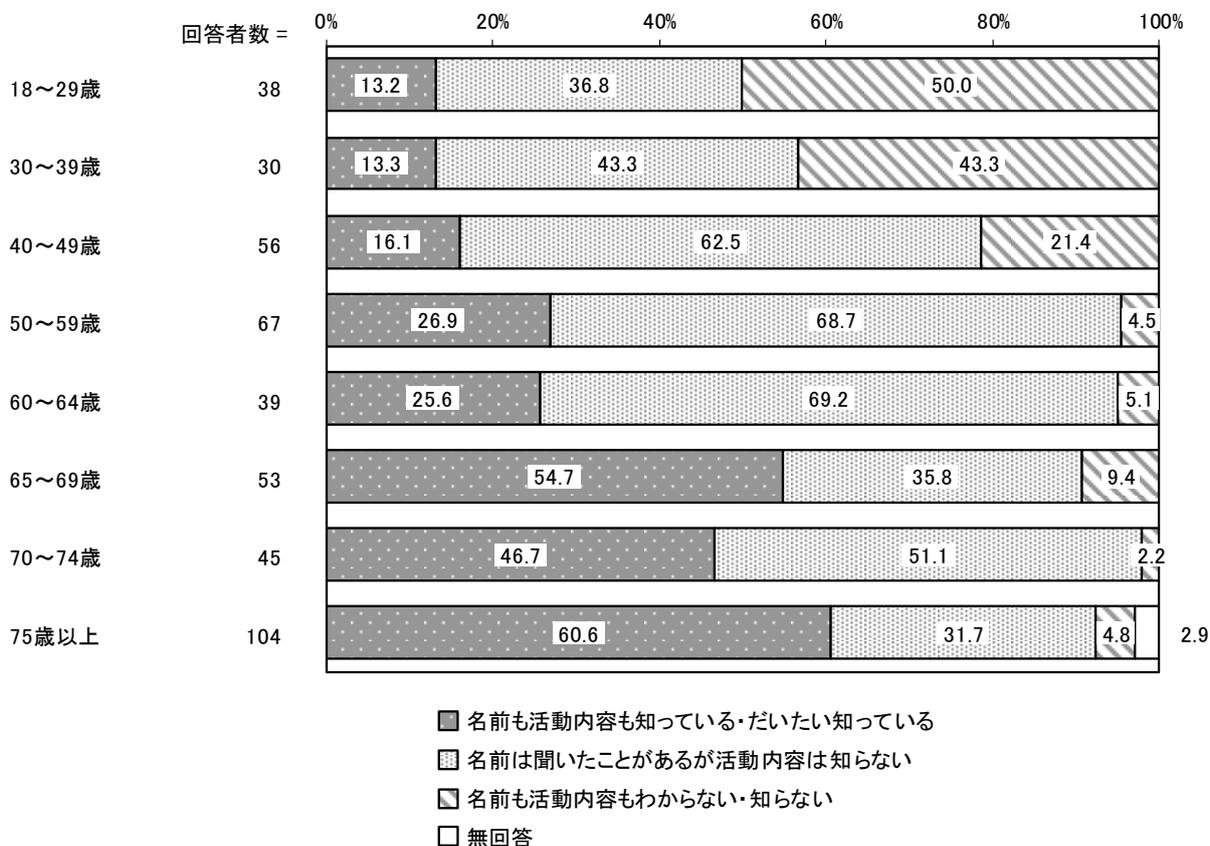
「名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知っている・だいたい知っている」の割合が36.9%、「名前も活動内容もわからない・知らない」の割合が13.8%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～29歳で「名前も活動内容もわからない・知らない」の割合が、75歳以上で「名前も活動内容も知っている・だいたい知っている」の割合が高くなっています。全体的に、年齢が高くなるほど認知度が上がり、若くなるにつれて認知度が下がる傾向にあります。

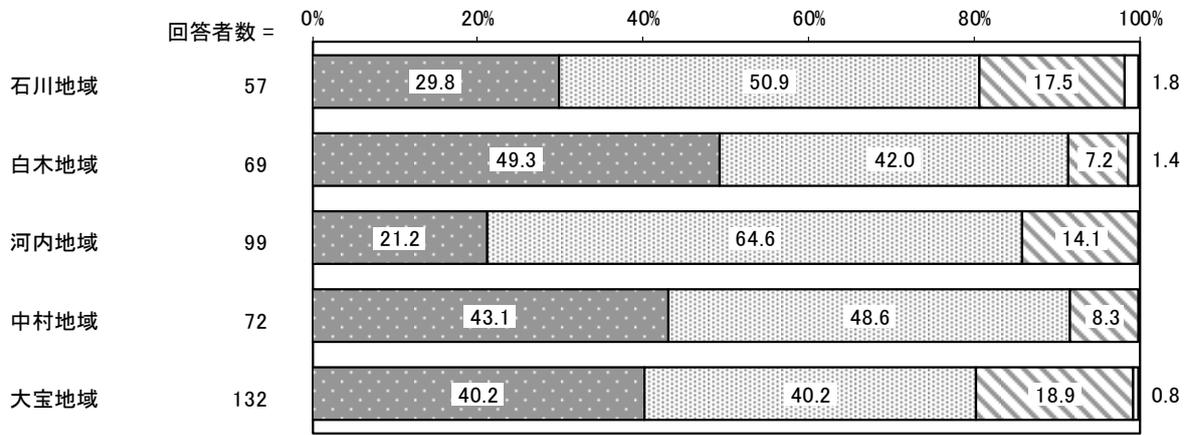
若い人にも響く周知方法が求められています。



【地域別】

地域別でみると、他に比べ、白木地域、中村地域、大宝地域で「名前も活動内容も知っている・だいたい知っている」の割合が、河内地域で「名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない」の割合が高くなっています。

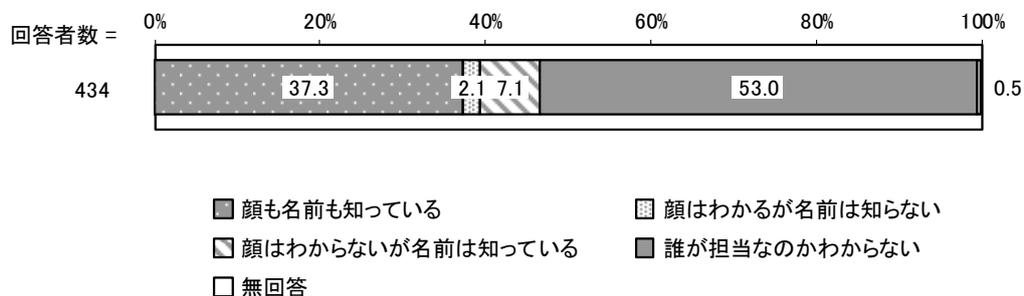
また、石川地域、大宝地域で「名前も活動内容もわからない・知らない」の割合が高くなっています。



- 名前も活動内容も知っている・だいたい知っている
- ▨ 名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない
- ▩ 名前も活動内容もわからない・知らない
- 無回答

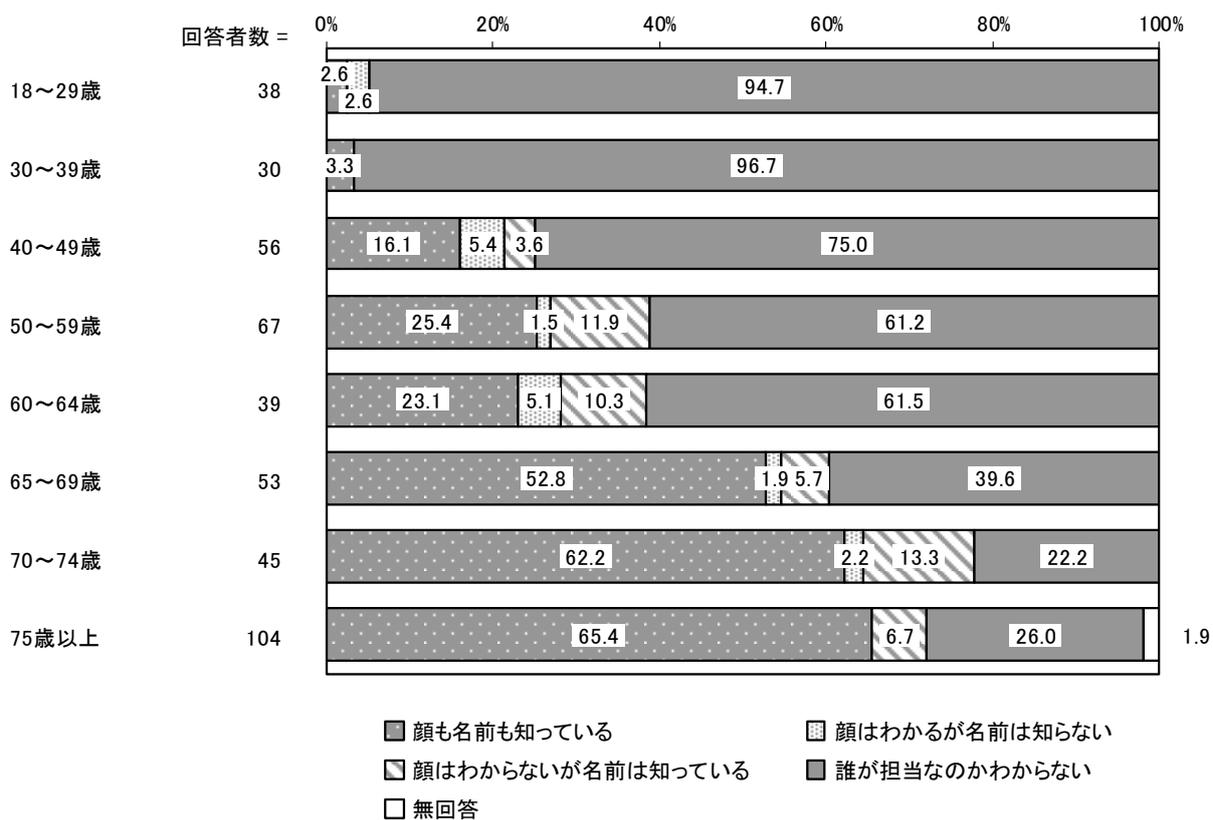
問 28 あなたがお住まいの地域の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。
(○は1つだけ)

「誰が担当なのかわからない」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「顔も名前も知っている」の割合が 37.3%となっています。



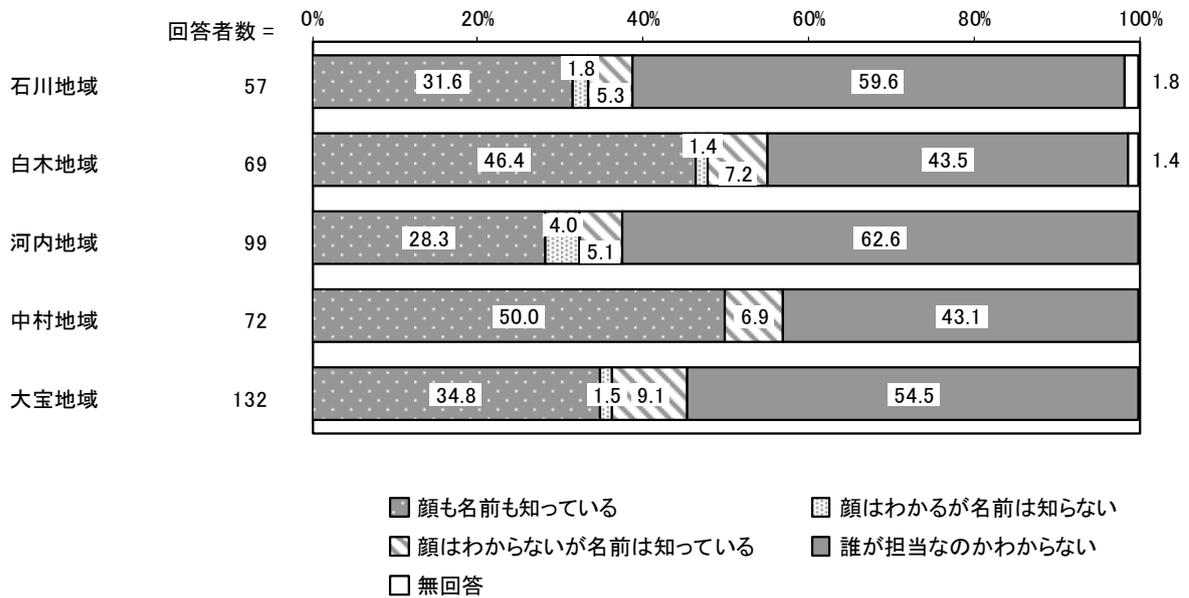
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～29歳、30～39歳で「誰が担当なのかわからない」の割合が、70～74歳、75歳以上で「顔も名前も知っている」の割合が高くなっています。



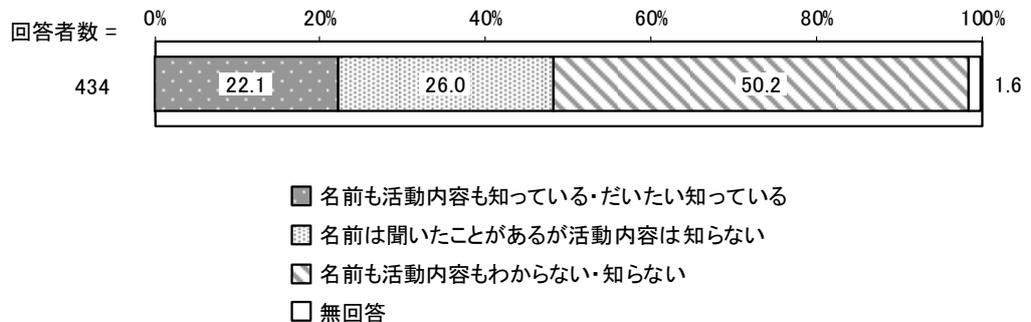
【地域別】

地域でみると、他に比べ、白木地域、中村地域で「顔も名前も知っている」の割合が、石川地域、河内地域、大宝地域で「誰が担当なのかわからない」の割合が高くなっています。



問 29 あなたがお住まいの地域の地区福祉委員会をご存じですか。(○は1つだけ)

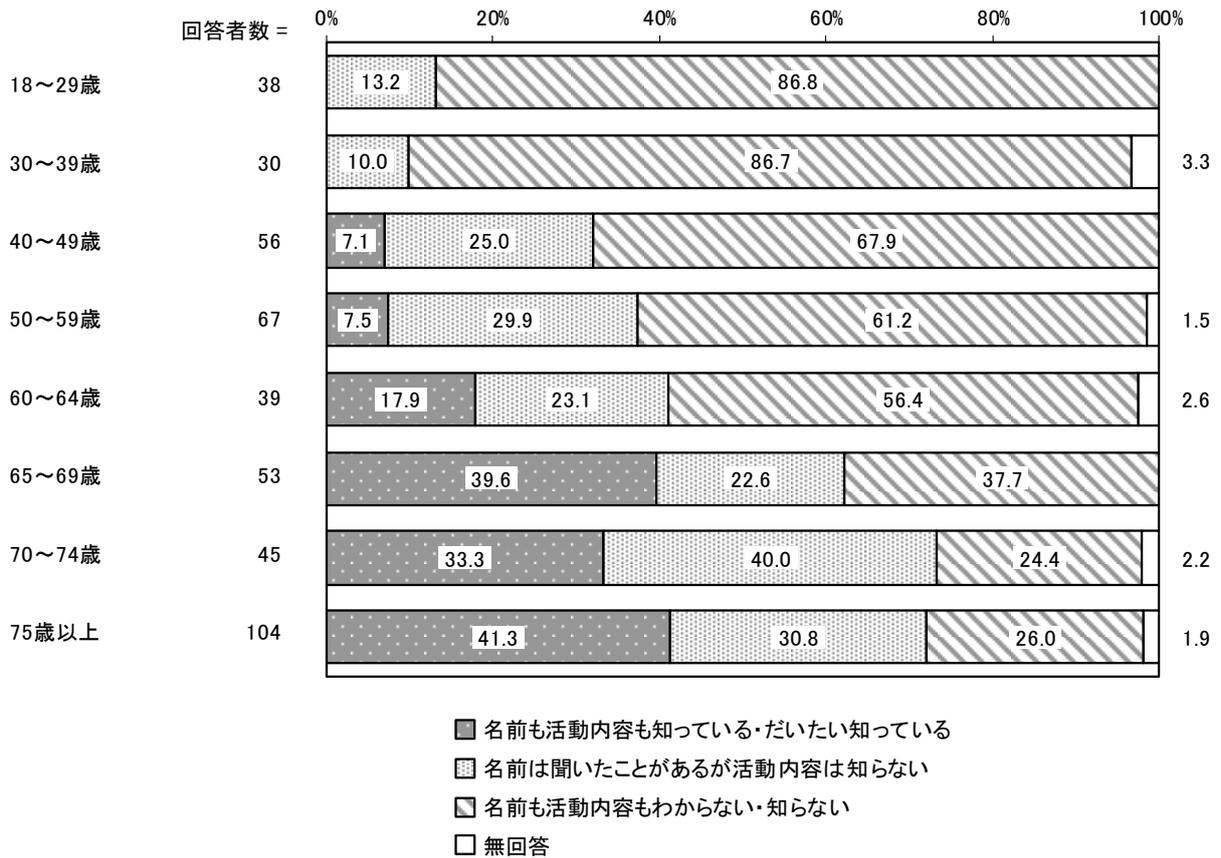
「名前も活動内容もわからない・知らない」の割合が50.2%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない」の割合が26.0%、「名前も活動内容も知っている・だいたい知っている」の割合が22.1%となっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、70～74歳で「名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない」の割合が高くなっています。

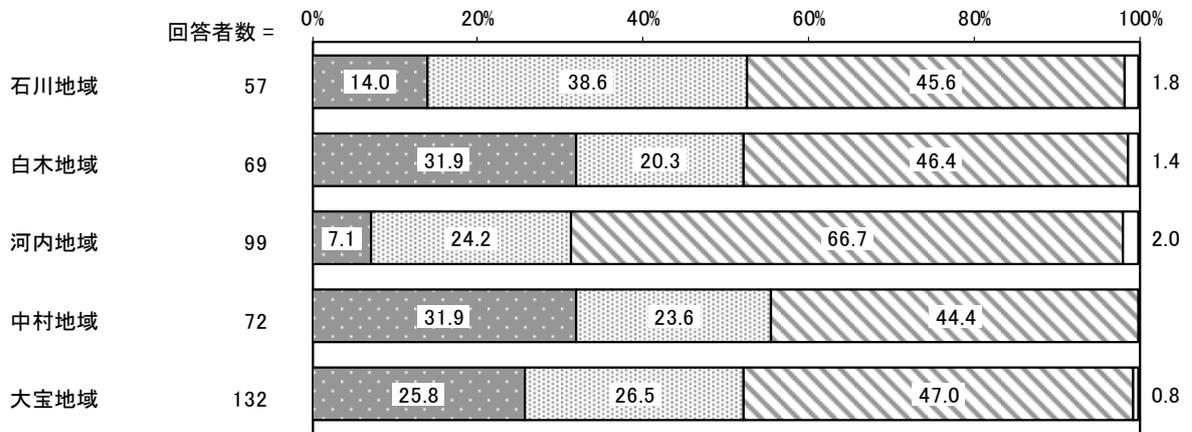
18～29歳、30～39歳では「名前も活動内容も知っている・だいたい知っている」は0%で、9割近い方が「名前も活動内容もわからない・知らない」と答えています。将来の担い手養成のためにも若い世代の認知度を高める必要があります。



【地域別】

地域別でみると、他に比べ、河内地域で「名前も活動内容もわからない・知らない」の割合が、石川地域で「名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない」の割合が高くなっています。

白木地域、中村地域で「名前も活動内容も知っている・だいたい知っている」の割合が高くなっています。

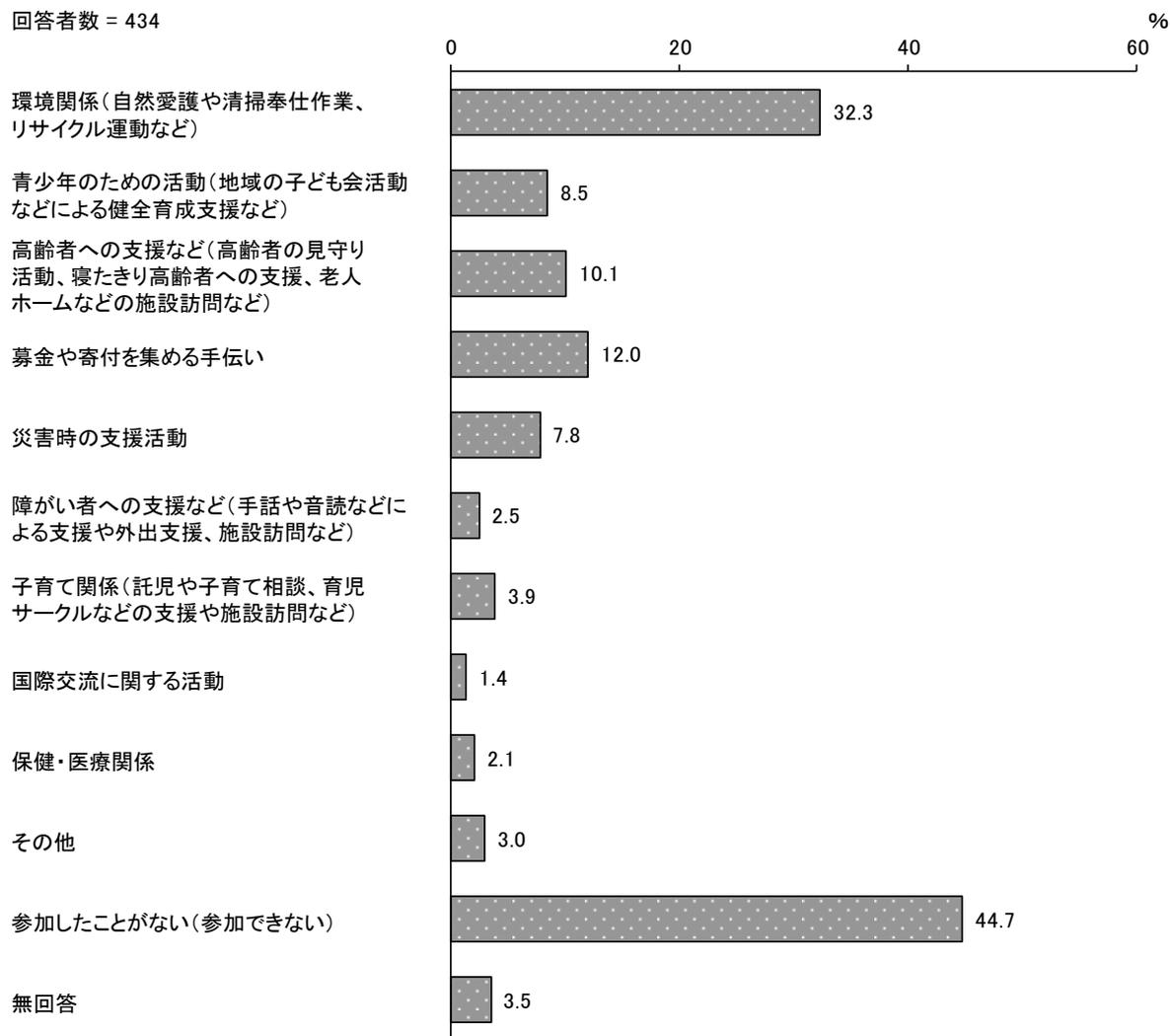


- 名前も活動内容も知っている・だいたい知っている
- ▨ 名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない
- ▩ 名前も活動内容もわからない・知らない
- 無回答

問 30 ボランティア、NPO、地域活動で参加している分野、または参加したことがある分野は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「参加したことがない(参加できない)」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「環境関係(自然愛護や清掃奉仕作業、リサイクル運動など)」の割合が 32.3%、「募金や寄付を集める手伝い」の割合が 12.0%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、75歳以上で「環境関係」の割合が、65歳以上で「高齢者への支援など」の割合が高くなっています。一方、39歳以下で「参加したことがない（参加できない）」の割合が高くなっています。

単位：%

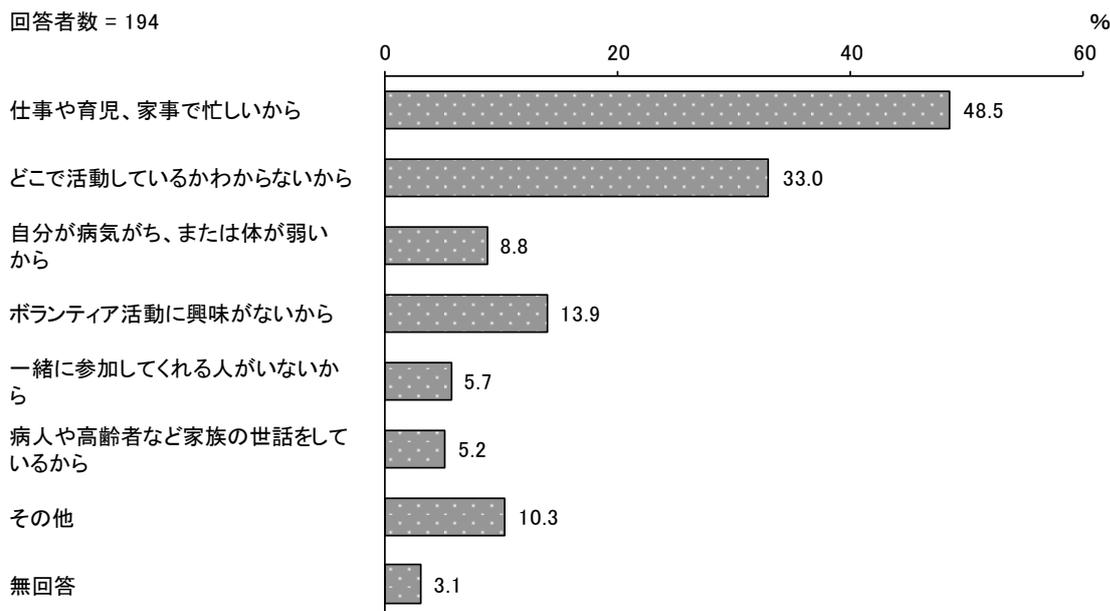
区分	回答者数 (件)	環境関係	青少年のための活動	高齢者への支援など	募金や寄付を集める手伝い	災害時の支援活動	障がい者への支援など	子育て関係	国際交流に関する活動	保健・医療関係	その他	参加したことがない (参加できない)	無回答
18～29歳	38	23.7	2.6	—	—	—	2.6	5.3	2.6	2.6	—	65.8	—
30～39歳	30	26.7	3.3	3.3	10.0	6.7	—	3.3	—	—	—	66.7	—
40～49歳	56	25.0	8.9	3.6	7.1	3.6	1.8	5.4	1.8	3.6	1.8	57.1	—
50～59歳	67	35.8	9.0	3.0	6.0	9.0	1.5	7.5	1.5	6.0	4.5	43.3	—
60～64歳	39	35.9	10.3	7.7	7.7	12.8	7.7	2.6	—	—	—	48.7	—
65～69歳	53	34.0	7.5	17.0	15.1	15.1	—	—	—	—	1.9	37.7	3.8
70～74歳	45	26.7	6.7	20.0	17.8	4.4	4.4	2.2	—	—	2.2	53.3	2.2
75歳以上	104	39.4	11.5	17.3	21.2	8.7	2.9	3.8	1.9	1.9	6.7	24.0	10.6

問 30 で「参加したことがない（参加できない）」とお答えの方にうかがいます。

問 30-1 どのような理由で参加しない（できない）のですか。
（あてはまるものすべてに○）

「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「どこで活動しているかわからないから」の割合が 33.0%、「ボランティア活動に興味がないから」の割合が 13.9%となっています。

「どこで活動しているかわからないから」と答えた方は、周知方法や内容によっては参加してもらえる可能性があります。



【年齢別】

年齢別で見ると、30～39 歳、50～59 歳で「仕事や育児、家事で忙しいから」の割合が高くなっています。また、40～49 歳で「どこで活動しているかわからないから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	仕事や育児、家事で忙しいから	どこで活動しているかわからないから	自分が病気がち、または体が弱いから	ボランティア活動に興味がないから	一緒に参加してくれる人がいないから	病人や高齢者など家族の世話をしているから	その他	無回答
18～29 歳	25	48.0	36.0	8.0	20.0	12.0	—	12.0	4.0
30～39 歳	20	75.0	25.0	5.0	15.0	—	—	15.0	—
40～49 歳	32	59.4	50.0	6.3	3.1	9.4	3.1	12.5	—
50～59 歳	29	75.9	27.6	—	17.2	—	13.8	—	3.4
60～64 歳	19	57.9	26.3	5.3	10.5	10.5	5.3	10.5	5.3
65～69 歳	20	45.0	25.0	20.0	10.0	—	10.0	5.0	—
70～74 歳	24	16.7	37.5	8.3	20.8	4.2	4.2	12.5	—
75 歳以上	25	8.0	28.0	20.0	16.0	8.0	4.0	16.0	12.0

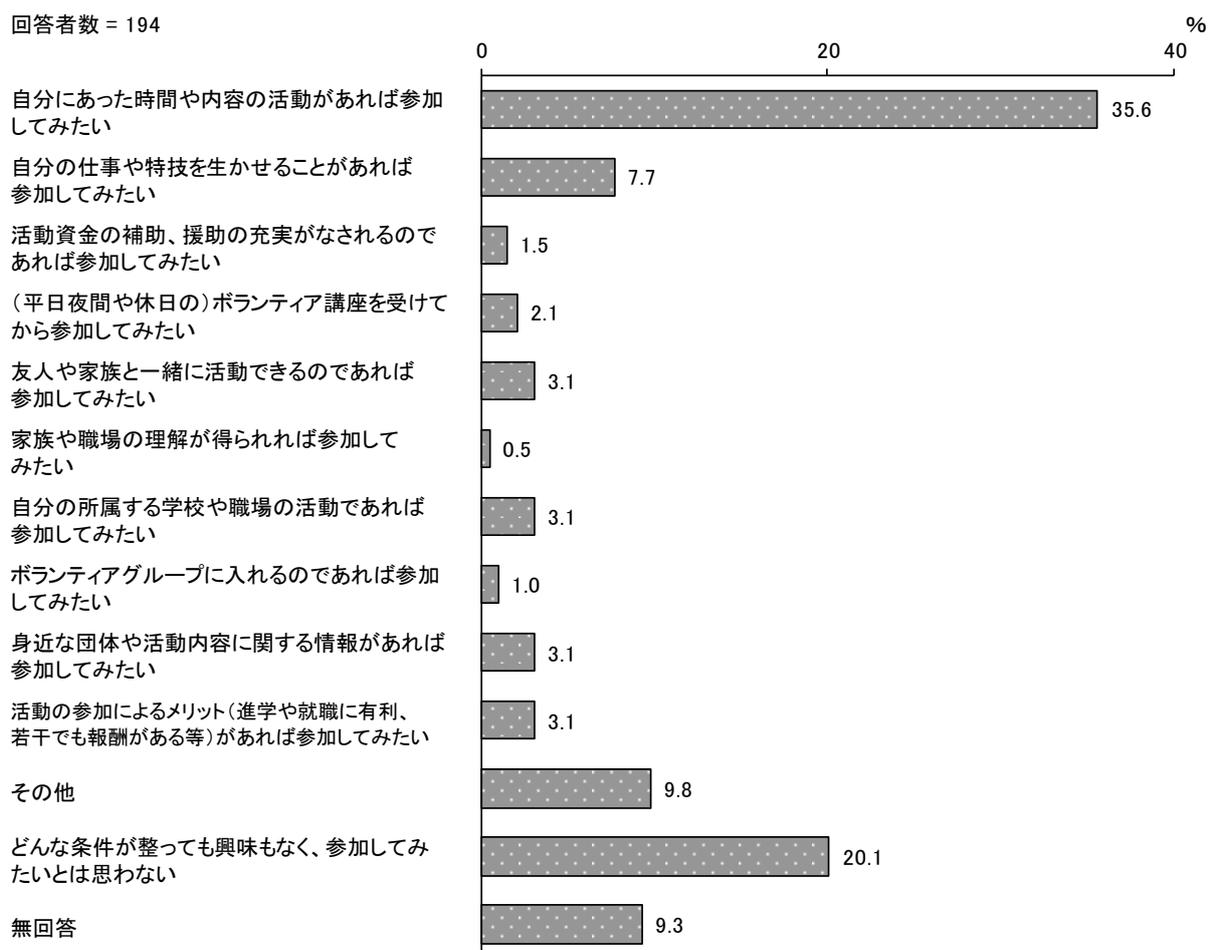
問 30 で「参加したことがない（参加できない）」とお答えの方にうかがいます。

問 30-2 どのような条件を整えばボランティア活動に参加してみたいと思いますか。
(○は1つだけ)

「自分にあった時間や内容の活動があれば参加してみたい」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「どんな条件が整っても興味もなく、参加してみたいとは思わない」の割合が 20.1%となっています。

ここでも、3分の1の方は、周知方法や内容によっては参加していただける可能性があるといえるでしょう。

回答者数 = 194



【ボランティア活動に参加しない理由別】

ボランティア活動に参加しない理由別でみると、他に比べ、一緒に参加してくれる人がいないからで「自分にあった時間や内容の活動があれば参加してみたい」の割合が高くなっています。また、ボランティア活動に興味がないからで「どんな条件が整っても興味もなく、参加してみたいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

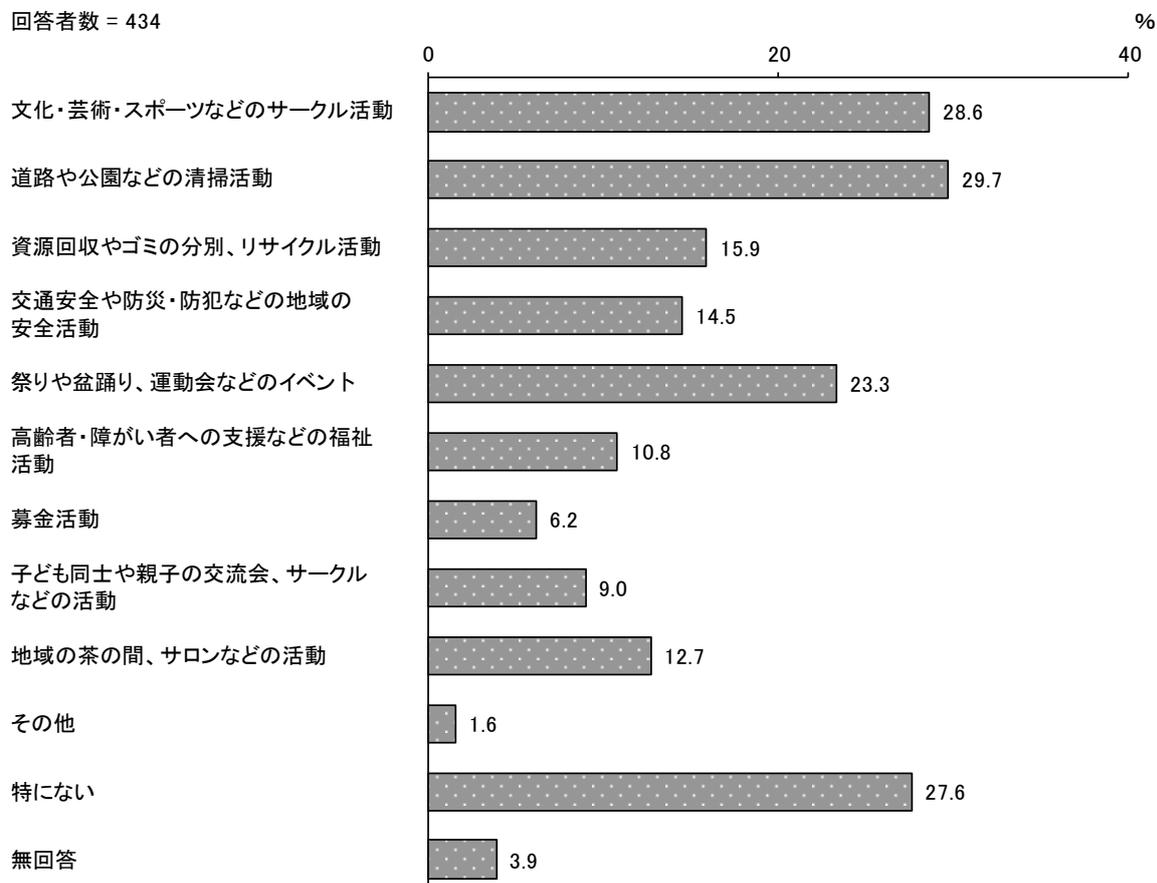
区分	回答者数(件)	自分にあつた時間や内容の活動があれば参加してみたい	自分の仕事や特技を生かせることがあれば参加してみたい	活動資金の補助、援助の充実がなされるのであれば参加してみたい	(平日夜間や休日の)ボランティア講座を受けてから参加してみたい	友人や家族と一緒に活動できるのであれば参加してみたい	家族や職場の理解が得られれば参加してみたい
仕事や育児、家事で忙しいから	94	39.4	8.5	3.2	2.1	3.2	—
どこで活動しているかわからないから	64	35.9	9.4	1.6	3.1	1.6	1.6
自分が病気がち、または体が弱いから	17	29.4	—	5.9	—	—	—
ボランティア活動に興味がないから	27	29.6	—	—	—	3.7	—
一緒に参加してくれる人がいないから	11	45.5	9.1	—	9.1	—	—
病人や高齢者など家族の世話をしているから	10	40.0	—	—	20.0	10.0	—
その他	20	25.0	15.0	—	—	—	—

区分	自分の所属する学校や職場の活動であれば参加してみたい	ボランティアグループに入れるのであれば参加してみたい	身近な団体や活動内容に関する情報があれば参加してみたい	活動の参加によるメリット(進学や就職に有利、若干でも報酬がある等)があれば参加してみたい	その他	どんな条件が整っても興味もなく、参加してみたいとは思わない	無回答
仕事や育児、家事で忙しいから	5.3	1.1	2.1	5.3	4.3	16.0	9.6
どこで活動しているかわからないから	1.6	1.6	6.3	3.1	4.7	17.2	12.5
自分が病気がち、または体が弱いから	—	—	—	—	29.4	17.6	17.6
ボランティア活動に興味がないから	3.7	—	—	7.4	3.7	51.9	—
一緒に参加してくれる人がいないから	—	—	—	9.1	—	9.1	18.2
病人や高齢者など家族の世話をしているから	—	—	—	—	10.0	20.0	—
その他	—	—	—	—	35.0	20.0	5.0

問 31 あなたは、地域で行われている以下の活動の中で、機会があれば参加したいもの、または参加しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「道路や公園などの清掃活動」の割合が29.7%と最も高く、次いで「文化・芸術・スポーツなどのサークル活動」の割合が28.6%、「特にない」の割合が27.6%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別でみると、「文化・芸術・スポーツなどのサークル活動」は30～39歳、70～74歳で、「道路や公園などの清掃活動」は50～59歳、65～69歳、75歳以上で、「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」が最も高くなっています。

「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」は30～39歳でも割合が高く、問21、問25と同じ傾向が読み取れます。

また、30～39歳で「子ども同士や親子の交流会、サークルなどの活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	文化・芸術・スポーツなどのサークル活動	道路や公園などの清掃活動	資源回収やゴミの分別、リサイクル活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	祭りや盆踊り、運動会などのイベント	高齢者・障がいのある人への支援などの福祉活動	募金活動	子ども同士や親子の交流会、サークルなどの活動	地域の茶の間、サロンなどの活動	その他	特にない	無回答
18～29歳	38	31.6	13.2	7.9	2.6	36.8	7.9	2.6	18.4	7.9	—	31.6	2.6
30～39歳	30	40.0	20.0	6.7	3.3	33.3	10.0	—	33.3	3.3	—	20.0	—
40～49歳	56	28.6	28.6	16.1	16.1	23.2	3.6	1.8	19.6	8.9	—	33.9	1.8
50～59歳	67	32.8	37.3	19.4	16.4	22.4	9.0	6.0	4.5	10.4	1.5	22.4	—
60～64歳	39	23.1	25.6	20.5	12.8	10.3	12.8	5.1	2.6	12.8	2.6	33.3	—
65～69歳	53	18.9	39.6	18.9	28.3	28.3	18.9	15.1	1.9	11.3	—	24.5	3.8
70～74歳	45	35.6	28.9	20.0	11.1	26.7	13.3	4.4	4.4	22.2	2.2	22.2	2.2
75歳以上	104	25.0	30.8	14.4	14.4	16.3	11.5	8.7	2.9	17.3	3.8	30.8	10.6

【ボランティア等に参加している・参加したことがある分野別】

ボランティア等に参加している・参加したことがある分野別でみると、他に比べ、障がい者への支援などで「高齢者・障がい者への支援などの福祉活動」の割合が高くなっています。また、青少年のための活動で「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」の割合が高くなっています。

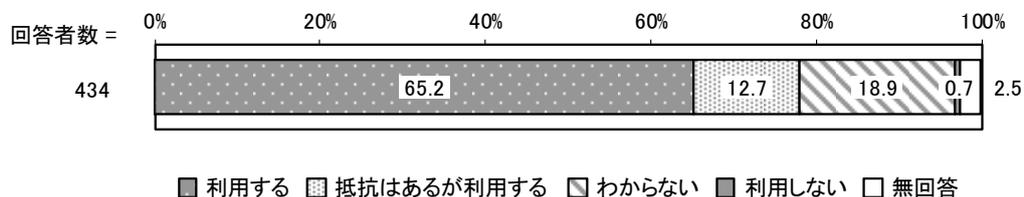
単位：％

区分	回答者数 (件)	文化・芸術・スポーツなどのサークル活動	道路や公園などの清掃活動	資源回収やゴミの分別、リサイクル活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	祭りや盆踊り、運動会などのイベント	高齢者・障がい者への支援などの福祉活動
環境関係	140	36.4	50.7	24.3	20.7	32.1	11.4
青少年のための活動	37	40.5	45.9	16.2	32.4	51.4	21.6
高齢者への支援など	44	40.9	40.9	25.0	38.6	31.8	52.3
募金や寄付を集める手伝い	52	42.3	44.2	25.0	30.8	46.2	25.0
災害時の支援活動	34	35.3	38.2	20.6	32.4	29.4	26.5
障がい者への支援など	11	45.5	45.5	27.3	18.2	27.3	63.6
子育て関係	17	58.8	11.8	29.4	29.4	35.3	35.3
国際交流に関する活動	6	66.7	33.3	—	33.3	33.3	16.7
保健・医療関係	9	44.4	11.1	—	22.2	11.1	11.1
その他	13	23.1	23.1	23.1	30.8	23.1	15.4
参加したことがない（参加できない）	194	22.2	19.1	11.3	7.7	18.6	7.7

区分	募金活動	子ども同士や親子の交流会、サークルなどの活動	地域の茶の間、サロンなどの活動	その他	特にない	無回答
環境関係	10.0	10.7	17.9	1.4	14.3	0.7
青少年のための活動	18.9	24.3	29.7	5.4	8.1	—
高齢者への支援など	20.5	9.1	40.9	2.3	11.4	6.8
募金や寄付を集める手伝い	28.8	13.5	32.7	1.9	17.3	—
災害時の支援活動	26.5	11.8	41.2	5.9	17.6	—
障がい者への支援など	18.2	18.2	45.5	9.1	—	—
子育て関係	17.6	17.6	35.3	—	11.8	5.9
国際交流に関する活動	—	16.7	—	—	16.7	—
保健・医療関係	11.1	11.1	—	—	22.2	—
その他	15.4	15.4	30.8	23.1	30.8	7.7
参加したことがない（参加できない）	2.6	8.2	4.6	0.5	41.2	2.6

問 32 あなた自身やあなたの家族に、福祉サービス（介護保険や障害者自立支援給付を含む）が必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか。（○は1つだけ）

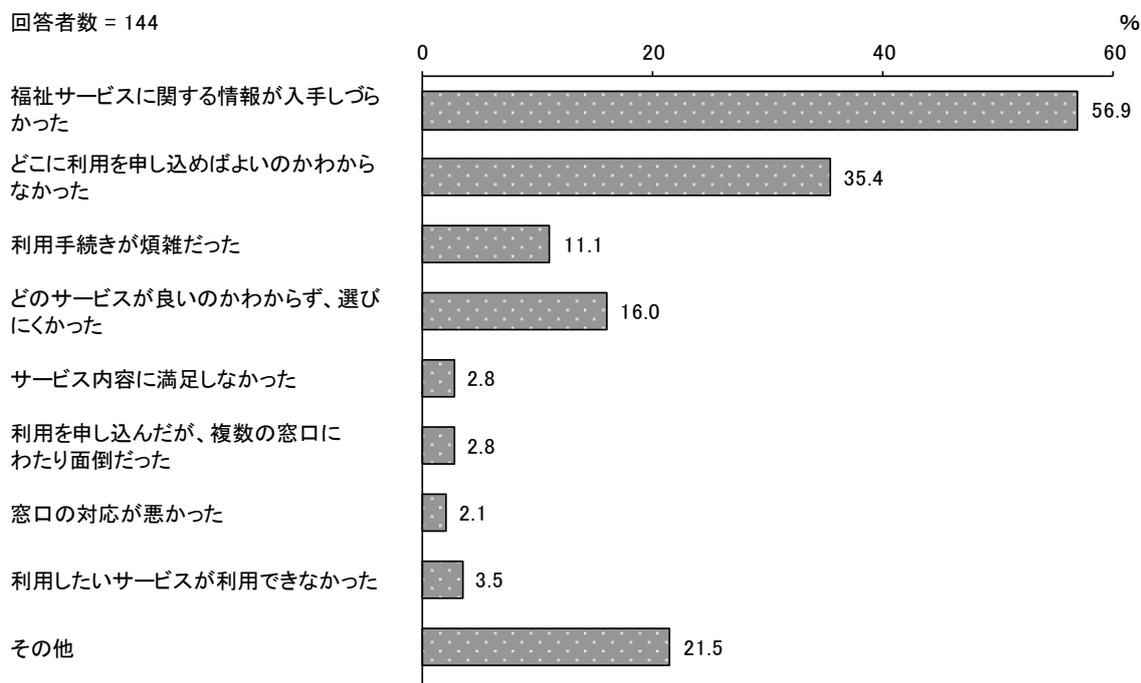
「利用する」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 18.9%、「抵抗はあるが利用する」の割合が 12.7%となっています。



問 33 福祉サービスについて「不都合や不満を感じたことがある」方にうかがいます。不都合を感じたり不満に思ったことはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」の割合が 35.4%、「どのサービスが良いのかわからず、選びにくかった」の割合が 16.0%となっています。

情報提供方法、内容などに課題があるといえます。



※無回答を除いて集計しています。

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、65～69歳で「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」の割合が高くなっています。また、50～59歳で「どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった	どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった	利用手続きが煩雑だった	どのサービスが良いのかわからず、選びにくかった	サービス内容に満足しなかった	窓口を申し込んだが、複数の窓口にわたり面倒だった	窓口の対応が悪かった	利用したいサービスが利用できなかった	その他
18～29歳	12	41.7	41.7	16.7	—	—	—	—	—	41.7
30～39歳	11	54.5	36.4	9.1	18.2	—	—	—	—	27.3
40～49歳	17	52.9	41.2	11.8	11.8	—	—	—	—	23.5
50～59歳	22	63.6	50.0	—	13.6	9.1	9.1	—	9.1	18.2
60～64歳	15	66.7	26.7	13.3	13.3	6.7	6.7	13.3	—	6.7
65～69歳	16	68.8	25.0	6.3	12.5	—	—	—	6.3	12.5
70～74歳	18	55.6	38.9	—	27.8	—	—	5.6	—	11.1
75歳以上	32	53.1	25.0	25.0	21.9	3.1	3.1	—	6.3	31.3

【福祉サービスの利用意向別】

福祉サービスの利用意向別でみると、他に比べ、利用するで「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」の割合が高くなっています。

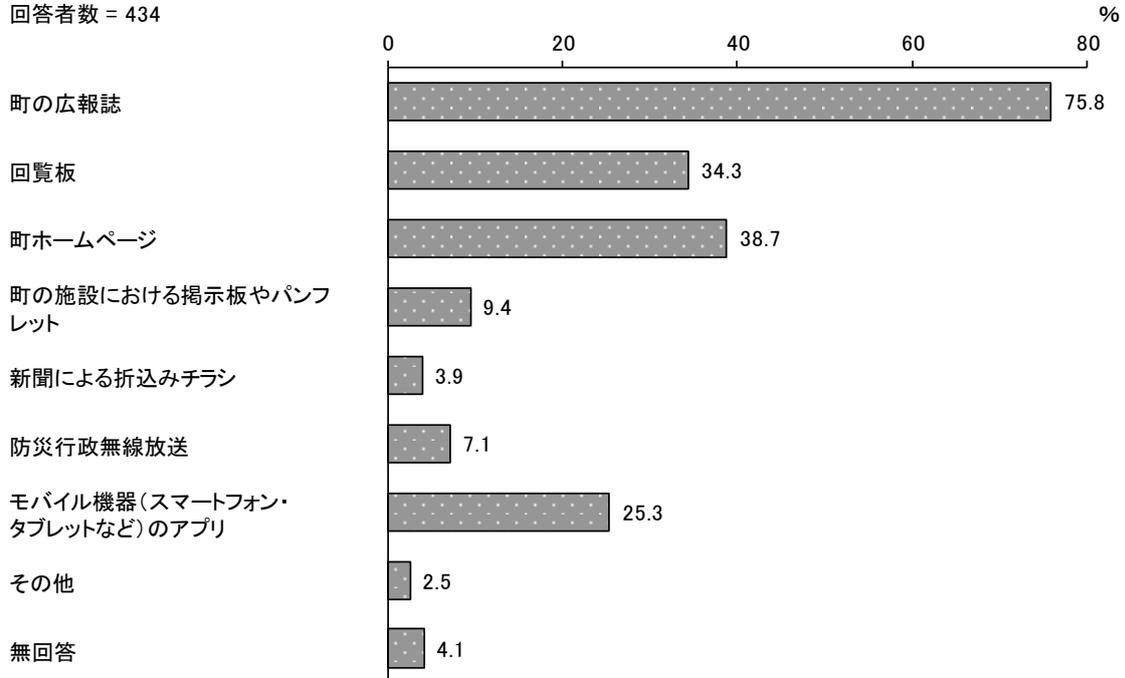
単位：％

区分	回答者数(件)	福祉サービスに関する情報が入手しづらかった	どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった	利用手続きが煩雑だった	どのサービスが良いのかわからず、選びにくかった	サービス内容に満足しなかった	窓口を申し込んだが、複数の窓口にわたり面倒だった	窓口の対応が悪かった	利用したいサービスが利用できなかった	その他
利用する	99	58.6	35.4	14.1	17.2	3.0	2.0	3.0	4.0	19.2
抵抗はあるが利用する	17	52.9	23.5	5.9	17.6	5.9	5.9	—	5.9	17.6
わからない	27	55.6	44.4	3.7	11.1	—	3.7	—	—	29.6
利用しない	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

問 34 河南町の保健や福祉に関する情報を、どのような方法で知りたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「町の広報誌」の割合が75.8%と最も高く、次いで「町ホームページ」の割合が38.7%、「回覧板」の割合が34.3%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、65～69歳で「防災行政無線放送」の割合が、18～29歳で「モバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）のアプリ」の割合が高くなっています。また、18～29歳で「町の広報誌」の割合が低くなっています。

年齢が高くなるほど「町の広報誌」、「回覧板」の割合が高くなる、年齢が低くなるほど「町ホームページ」、「モバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）のアプリ」の割合が高くなる傾向があります。

年代に応じて広報媒体を選ぶ必要があるといえます。

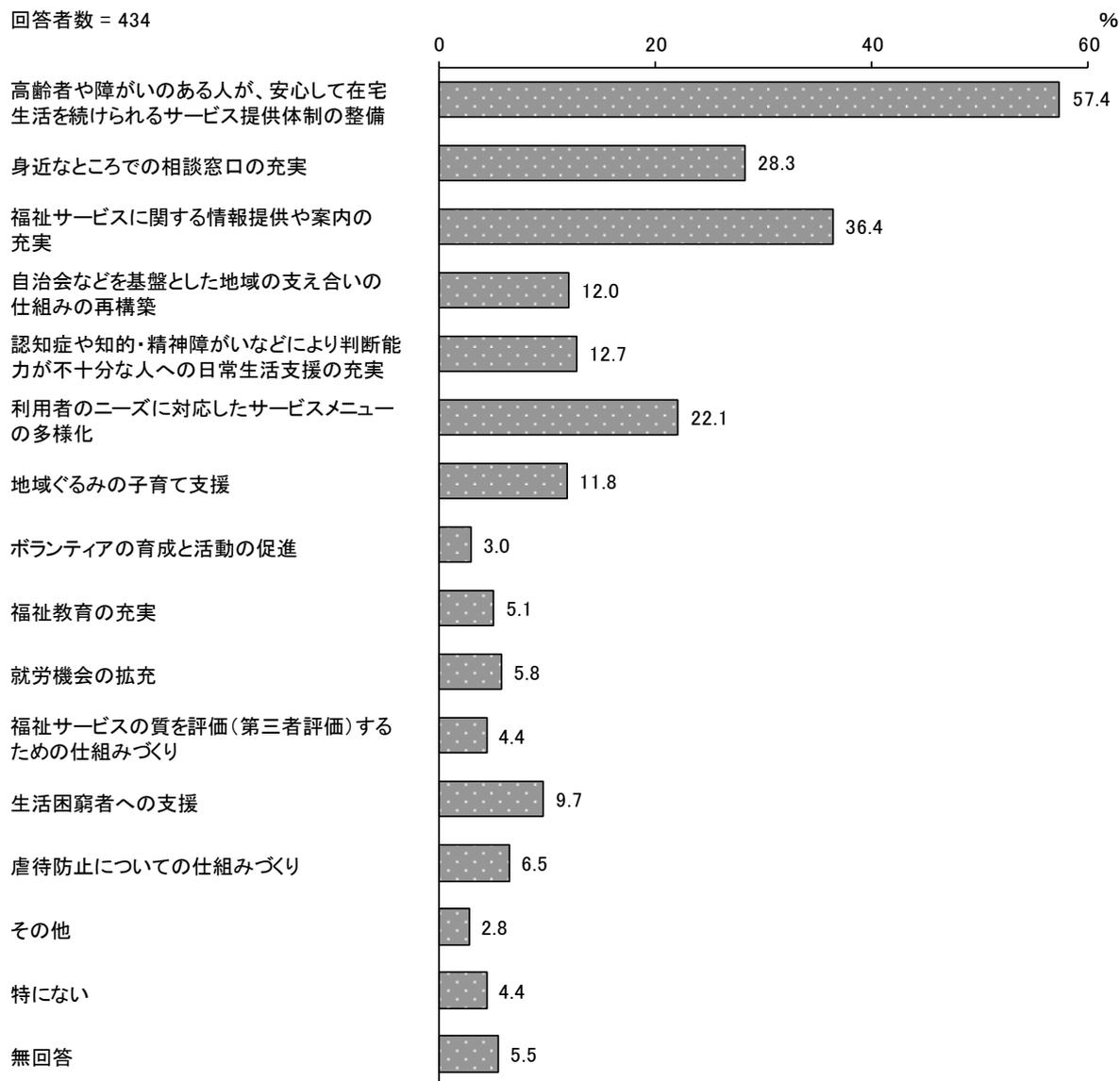
単位：％

区分	回答者数 (件)	町の広報誌	回覧板	町ホームページ	役場など、町の施設における 掲示板やパンフレット	新聞による折込みチラシ	防災行政無線放送	モバイル機器（スマートフォン、 タブレットなど）のアプリ	その他	無回答
18～29歳	38	47.4	23.7	44.7	5.3	5.3	2.6	55.3	—	—
30～39歳	30	66.7	20.0	53.3	10.0	3.3	6.7	40.0	—	3.3
40～49歳	56	71.4	25.0	42.9	14.3	3.6	3.6	37.5	7.1	1.8
50～59歳	67	88.1	31.3	47.8	3.0	—	7.5	23.9	1.5	—
60～64歳	39	84.6	30.8	56.4	2.6	2.6	2.6	23.1	—	—
65～69歳	53	83.0	43.4	39.6	11.3	5.7	17.0	20.8	1.9	3.8
70～74歳	45	77.8	40.0	35.6	8.9	2.2	6.7	17.8	2.2	8.9
75歳以上	104	76.0	44.2	18.3	14.4	6.7	7.7	10.6	3.8	8.7

問 35 今後、地域福祉のまちづくりのために河南町はどのような施策を優先的に取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」の割合が57.4%と最も高く、次いで「福祉サービスに関する情報提供や案内の充実」の割合が36.4%、「身近なところでの相談窓口の充実」の割合が28.3%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30～39歳で「地域ぐるみの子育て支援」の割合が、18～29歳で「虐待防止についての仕組みづくり」の割合が高くなっています。

全世代とも「高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備」の割合が最も高くなっています。

これ以外では、50歳以上の年代で「福祉サービスに関する情報提供や案内の充実」が18～49歳で「地域ぐるみの子育て支援」が他世代より高い傾向があります。

単位：％

区分	回答者数（件）	高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制の整備	身近なところでの相談窓口の充実	福祉サービスに関する情報提供や案内の充実	自治会などを基盤とした地域の支え合いの仕組みの再構築	認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力が不十分な人への日常生活支援の充実	利用者のニーズに対応したサービスメニューの多様化	地域ぐるみの子育て支援	ボランティアの育成と活動の促進
18～29歳	38	44.7	18.4	21.1	—	15.8	13.2	26.3	5.3
30～39歳	30	40.0	10.0	26.7	13.3	13.3	26.7	33.3	—
40～49歳	56	53.6	32.1	28.6	7.1	10.7	26.8	25.0	1.8
50～59歳	67	43.3	31.3	43.3	14.9	6.0	28.4	16.4	1.5
60～64歳	39	71.8	25.6	48.7	7.7	17.9	15.4	7.7	—
65～69歳	53	62.3	32.1	41.5	17.0	13.2	20.8	1.9	5.7
70～74歳	45	60.0	28.9	44.4	17.8	11.1	28.9	2.2	2.2
75歳以上	104	70.2	32.7	33.7	13.5	15.4	17.3	1.0	4.8

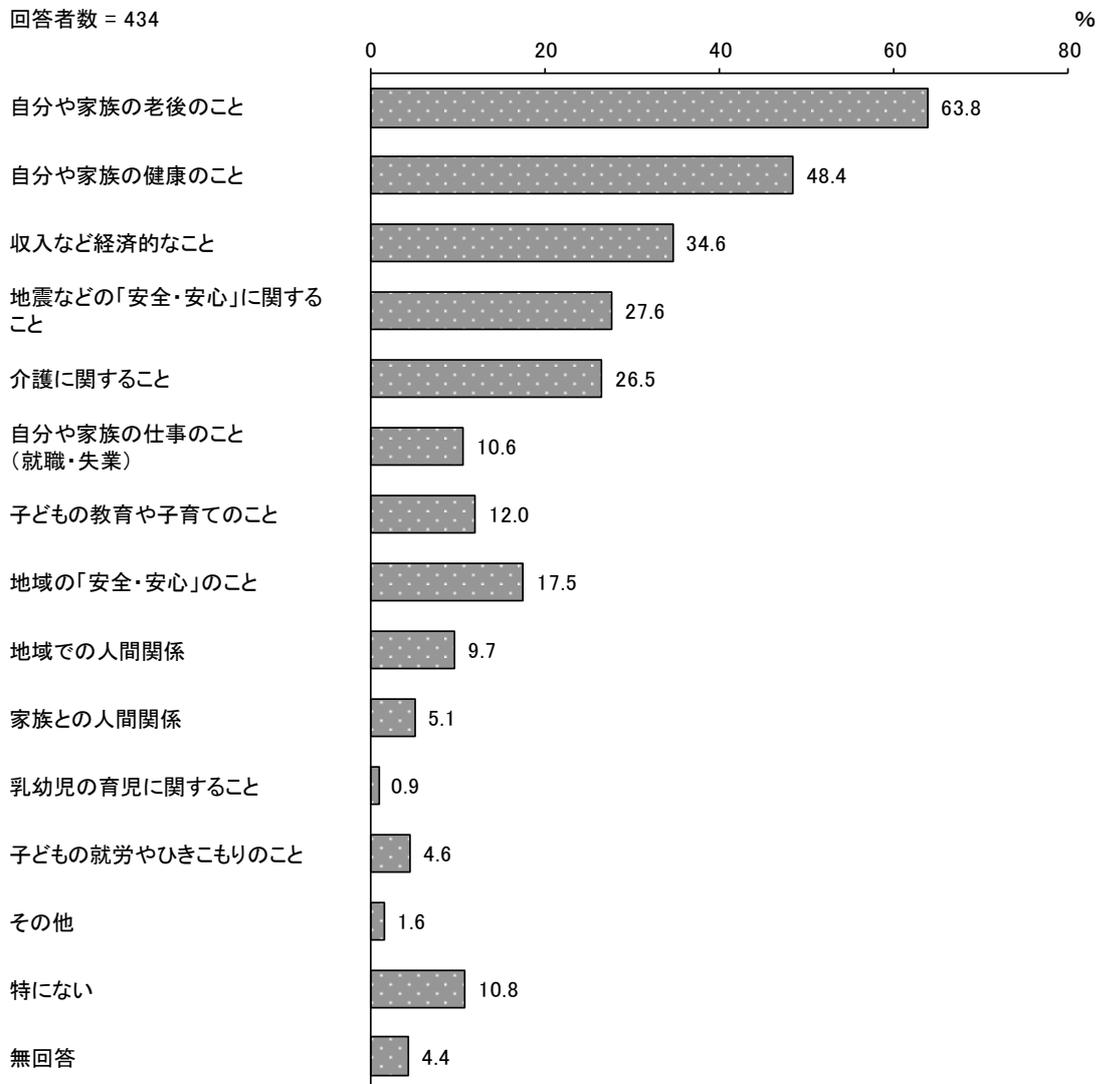
区分	福祉教育の充実	就労機会の拡充	福祉サービスの質を評価（第三者評価）するための仕組みづくり	生活困窮者への支援	虐待防止についての仕組みづくり	その他	特にない	無回答
18～29歳	10.5	7.9	5.3	15.8	18.4	2.6	7.9	5.3
30～39歳	13.3	6.7	—	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7
40～49歳	7.1	10.7	7.1	7.1	5.4	5.4	7.1	1.8
50～59歳	1.5	9.0	3.0	13.4	7.5	7.5	4.5	—
60～64歳	5.1	12.8	2.6	5.1	7.7	—	2.6	2.6
65～69歳	3.8	1.9	1.9	9.4	3.8	—	5.7	9.4
70～74歳	—	2.2	2.2	4.4	4.4	2.2	2.2	6.7
75歳以上	4.8	1.0	7.7	8.7	1.9	—	1.9	8.7

(5) 悩みごとや福祉に関する相談先について

問 36 あなたは、日頃の暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「自分や家族の老後のこと」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「自分や家族の健康のこと」の割合が 48.4%、「収入など経済的なこと」の割合が 34.6%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別でみると、30歳以上で「自分や家族の老後のこと」の割合が、18～29歳、30～39歳で「収入など経済的なこと」の割合が1番高くなっています。

60～64歳で「地震などの「安全・安心」に関すること」、「自分や家族の健康のこと」、「介護に関すること」の割合が、30～39歳、40～49歳で「子どもの教育や子育てのこと」の割合が他世代より高くなっています。また、18～29歳で「家族との人間関係」の割合が高くなっています。

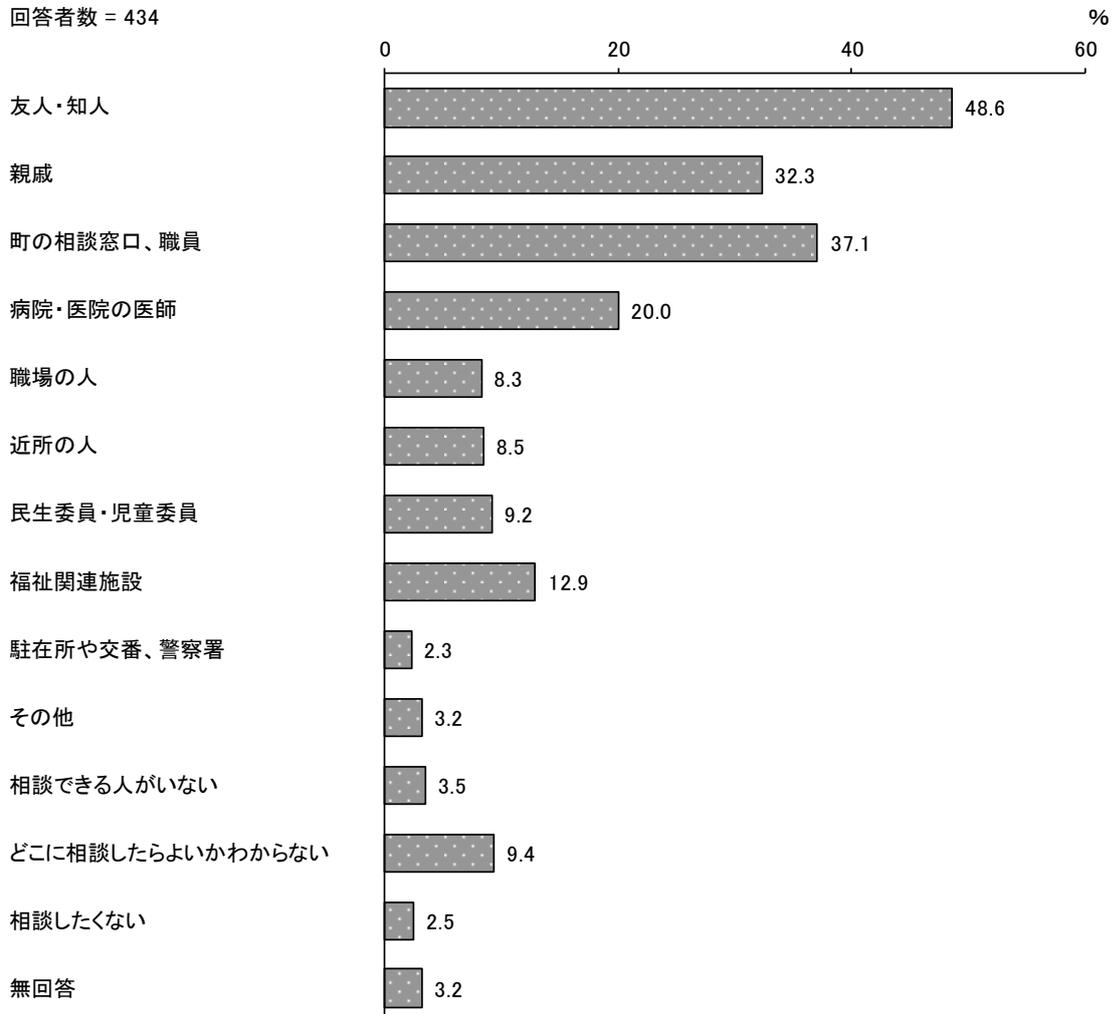
単位：%

区分	回答者数 (件)	自分や家族の老後のこと	自分や家族の健康のこと	収入など経済的なこと	地震などの「安全・安心」に関すること	介護に関すること	自分や家族の仕事のこと (就職・失業)	子どもの教育や子育てのこと	地域の「安全・安心」のこと	地域での人間関係	家族との人間関係	乳幼児の育児に関すること	子どもの就労やひきこもりのこと	その他	特にない	無回答
18～29歳	38	42.1	36.8	50.0	23.7	13.2	23.7	15.8	13.2	10.5	13.2	7.9	5.3	2.6	15.8	—
30～39歳	30	60.0	43.3	60.0	26.7	26.7	10.0	50.0	23.3	13.3	6.7	—	3.3	6.7	13.3	—
40～49歳	56	67.9	46.4	42.9	26.8	17.9	12.5	39.3	19.6	12.5	3.6	1.8	8.9	—	10.7	1.8
50～59歳	67	70.1	40.3	44.8	32.8	23.9	23.9	10.4	23.9	13.4	7.5	—	6.0	—	7.5	—
60～64歳	39	76.9	61.5	28.2	41.0	35.9	12.8	2.6	12.8	5.1	2.6	—	7.7	—	10.3	—
65～69歳	53	67.9	39.6	34.0	28.3	30.2	3.8	1.9	15.1	9.4	1.9	—	—	—	13.2	5.7
70～74歳	45	75.6	64.4	17.8	22.2	22.2	2.2	—	13.3	2.2	—	—	—	4.4	4.4	11.1
75歳以上	104	55.8	53.8	21.2	24.0	33.7	2.9	—	16.3	9.6	5.8	—	3.8	1.9	11.5	9.6

問 37 毎日の暮らしの中で同居の家族以外の相談や助けが必要なとき、誰に相談してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人」の割合が48.6%と最も高く、次いで「町の相談窓口、職員」の割合が37.1%、「親戚」の割合が32.3%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18～29歳で「友人・知人」の割合が、70～74歳で「親戚」の割合が高くなっています。

全体的に見ると60歳未満では「友人・知人」の割合が高く、60歳以上になると「友人・知人」以外の選択肢が増える傾向にあります。若い人に対する相談窓口の周知が必要かもしれません。

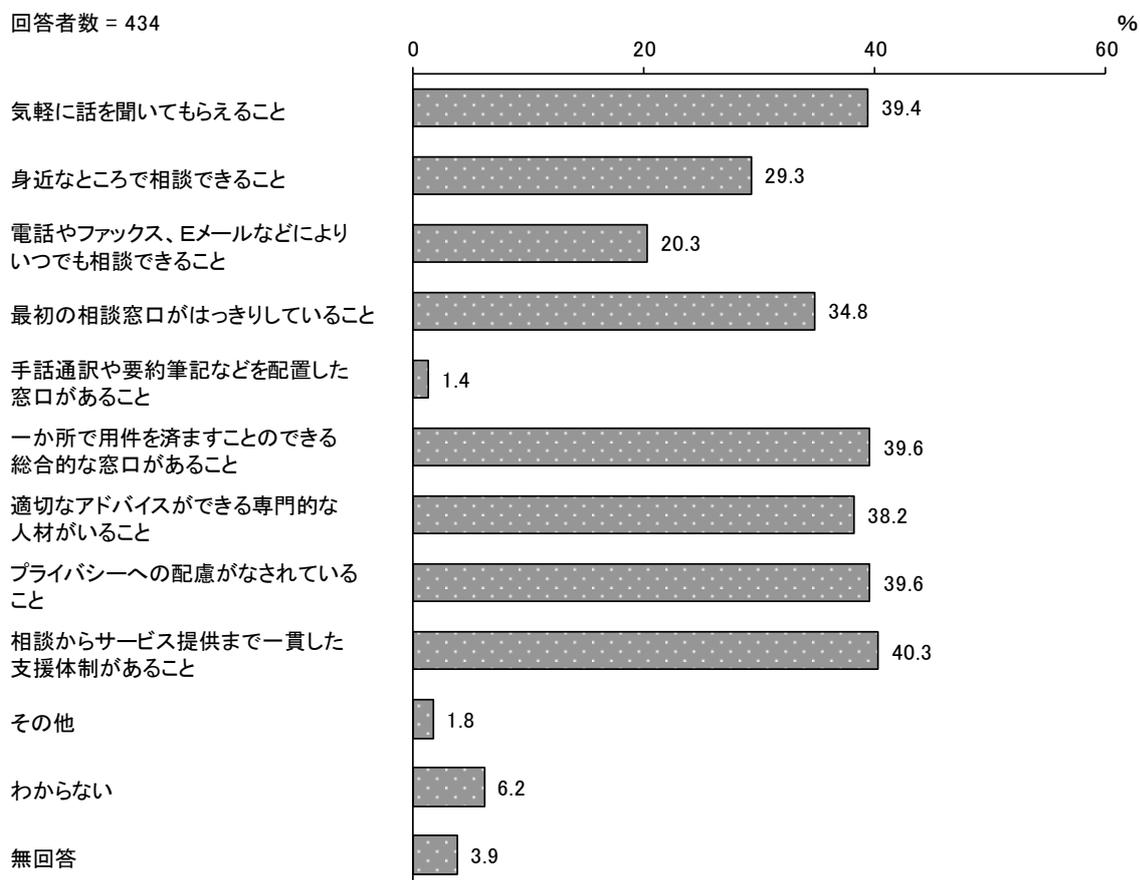
単位：％

区分	回答者数(件)	友人・知人	親戚	町の相談窓口、職員	病院・医院の医師	職場の人	近所の人	民生委員・児童委員	福祉関連施設	駐在所や交番、警察署	その他	相談できる人がいない	どこに相談したらよいか わからない	相談したくない	無回答
18～29歳	38	73.7	21.1	15.8	10.5	10.5	2.6	—	5.3	—	2.6	5.3	7.9	7.9	—
30～39歳	30	60.0	23.3	23.3	16.7	23.3	6.7	3.3	10.0	—	6.7	3.3	10.0	10.0	—
40～49歳	56	57.1	30.4	28.6	12.5	19.6	5.4	1.8	8.9	—	1.8	5.4	10.7	5.4	—
50～59歳	67	55.2	32.8	31.3	22.4	13.4	7.5	6.0	11.9	3.0	—	6.0	14.9	—	—
60～64歳	39	30.8	28.2	56.4	25.6	12.8	12.8	5.1	17.9	2.6	—	7.7	7.7	2.6	—
65～69歳	53	41.5	30.2	54.7	22.6	—	5.7	15.1	17.0	—	3.8	3.8	5.7	—	3.8
70～74歳	45	44.4	48.9	37.8	22.2	—	11.1	11.1	15.6	2.2	6.7	—	6.7	—	8.9
75歳以上	104	40.4	34.6	40.4	23.1	—	11.5	18.3	13.5	5.8	4.8	—	9.6	1.0	7.7

問 38 あなたは、どのような窓口があれば相談しやすいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「相談からサービス提供まで一貫した支援体制があること」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「一か所で用件を済ますことのできる総合的な窓口があること」、「プライバシーへの配慮がなされていること」の割合が 39.6%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、60～64歳で「電話やファックス、Eメールなどによりいつでも相談できること」の割合が、40～49歳で「プライバシーへの配慮がなされていること」の割合が高くなっています。また、60～64歳で「相談からサービス提供まで一貫した支援体制があること」の割合が高くなっています。

全体的に見て、ワンストップで気軽に相談できる窓口で、適切なアドバイスが受けられ、しかもプライバシーにも配慮されている。そんな窓口が望まれているといえます。

単位：％

区分	回答者数(件)	気軽に話を聞いてもらえること	身近なところで相談できること	電話やファックス、Eメールなどによりいつでも相談できること	最初の相談窓口がはっきりしていること	手話通訳や要約筆記などを配置した窓口があること	一か所で用件を済ますことのできる総合的な窓口があること	適切なアドバイスができる専門的な人材がいること	プライバシーへの配慮がなされていること	相談からサービス提供まで一貫した支援体制があること	その他	わからない	無回答
18～29歳	38	47.4	23.7	23.7	23.7	5.3	23.7	31.6	34.2	21.1	7.9	13.2	—
30～39歳	30	36.7	36.7	23.3	33.3	—	33.3	46.7	46.7	36.7	—	6.7	—
40～49歳	56	35.7	19.6	23.2	35.7	5.4	35.7	32.1	55.4	42.9	3.6	8.9	—
50～59歳	67	41.8	32.8	23.9	41.8	—	41.8	46.3	43.3	41.8	—	4.5	—
60～64歳	39	43.6	25.6	35.9	46.2	—	46.2	48.7	46.2	59.0	—	5.1	—
65～69歳	53	26.4	26.4	24.5	32.1	—	43.4	39.6	37.7	39.6	3.8	3.8	5.7
70～74歳	45	33.3	31.1	13.3	33.3	—	51.1	42.2	46.7	37.8	—	—	11.1
75歳以上	104	46.2	34.6	9.6	31.7	1.0	38.5	29.8	25.0	40.4	1.0	6.7	8.7

(6) 社会的な課題について

問 39 あなたは身近な地域で、下記のA～Dに示す虐待などについて見聞きしたことがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

大きな差異はみられませんが、「子ども(18歳未満)への虐待」、「配偶者、恋人などへの暴力」の割合が他に比べて少し高くなっています。

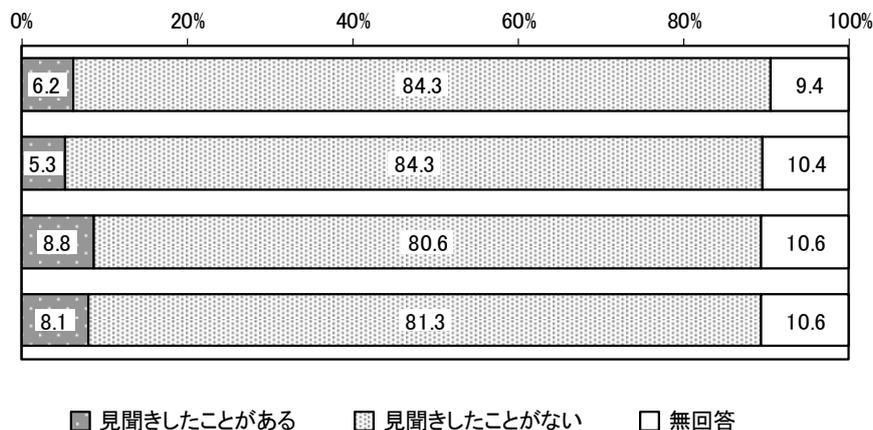
回答者数 = 434

A. 高齢者への虐待

B. 障がいのある人への虐待

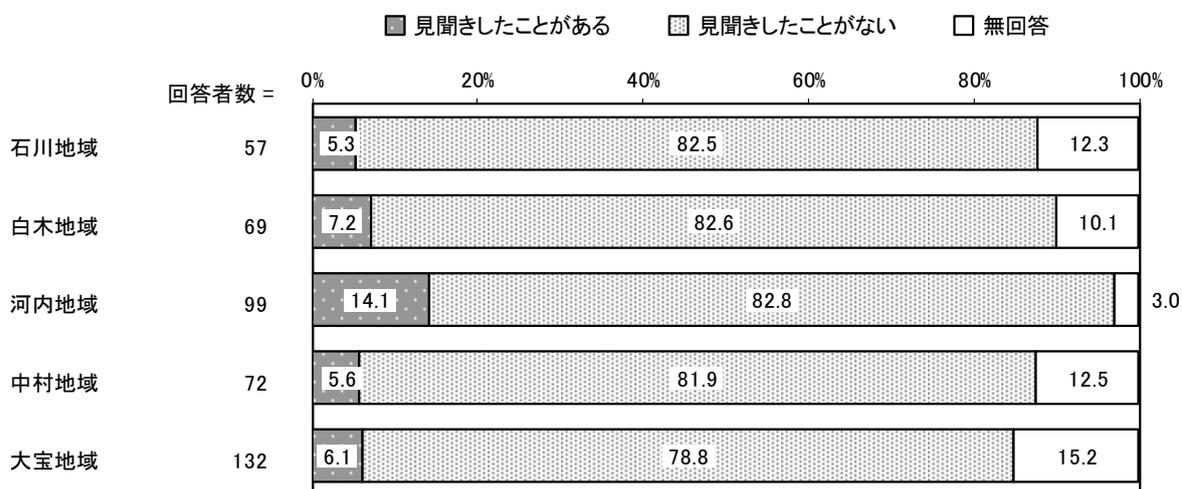
C. 子ども(18歳未満)への虐待

D. 配偶者、恋人などへの暴力



【地域別】

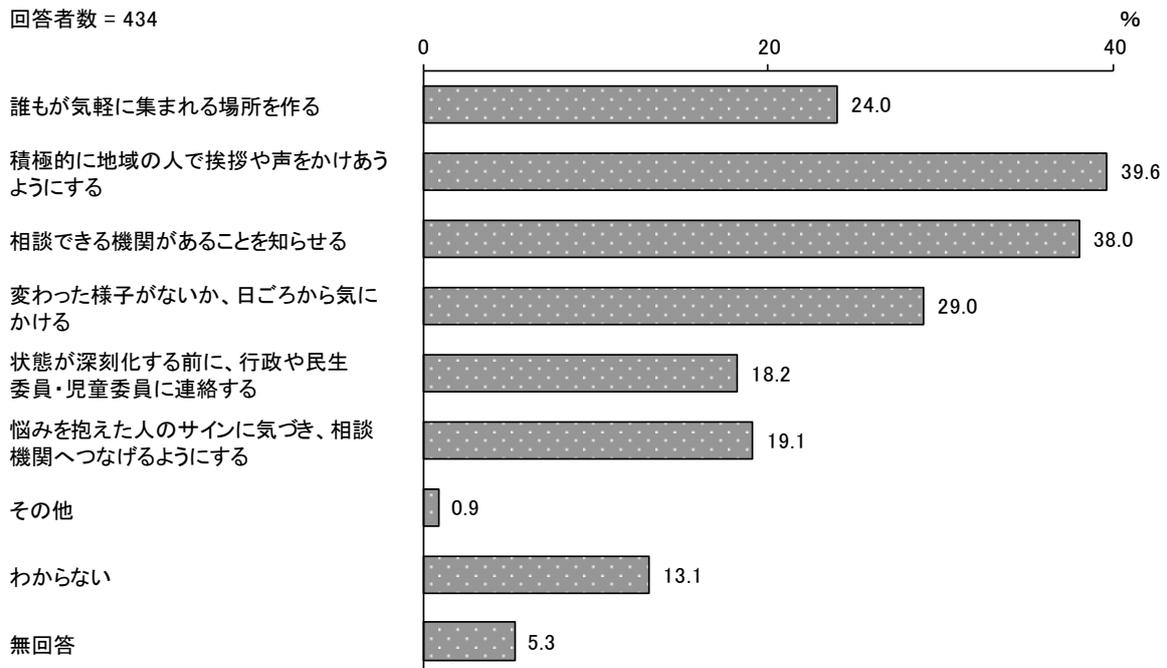
地域別でみると、河内地域で「見聞きしたことがある」の割合が高くなっています。



問 40 社会的孤立が課題となっていますが、あなたは地域住民の一員としてこの課題に対して、どのようなことができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「積極的に地域の人で挨拶や声をかけあうようにする」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「相談できる機関があることを知らせる」の割合が 38.0%、「変わった様子がないか、日ごろから気にかける」の割合が 29.0%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、75歳以上で「誰もが気軽に集まれる場所を作る」「積極的に地域の人で挨拶や声をかけあうようにする」の割合が、60～64歳で「変わった様子がないか、日ごろから気にかける」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	誰もが気軽に集まれる場所を作る	積極的に地域の人で挨拶や声をかけあうようにする	相談できる機関があることを知らせる	変わった様子がないか、日ごろから気にかける	状態が深刻化する前に、行政や民生委員・児童委員に連絡する	悩みを抱えた人のサインに気づき、相談機関へつなげるようにする	その他	わからない	無回答
18～29歳	38	23.7	31.6	23.7	26.3	10.5	23.7	2.6	21.1	—
30～39歳	30	23.3	33.3	36.7	6.7	10.0	20.0	—	16.7	3.3
40～49歳	56	21.4	33.9	33.9	26.8	10.7	30.4	3.6	16.1	1.8
50～59歳	67	20.9	35.8	41.8	22.4	23.9	13.4	—	13.4	1.5
60～64歳	39	17.9	35.9	41.0	41.0	20.5	25.6	—	12.8	2.6
65～69歳	53	18.9	39.6	45.3	30.2	26.4	11.3	—	13.2	5.7
70～74歳	45	24.4	42.2	37.8	35.6	11.1	20.0	2.2	11.1	8.9
75歳以上	104	31.7	51.0	38.5	34.6	22.1	15.4	—	8.7	10.6

【地域別】

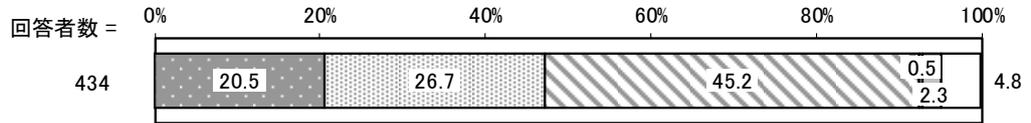
地域別でみると、他に比べ、白木地域で「相談できる機関があることを知らせる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	誰もが気軽に集まれる場所を作る	積極的に地域の人で挨拶や声をかけあうようにする	相談できる機関があることを知らせる	変わった様子がないか、日ごろから気にかける	状態が深刻化する前に、行政や民生委員・児童委員に連絡する	悩みを抱えた人のサインに気づき、相談機関へつなげるようにする	その他	わからない	無回答
石川地域	57	12.3	38.6	33.3	21.1	21.1	10.5	—	24.6	8.8
白木地域	69	23.2	26.1	46.4	23.2	17.4	11.6	—	10.1	4.3
河内地域	99	30.3	42.4	36.4	33.3	13.1	20.2	1.0	10.1	2.0
中村地域	72	22.2	41.7	33.3	36.1	16.7	25.0	—	13.9	4.2
大宝地域	132	25.8	43.9	38.6	28.0	21.2	22.0	2.3	12.1	6.8

問 41 あなたは「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つだけ)

「制度は知っているが、利用する必要がない」の割合が45.2%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」の割合が26.7%、「言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない」の割合が20.5%となっています。

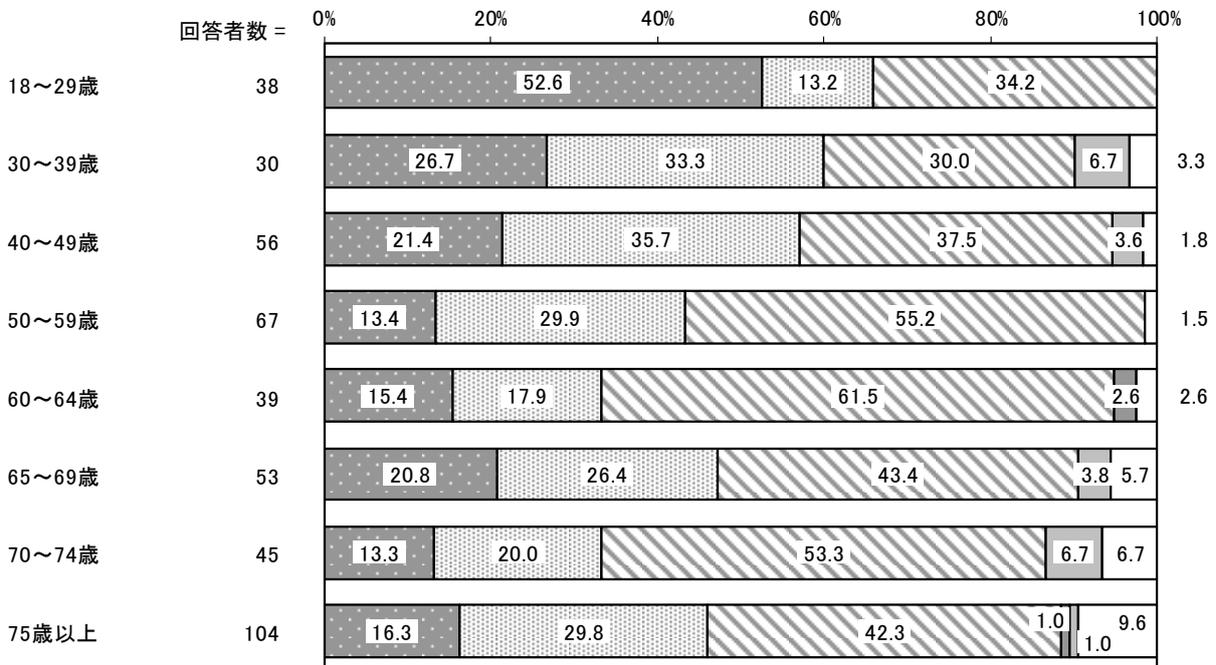


- 言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない
- 言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない
- 制度は知っているが、利用する必要がない
- 制度を利用している
- 制度を利用するための手続き中である
- 制度を利用したいが、どのような手続きをしたらよいかわからない
- 無回答

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18～29歳で「言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない」の割合が、60～64歳で「制度は知っているが、利用する必要がない」の割合が高くなっています。

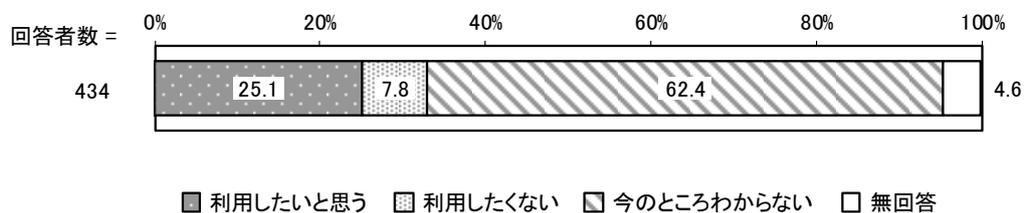
若い人へ制度を周知する必要があります。



- 言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない
- 言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない
- 制度は知っているが、利用する必要がない
- 制度を利用している
- 制度を利用するための手続き中である
- 制度を利用したいが、どのような手続きをしたらよいかわからない
- 無回答

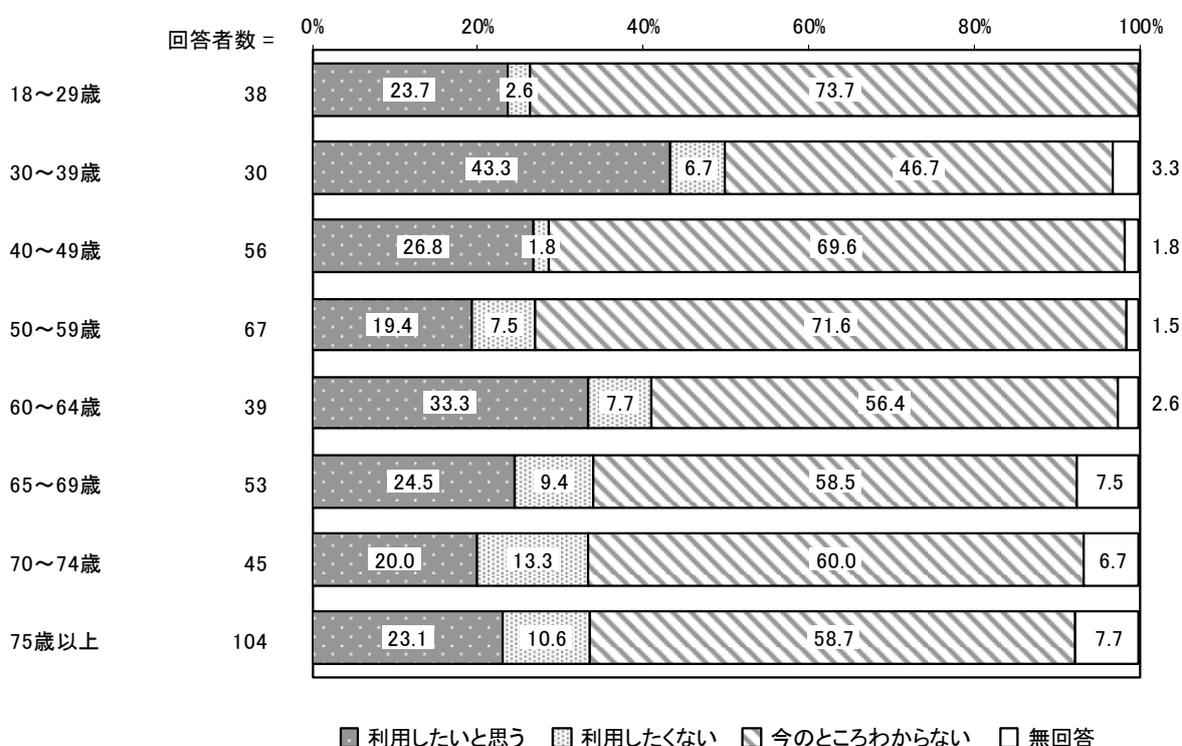
問 42 あなたやあなたの親族が認知症などにより、物事を判断する能力が十分でなくなったときに、成年後見制度を利用したいと思いますか。【〇は1つだけ】

「今のところわからない」の割合が62.4%と最も高く、次いで「利用したいと思う」の割合が25.1%となっています。



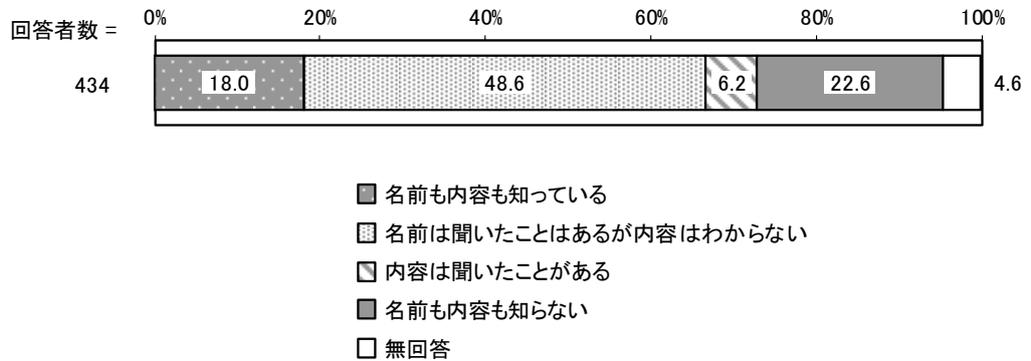
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「利用したいと思う」の割合が高くなっています。



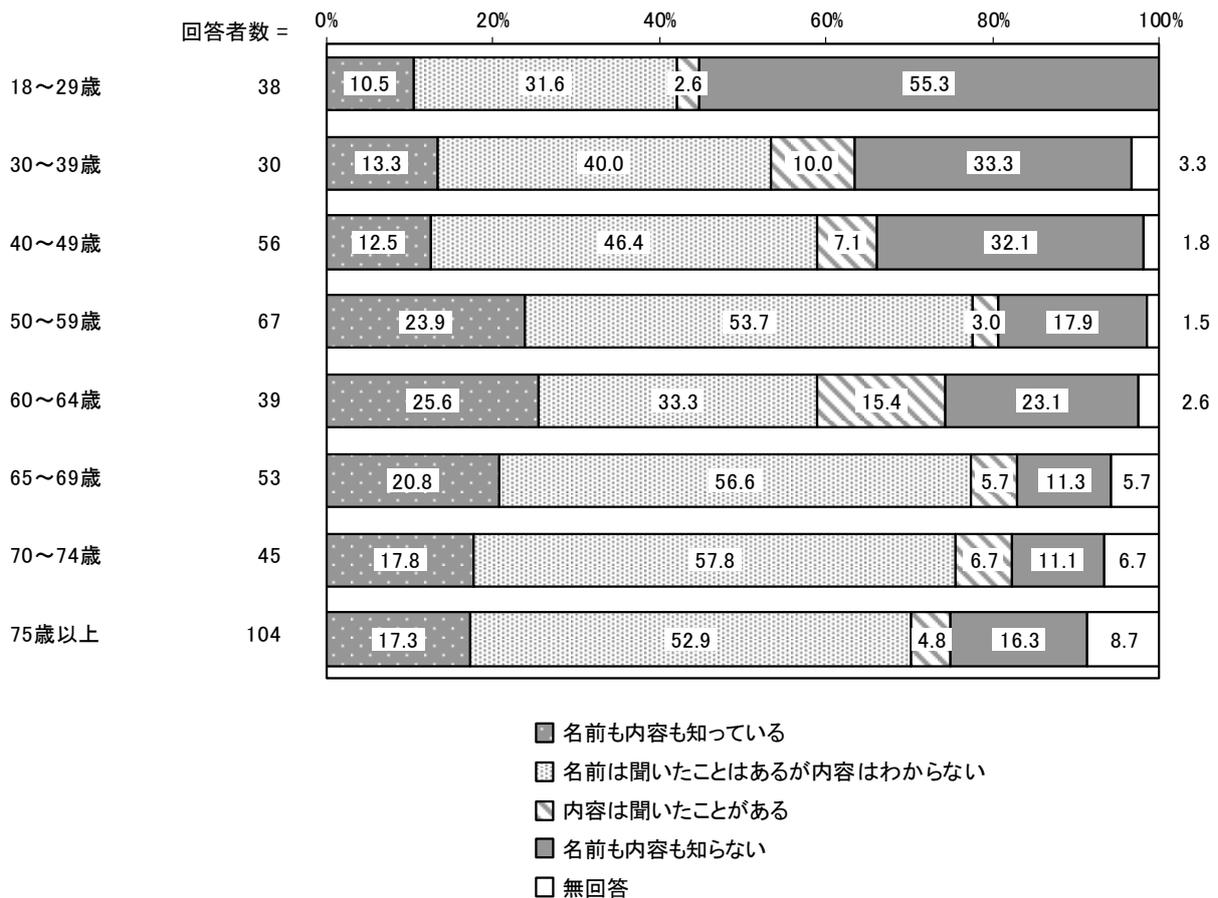
問 43 あなたは「生活困窮者自立支援法（制度）」を知っていますか。（○は1つだけ）

「名前は聞いたことはあるが内容はわからない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」の割合が22.6%、「名前も内容も知っている」の割合が18.0%となっています。



【年齢別】

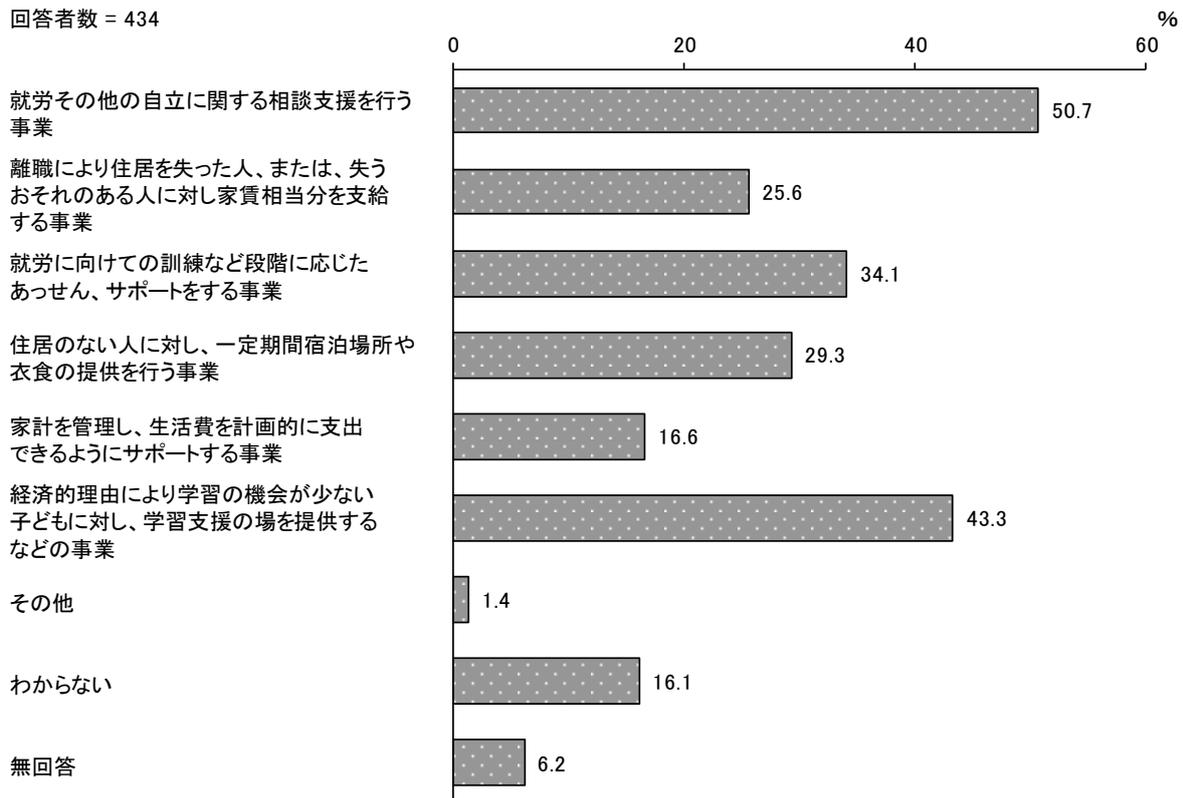
年齢別でみると、他に比べ、18～29歳で「名前も内容も知らない」の割合が、60～64歳で「内容は聞いたことがある」の割合が高くなっています。



問 44 就労や心身の状況、地域社会との関係性などの事情で、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが困難になったとして、必要と思われる支援内容は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」の割合が50.7%と最も高く、次いで「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」の割合が43.3%、「就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業」の割合が34.1%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別でみると、「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」、「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」以外では、18～29歳・30歳～39歳で「離職により住居を失った人、または、失うおそれのある人に対し家賃相当分を支援する事業」、30～39歳・40～49歳で「家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポートする事業」、50～59歳で「住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や移植の提供を行う事業」の割合が他世代より高くなっています。

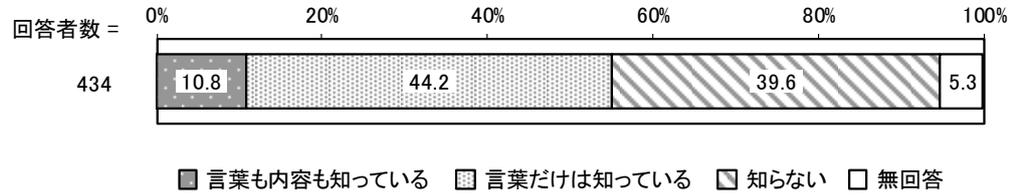
また、75歳以上で「わからない」と回答した方の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	就労その他の自立に関する相談支援を行う事業	離職により住居を失った人、または、失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業	就労に向けての訓練など段階に応じたあつせん、サポートをする事業	住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や衣食の提供を行う事業	家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポートする事業	経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業	その他	わからない	無回答
18～29歳	38	44.7	44.7	34.2	36.8	13.2	57.9	—	13.2	—
30～39歳	30	60.0	43.3	43.3	36.7	26.7	56.7	—	16.7	3.3
40～49歳	56	51.8	17.9	39.3	26.8	28.6	50.0	1.8	10.7	1.8
50～59歳	67	61.2	32.8	37.3	40.3	11.9	53.7	1.5	9.0	1.5
60～64歳	39	46.2	30.8	41.0	20.5	17.9	48.7	2.6	17.9	2.6
65～69歳	53	49.1	30.2	24.5	37.7	18.9	43.4	—	11.3	5.7
70～74歳	45	57.8	22.2	44.4	35.6	13.3	31.1	—	11.1	13.3
75歳以上	104	42.3	10.6	24.0	15.4	11.5	26.9	2.9	28.8	12.5

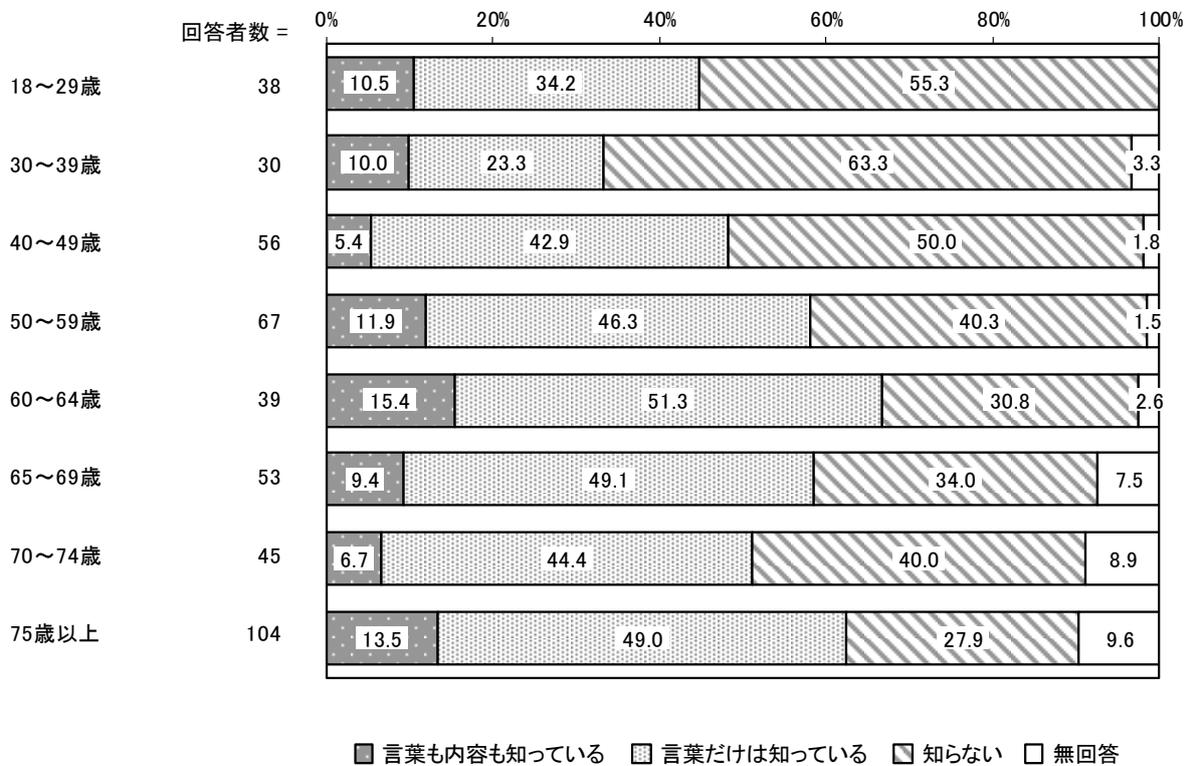
問 45 再犯の防止等の推進に関する法律（再犯防止推進法）について知っていますか。
（1つに○）

「言葉だけは知っている」の割合が44.2%と最も高く、次いで「知らない」の割合が39.6%、「言葉も内容も知っている」の割合が10.8%となっています。



【年齢別】

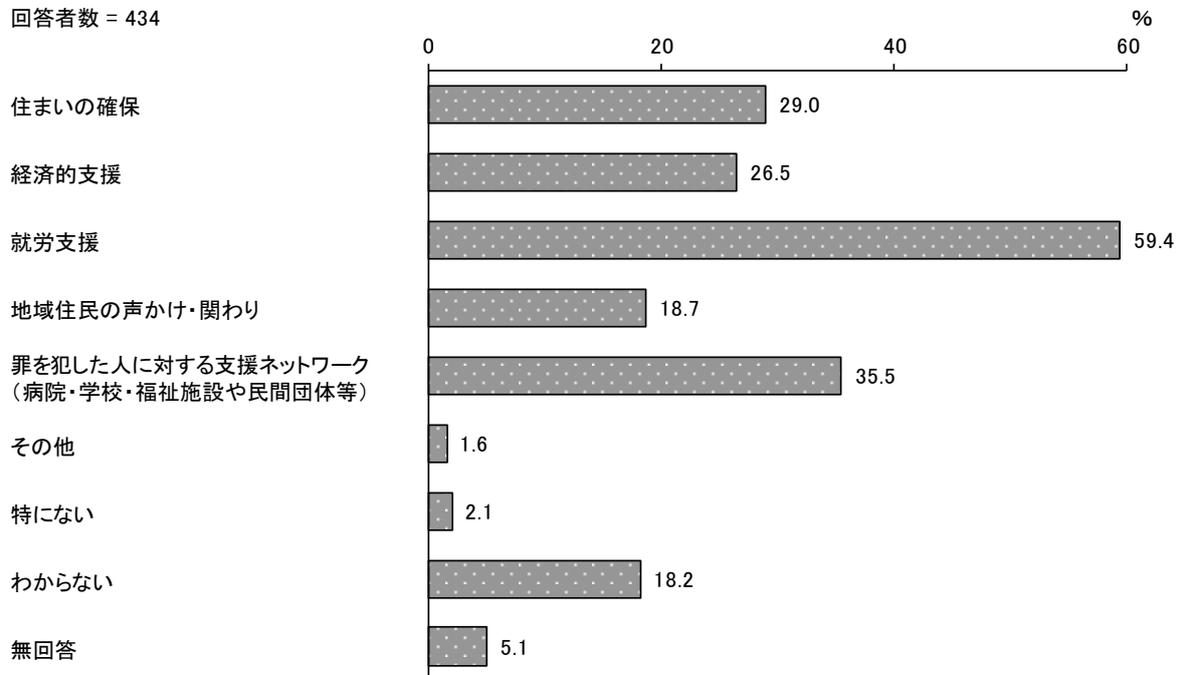
年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「知らない」の割合が高くなっています。



問 46 罪を犯した人が地域に戻る場合、その人に対してどのような再犯防止の支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

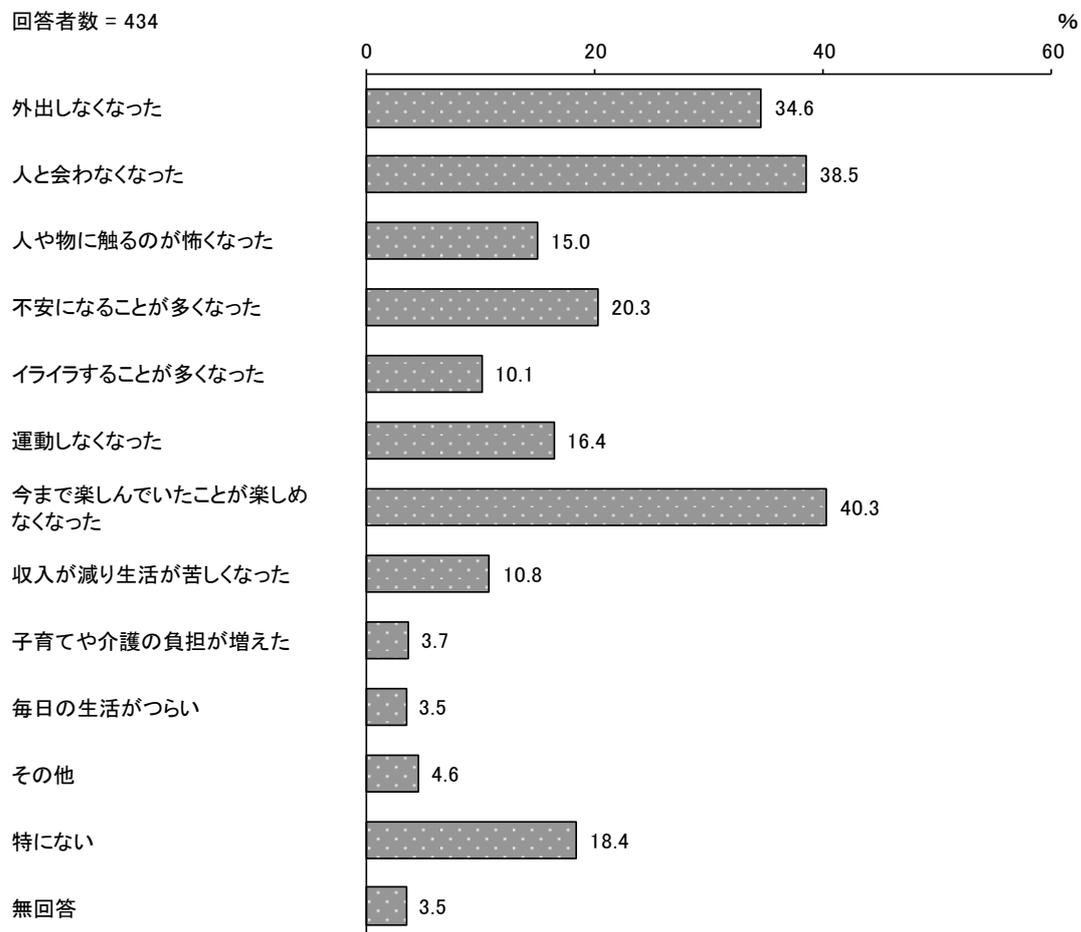
「就労支援」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「罪を犯した人に対する支援ネットワーク (病院・学校・福祉施設や民間団体等)」の割合が 35.5%、「住まいの確保」の割合が 29.0%となっています。

回答者数 = 434



問 47 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、困っていること・心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「今まで楽しんでいたことが楽しめなくなった」の割合が40.3%と最も高く、次いで「人と会わなくなった」の割合が38.5%、「外出しなくなった」の割合が34.6%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「人と会わなくなった」の割合が、40～49歳で「人や物に触るのが怖くなった」の割合が高くなっています。また、30～39歳で「イライラすることが多くなった」、「子育てや介護の負担が増えた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	外出しなくなった	人と会わなくなった	人や物に触るのが怖くなった	不安になることが多くなった	イライラすることが多くなった	運動しなくなった	今まで楽しんでいたことが楽しめなくなった	収入が減り生活が苦しくなった	子育てや介護の負担が増えた	毎日の生活がづらい	その他	特にない	無回答
18～29歳	38	21.1	31.6	13.2	18.4	7.9	21.1	26.3	18.4	—	5.3	10.5	23.7	—
30～39歳	30	30.0	43.3	10.0	23.3	23.3	3.3	46.7	10.0	26.7	6.7	3.3	6.7	—
40～49歳	56	30.4	37.5	23.2	16.1	16.1	10.7	35.7	16.1	10.7	3.6	7.1	25.0	3.6
50～59歳	67	23.9	34.3	17.9	16.4	13.4	7.5	46.3	19.4	3.0	7.5	3.0	17.9	—
60～64歳	39	23.1	41.0	15.4	25.6	10.3	17.9	59.0	10.3	—	2.6	2.6	20.5	—
65～69歳	53	37.7	34.0	13.2	20.8	3.8	22.6	35.8	13.2	—	1.9	7.5	20.8	3.8
70～74歳	45	44.4	53.3	11.1	22.2	6.7	26.7	37.8	2.2	—	—	2.2	8.9	8.9
75歳以上	104	48.1	37.5	13.5	21.2	6.7	19.2	38.5	2.9	—	1.9	2.9	19.2	6.7

【地域別】

地域別でみると、他に比べ、白木地域で「外出しなくなった」の割合が高くなっています。また、中村地域で「人と会わなくなった」の割合が、河内地域で「今まで楽しんでいたことが楽しめなくなった」の割合が高くなっています。

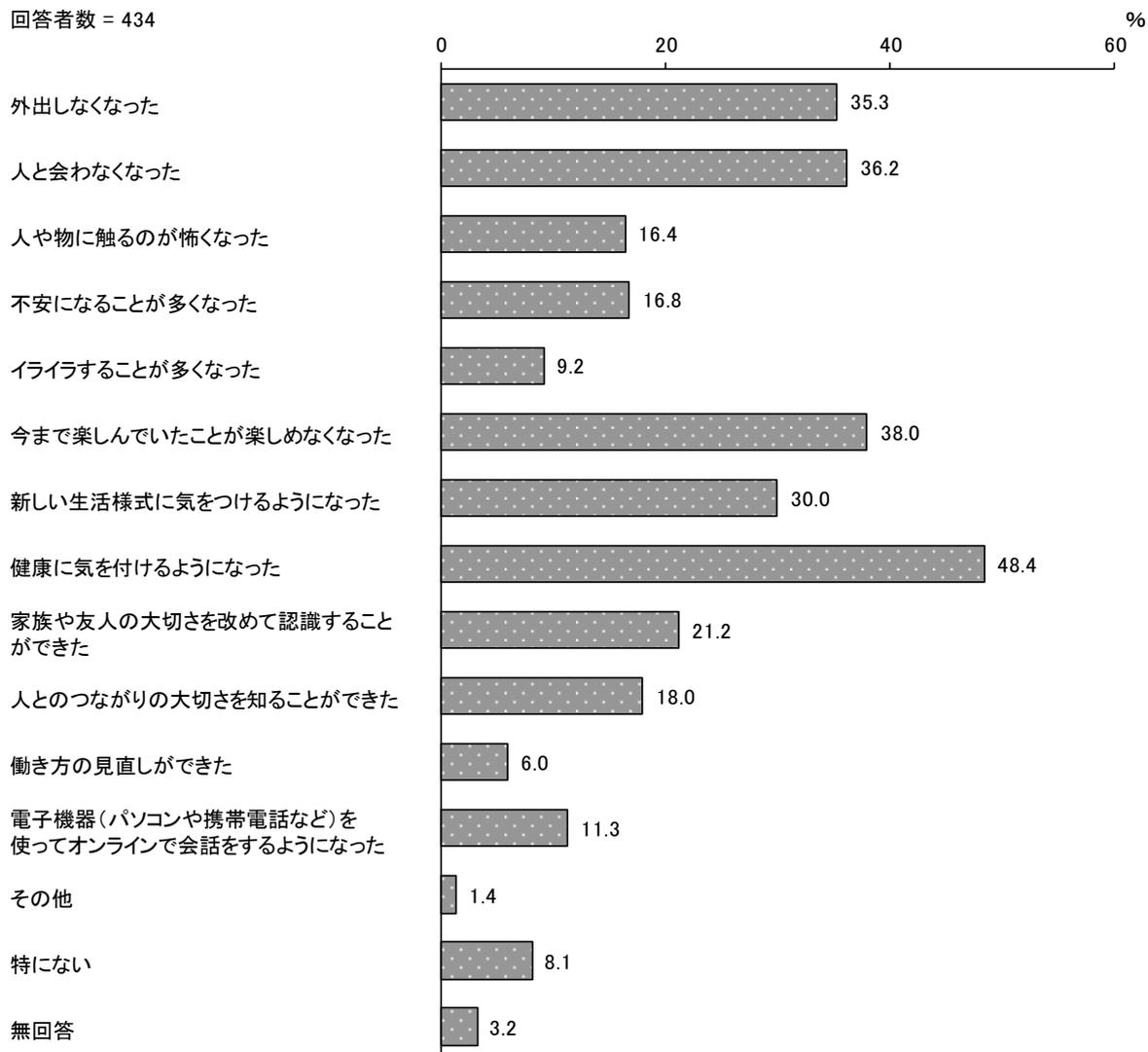
単位：％

区分	回答者数(件)	外出しなくなった	人と会わなくなった	人や物に触るのが怖くなった	不安になることが多くなった	イライラすることが多くなった	運動しなくなった	今まで楽しんでいたことが楽しめなくなった	収入が減り生活が苦しくなった	子育てや介護の負担が増えた	毎日の生活がづらい	その他	特にない	無回答
石川地域	57	21.1	29.8	19.3	17.5	10.5	10.5	36.8	10.5	8.8	5.3	3.5	21.1	10.5
白木地域	69	47.8	43.5	14.5	14.5	7.2	17.4	30.4	11.6	1.4	—	5.8	13.0	5.8
河内地域	99	35.4	38.4	17.2	25.3	12.1	14.1	48.5	12.1	5.1	4.0	3.0	11.1	—
中村地域	72	44.4	51.4	16.7	20.8	11.1	26.4	48.6	8.3	4.2	1.4	5.6	15.3	2.8
大宝地域	132	27.3	33.3	11.4	18.9	9.1	15.2	36.4	10.6	1.5	5.3	5.3	27.3	2.3

問 48 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの意識に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

「健康に気を付けるようになった」の割合が48.4%と最も高く、次いで「今まで楽しんでいたことが楽しめなくなった」の割合が38.0%、「人と会わなくなった」の割合が36.2%となっています。

回答者数 = 434



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70～74歳で「外出しなくなった」「人と会わなくなった」の割合が、40～49歳で「人や物に触るのが怖くなった」の割合が高くなっています。また、18～29歳で「電子機器（パソコンや携帯電話など）を使ってオンラインで会話をするようになった」の割合が高くなっています。

また、30～39歳で「新しい生活様式に気をつけるようになった」、50～59歳で「働き方の見直しできた」の割合が他世代より高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	外出しなくなった	人と会わなくなった	人や物に触るのが怖くなった	不安になることが多くなった	イライラすることが多くなった	今まで楽しんでいたことが楽しめなくなった	新しい生活様式に気をつけるようになった	健康に気を付けるようになった	家族や友人の大切さを改めて認識することができた	人とのつながりの大切さを知ることができた	働き方の見直しできた	電子機器（パソコンや携帯電話など）を使ってオンラインで会話をするようになった	その他	特にない	無回答
18～29歳	38	31.6	39.5	10.5	15.8	13.2	26.3	28.9	42.1	18.4	21.1	7.9	26.3	—	7.9	—
30～39歳	30	26.7	33.3	20.0	23.3	16.7	36.7	40.0	33.3	26.7	13.3	6.7	20.0	—	13.3	—
40～49歳	56	30.4	30.4	28.6	10.7	10.7	32.1	41.1	44.6	21.4	26.8	7.1	14.3	5.4	10.7	3.6
50～59歳	67	22.4	31.3	16.4	10.4	13.4	43.3	38.8	50.7	25.4	19.4	14.9	9.0	—	3.0	—
60～64歳	39	28.2	33.3	15.4	17.9	5.1	43.6	35.9	59.0	10.3	7.7	10.3	10.3	5.1	12.8	—
65～69歳	53	35.8	32.1	15.1	20.8	3.8	34.0	26.4	39.6	24.5	15.1	5.7	9.4	1.9	11.3	1.9
70～74歳	45	51.1	53.3	11.1	20.0	11.1	51.1	24.4	48.9	24.4	15.6	—	8.9	—	2.2	8.9
75歳以上	104	45.2	37.5	14.4	18.3	5.8	35.6	18.3	55.8	19.2	18.3	—	4.8	—	7.7	6.7

【地域別】

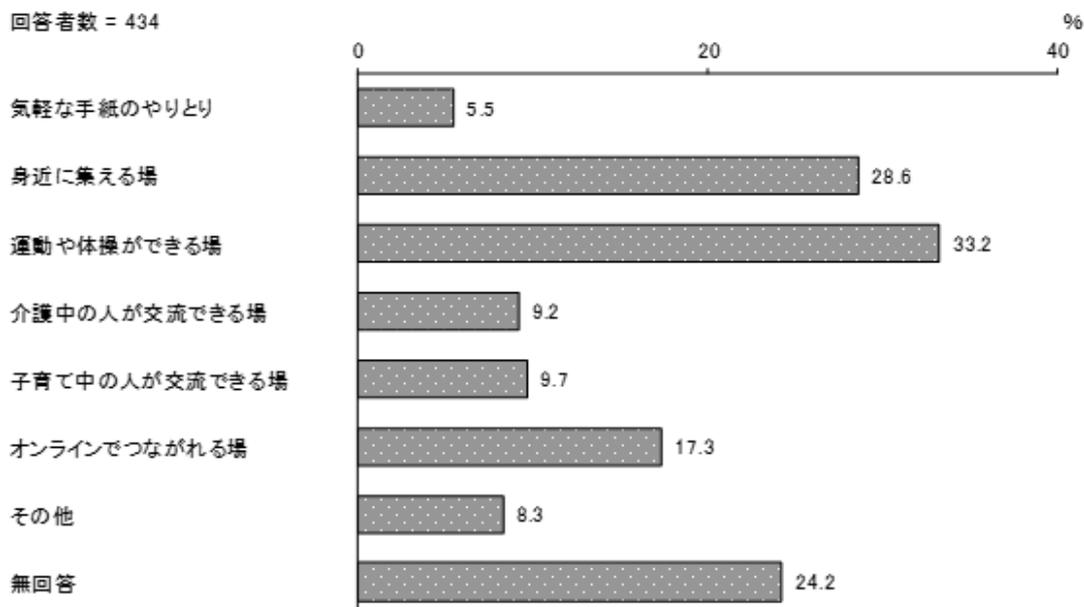
地域別でみると、他に比べ、中村地域で「外出しなくなった」「人と会わなくなった」「人とのつながりの大切さを知ることができた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	外出しなくなった	人と会わなくなった	人や物に触るのが怖くなった	不安になることが多くなった	イライラすることが多くなった	今まで楽しんでいたことが楽しめなくなった	新しい生活様式に気をつけるようになった	健康に気を付けるようになった	家族や友人の大切さを改めて認識することができた	人とのつながりの大切さを知ることができた	働き方の見直しが出来た	電子機器（パソコンや携帯電話など）を使ってオンラインで会話をするようになった	その他	特になし	無回答
石川地域	57	29.8	28.1	21.1	12.3	12.3	26.3	19.3	42.1	21.1	12.3	3.5	12.3	—	12.3	7.0
白木地域	69	37.7	37.7	20.3	13.0	4.3	24.6	29.0	49.3	14.5	14.5	4.3	7.2	5.8	4.3	5.8
河内地域	99	35.4	35.4	13.1	20.2	10.1	43.4	30.3	48.5	25.3	18.2	9.1	13.1	2.0	6.1	1.0
中村地域	72	45.8	47.2	22.2	19.4	9.7	45.8	40.3	50.0	20.8	25.0	5.6	9.7	—	6.9	2.8
大宝地域	132	30.3	33.3	12.1	15.9	9.8	40.9	29.5	48.5	22.7	17.4	6.1	12.1	—	10.6	2.3

問 49 新型コロナウイルス感染症の流行下においても、あったら良いなというものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

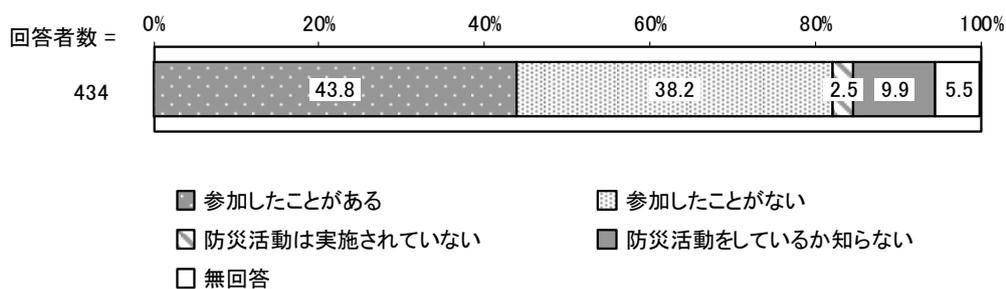
「運動や体操ができる場」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「身近に集える場」の割合が 28.6%、「オンラインでつながれる場」の割合が 17.3%となっています。



(7) 災害発生時における助け合い活動について

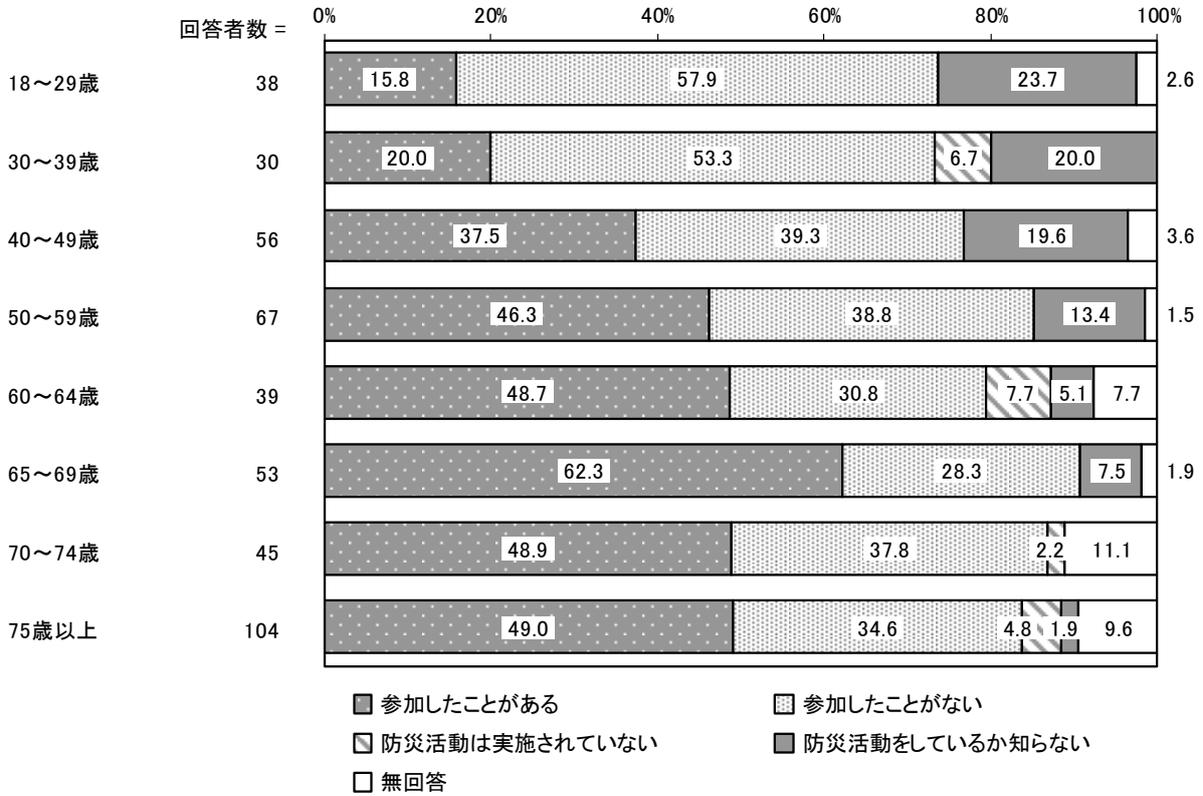
問 50 あなたは住んでいる身近な地域の防災活動に参加されていますか。(○は1つだけ)

「参加したことがある」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「参加したことがない」の割合が 38.2%となっています。



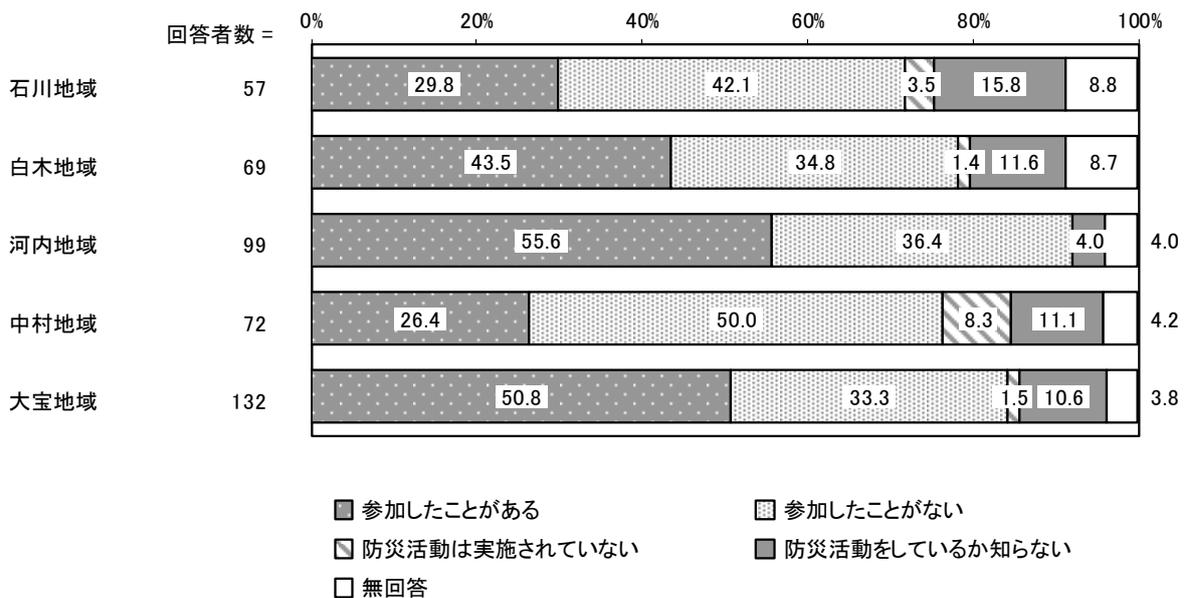
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、65～69歳で「参加したことがある」の割合が高くなっています。また、若い人ほど「防災活動をしているか知らない」の割合が高い傾向があります。



【地域別】

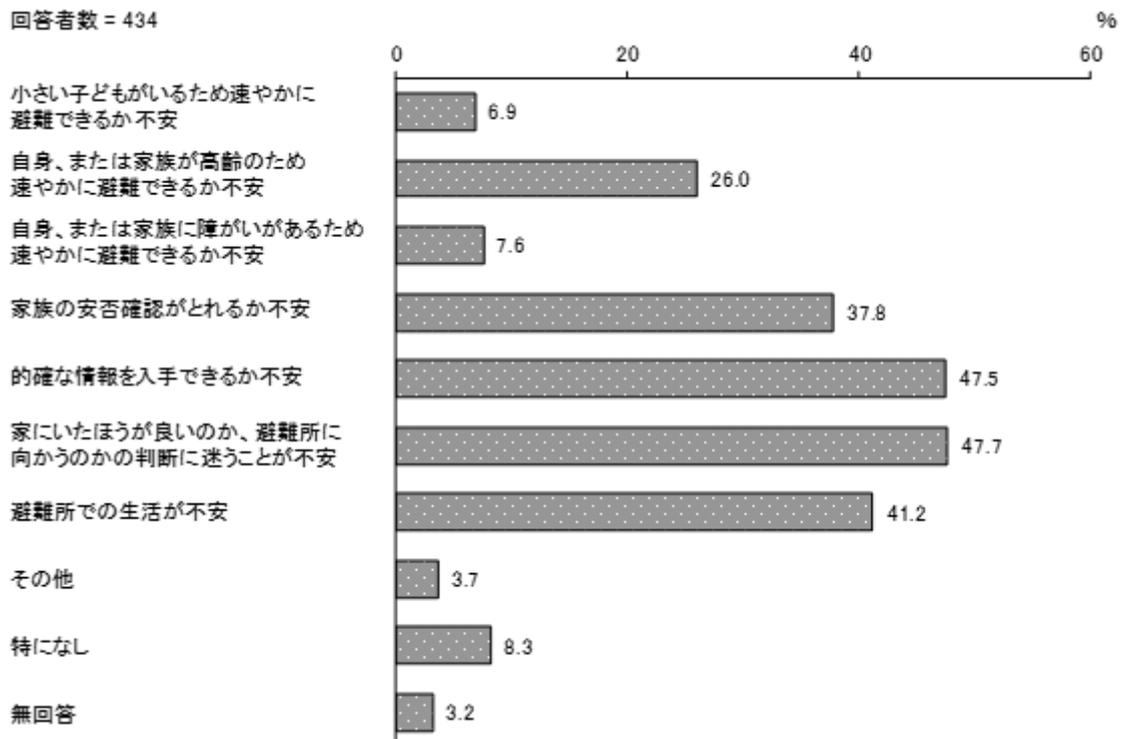
地域別でみると、河内地区、大宝地区で半数以上の方が「参加したことがある」と答えています。



問 51 災害時にあなたが不安に感じることはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「家にいたほうが良いのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「的確な情報を入手できるか不安」の割合が 47.5%、「避難所での生活が不安」の割合が 41.2%となっています。

適格な情報を望む方が多いといえます。



【年齢別】

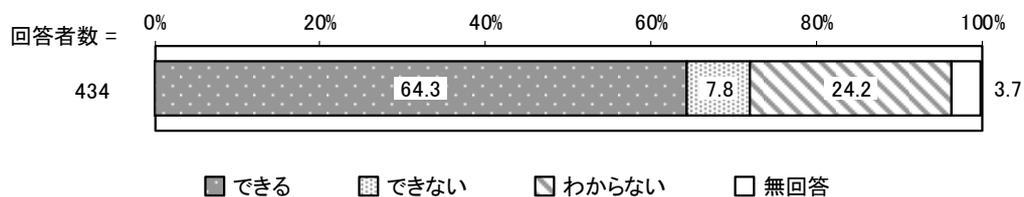
年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安」「避難所での生活が不安」の割合が、75歳以上で「自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	小さい子どもがいるため速やかに避難できるか不安	自身、または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安	自身、または家族に障がいがあるため速やかに避難できるか不安	家族の安否確認がとれるか不安	的確な情報を入手できるか不安	家にいたほうが良いのか、避難所に向かうのかの判断に迷うことが不安	避難所での生活が不安	その他	特になし	無回答
18～29歳	38	7.9	18.4	7.9	55.3	52.6	47.4	52.6	2.6	2.6	—
30～39歳	30	43.3	10.0	16.7	43.3	56.7	46.7	60.0	3.3	3.3	—
40～49歳	56	16.1	17.9	3.6	58.9	50.0	51.8	41.1	7.1	5.4	3.6
50～59歳	67	4.5	23.9	6.0	53.7	62.7	41.8	50.7	4.5	1.5	—
60～64歳	39	2.6	20.5	7.7	41.0	59.0	53.8	43.6	2.6	10.3	—
65～69歳	53	1.9	18.9	5.7	26.4	43.4	45.3	41.5	5.7	11.3	1.9
70～74歳	45	—	26.7	8.9	17.8	40.0	53.3	37.8	4.4	13.3	8.9
75歳以上	104	—	44.2	7.7	21.2	32.7	46.2	25.0	1.0	13.5	6.7

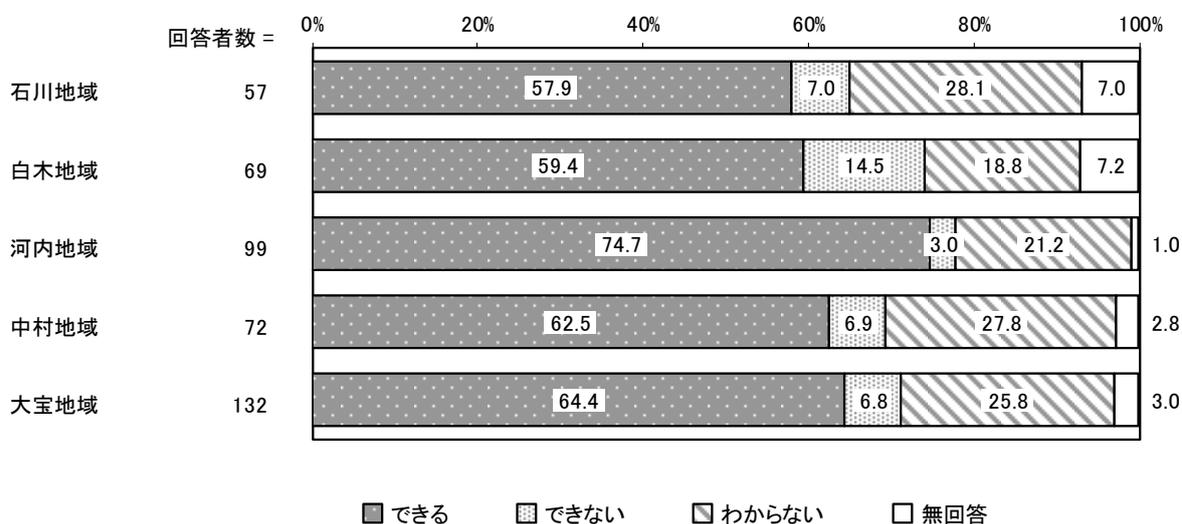
問 52 地震や風水害などが起こったとき、あなたは避難場所などの安全な場所へ一人で避難できますか。(○は1つだけ)

「できる」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.2%となっています。また、「できない」と答えた方が 7.8%います。



【地域別】

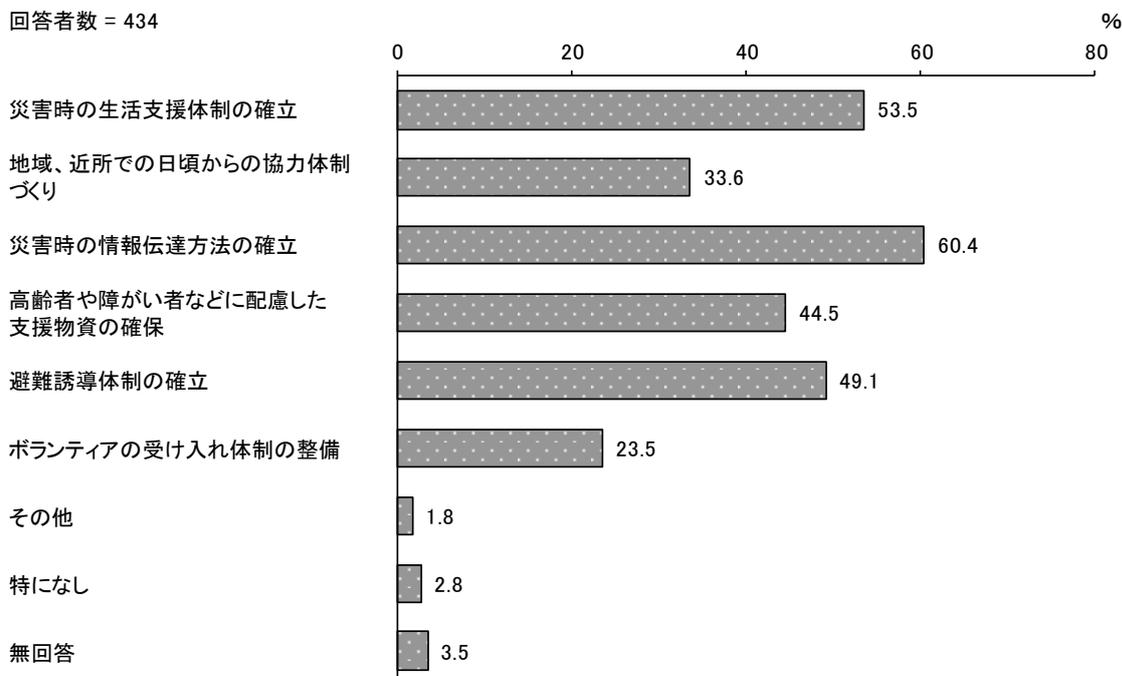
地域別でみると、他に比べ、河内地域で「できる」の割合が、白木地域で「できない」の割合が高くなっています。



問 53 河南町は地震や台風などの災害時に備え、高齢者、障がいのある人など災害弱者に対する対策として、特にどのようなことに取り組むべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「災害時の情報伝達方法の確立」の割合が60.4%と最も高く、次いで「災害時の生活支援体制の確立」の割合が53.5%、「避難誘導體制の確立」の割合が49.1%となっています。

問 51 と同じく、ここでも「災害時の情報伝達方法の確立」を望む声が多くなっています。



【地域別】

地域別でみると、他に比べ、河内地域で「災害時の情報伝達方法の確立」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	災害時の生活支援体制の確立	地域、近所での日頃からの協力体制づくり	災害時の情報伝達方法の確立	高齢者や障がい者などに配慮した支援物資の確保	避難誘導體制の確立	ボランティアの受け入れ体制の整備	その他	特になし	無回答
石川地域	57	57.9	21.1	54.4	42.1	38.6	22.8	1.8	—	7.0
白木地域	69	36.2	24.6	60.9	42.0	46.4	14.5	1.4	2.9	5.8
河内地域	99	53.5	38.4	71.7	44.4	55.6	25.3	3.0	3.0	—
中村地域	72	56.9	38.9	58.3	45.8	58.3	27.8	—	5.6	2.8
大宝地域	132	59.1	37.1	55.3	46.2	45.5	25.0	2.3	2.3	3.0

(8) 記述式項目への回答

問8-2 あなたが上記の生活上悩みや不安を感じていることは具体的にどのようなことですか。

問8-1のあなたが子育てやご家族の介護・介助をしているなかで、生活上悩みや不安を感じることはありますか。で「1. 良くある」「2. ときどきある」と答えた方に聞きました。

主な内容は次のとおりです。

【子育てに関すること】

- ・教育に関する費用の不安。(女性：40～49歳：大宝)
- ・子どもの遊ぶプールと広場がほしい。(男性：30～39歳：白木)
- ・学校、勉強のこと。(女性：40～49歳：中村)
- ・友だち関係。(女性：30～39歳：石川)
- ・学童に入れているが、夏休みなどの早期保育が7時45分なので困っている。(女性：40～49歳：河内)
- ・子どもが体調を崩し、仕事に行けない時。(女性：30～39歳：石川)
- ・鉄道が通っておらず、バスの便がよくないため、子どもが通学するのに困る。(女性：30～39歳：石川)
- ・共働きなので、専業主婦の方と比べて、子どもと接する時間が短く、気にしている。(女性：40～49歳：河内)
- ・子どもが独り立ちできるのかどうか。(男性：50～59歳：石川)
- ・子どもたちの将来のこと。(男性：50～59歳：河内)
- ・子どもたちが安心して走り回ったり、ボールを投げたりできる、自然豊かなところがない。(女性：30～39歳：河内)
- ・子どもが少なくなっているなので、遊ばせる時や、遊びに行かせる時の安全面が不安。(男性：30～39歳：中村)
- ・育児にかかる経済的負担。現在の居住地と実家の距離が遠いので、何かあった時に心配。(男性：40～49歳：大宝)

【家族の介護・介助に関すること】

- ・お年寄りが、地域で負担なく生活できる仕組みをつくってほしい。交通手段・交通費等の支援策を、早急に考えてもらいたい。(男性：60～64歳：河内)
- ・金銭的なことや、自分の健康面に不安。自分が倒れたらどうなるか等。(女性：40～49歳：大宝)
- ・妻がこれ以上ひどくなったらと思うと不安です。娘の近くに引っ越しも考えています。(男性：65～69歳：大宝)
- ・母の認知症が進行していくこと。(女性：50～59歳：河内)
- ・1人で介助で気持ちの浮き沈みがある。(女性：50～59歳：石川)
- ・妻が認知症になっているので不安です。(男性：75歳以上：大宝)
- ・母親は老健に入所しているが、自身も2年前に脳梗塞を発症し、左半身が不自由。今のとこ

ろ妻がほぼすべてのことをしているが、もし、病気やケガをおった場合のことが不安。(男性：70～74歳：白木)

- ・主人の両親、自身の両親の4人を見ているので、1人でも倒れると、どうすればよいのかわかりません。(女性：50～59歳：石川)
- ・父親が動けなくなった時、どうすればよいか。まだ働いているので、介護が、今のデイサービスのみでは不安。(女性：65～69歳：河内)
- ・私もいつかは介護を受けるのであろうが、子どもには迷惑をかけたくないと思う。(男性：50～59歳：中村)
- ・今、コロナ禍で高齢者が病気や自分自身が病気になった時に、すぐに病院などに入院ができるかどうか気になる。(女性：60～64歳：河内)
- ・親の介護でわからないこと(受けられるサービスや制度など)がたくさんあり、手続きが平日しかできず、手間がかかること。(女性：40～49歳：河内)
- ・家族の介護度が進んだ場合、施設入所が困難な現状。仕事のため、妻が介護をしているが、食事があるため、ずっと出かけられない生活。(男性：65～69歳：大宝)
- ・両親と同居だが、介護・介助、金銭的な負担が大きい。(男性：50～59歳：河内)
- ・交通の便がない。車がないとどこにも行けないので、かなちゃんバスを増便してほしい。(女性：30～39歳：河内)
- ・自分のことがしっかりできなくなった時の生活が心配。(女性：75歳以上：不明)
- ・親の介護をどうしていくか。(男性：30～39歳：河内)
- ・療育手帳Aの娘がいます。先行きどうなるか困っています。私ども夫婦は80歳を超え、私自身も障害者1級となり、妻もどちらかという病弱ですので、娘の聞き分けることのできない実情に大変困っております。(男性：75歳以上：白木)
- ・2人とも80歳を越えているので、健康・家事・外出は畑など。いつまで続けられるか。(女性：75歳以上：白木)
- ・今現在は義母が施設に入所しているが、また再び自宅介護となると不安。(女性：50～59歳：河内)
- ・されている側に協力するつもりがない。(男性：30～39歳：中村)
- ・家内が一人で留守の時、心配です。(男性：75歳以上：白木)
- ・河南町の福祉サービスや障害サービスがよくわからず、誰に相談すればよいのか、わからない。(女性：30～39歳：河内)
- ・介護するなかで、同じことばかり言ったりするので、合わせてあげないといけないという思いと、自分自身が温和にならないといけないとの思いがあり、それに対してストレスがある。(女性：70～74歳：中村)

【その他】

- ・車の免許がない不便さ。(男性：50～59歳：大宝)
- ・相談できる場所がない。相談できる人がいないこと。(女性：50～59歳：大宝)
- ・近くに助けてくれる親や兄弟がいない。(女性：40～49歳：河内)
- ・自由時間が少なくなる。(男性：70～74歳：大宝)

問 17-2 気にかかる人にどのような手助けをしましたか。代表的なことを可能な範囲でご記入ください。

問 17-1 で、あなたは、気にかかる人に手助けをしていますか。で、「1. している」と答えた方に聞きました。

主な内容は次のとおりです。

- ・外出時の送迎。粗大ゴミ出し。畑の世話手伝い。(男性：65～69 歳：中村)
- ・ワクチン接種の送迎。(女性：75 歳以上：石川)
- ・時々お声掛け (女性：75 歳以上：河内)
- ・高齢者の方が救急車で搬送された時、付き添いで同乗し、治療の受け答え、支払い等の手伝い。一人暮らし高齢者の心配事の相談事を受け、役場とのつなぎ、連絡をした。(男性：70～74 歳：大宝)
- ・生ゴミ、プラゴミ、カン・ビン等のゴミ出し支援。災害時 (大雨の時) の見守り活動。(男性：65～69 歳：白木)
- ・悩み・困った時の相談・助言。(男性：70～74 歳：河内)
- ・買い物の付き添い。(女性：65～69 歳：大宝)
- ・安否確認の声掛けをして話を聞く。(女性：60～64 歳：大宝)
- ・話し相手 (女性：75 歳以上：大宝)
- ・草刈り等 (男性：50～59 歳：河内)
- ・家にいて大丈夫か、外出していたら帰っているか確かめたりしている。(男性：50～59 歳：石川)
- ・コロナに罹患した時の買い物を代わりにした。(男性：30～39 歳：河内)
- ・外に洗濯物が干してあれば元気として、ない時は声掛けしてその人の家に行く。食事をつくって、届ける。(女性：70～74 歳：中村)
- ・長い間見ない時は、家に食べ物を持って行って、健康確認などをする。(女性：70～74 歳：中村)

問 54 地域における健康づくりや高齢者、子ども、障がいのある方への支援など、町民のみなさんが支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。

主な記述内容は次のとおりです。

【町政・まちづくりに関すること】

- ・住みやすいと思います。子どもたちが、マスクやワクチンを強制されないようなまちであり続けてほしいです。(男性：18～29歳：大宝)
- ・コロナワクチン接種の河南町行政は、大阪府内市内のどの地域よりも手早く、高齢者の厳しい予約制度ではなく、日時を決定くださって接種券を送付してくださって、ありがとうございました。(女性：75歳以上：河内)
- ・地域での協力体制も大事ですが、地域ごとに必要な、情報・サービスなどを適宜伝達できるシステムや、行政が関わっていることがわかることも重要かと思います。わかりやすい窓口・サービスがあるとよいなと思います。(女性：40～49歳：河内)
- ・日頃からお世話になり、ありがとうございます。各自の努力とルールの順守・自覚・我慢が、まちへの負担を減らすことにつながるように思います。(女性：65～69歳：大宝)
- ・防災無線を太子町みたいに各家庭に設置できないか。(男性：75歳以上：河内)
- ・他市のように、高齢者が1日中集える施設や、さまざまな人が参加できる講座の開講をお願いしたいです。(女性：40～49歳：大宝)
- ・高齢者の多い大宝地区に居住しているが、やはり買い物等に不便である。カナちゃんバスの利用は、スーパーで買い物する時間(所用)とバス時間がマッチせず、少し不便を感じ、また、道の駅の出張販売も、もう少し頻度を増加してもらえようしてもらいたいと思います。(男性：75歳以上：大宝)
- ・高齢者・子ども・障害者を支えている家族の負担を軽減する施策を、早急に進めてもらいたい。(男性：60～64歳：河内)
- ・もっとタブレット学習を進めてもらい、コロナ禍でも安心して学べるようにしてもらいたい。他の市などでは、どんどんタブレットで授業をしている。(女性：30～39歳：石川)
- ・駅をつくってほしい、絶対に。ショッピングモールを増やしてほしい。(女性：18～29歳：大宝)
- ・さくら坂から中学校までの歩道・自転車道の整備をしてほしい。通勤時間・夜間のダンプカー、トラック等の運転制限時間を設けるか禁止してほしい。(女性：30～39歳：河内)
- ・ウェブサイトで調べやすくしてほしい。(男性：50～59歳：白木)
- ・河南町の人が行くと、めっちゃ得をする道の駅みたいなどころ。安く食事ができたり、リサイクルショップであつたり、お得クーポンがもらえたり。特に高齢者や、子ども、障害のある人が得する、集いやすくできる工夫をするとかはどうでしょうか。(女性：50～59歳：河内)
- ・急な坂に手すりしてほしい。(女性：50～59歳：大宝)
- ・高齢者は、パソコンや携帯を持たない、使用できない人も少なくない。皆と同じ情報を得ることができづらいので、不公平感があります。(男性：70～74歳：白木)
- ・歩道の整備。建設会社の資材置き場や産廃施設が増え、まちの環境、美化が悪くなった。美しいまちづくりを。(男性：75歳以上：大宝)

- ・地域の交通が不便なのでバス等の本数を増やしてほしい。(男性：60～64歳：河内)
- ・かなちゃんバスもとてもありがたいのですが、役場に止まる前に、スーパーオークワに回ってから役場・かなんぴあに終点。若い人はよいけれど、高齢になると乗り換えなんて大変なこと。少しバス路線を変えるだけで便利になる。(女性：65～69歳：大宝)
- ・子どもの遊び場が少ない。公園でありながら、これはダメ、あれはダメなど、子どもがのびのび遊ぶことができていないように思う。
昭和時代のような、隣近所だれもが知り合い、子どもが悪いことをしていたら叱られるようなまちであってほしい。(男性：50～59歳：大宝)
- ・住みたくなるまちづくり。祭りやイベント等、町外に自慢できるような活性化を目指す。(男性：50～59歳：河内)
- ・安心して暮らせる犯罪のないまちであってほしい。(男性：65～69歳：河内)
- ・兵庫県明石市の取り組みがすばらしく、人口も増えている。河南町に合うもの、合わないものもあると思いますが、よい取り組みは参考にして、前向きに、明るく楽しくチャレンジしていく町政に期待します。(男性：50～59歳：大宝)
- ・高齢者を抱える家庭への金銭的支援。(男性：50～59歳：石川)
- ・コミュニティバスをもっと増やしてほしいです。車がないと、生活しづらいです。(男性：50～59歳：大宝)
- ・河南町にパターゴルフ場をつくってほしい。料金を払ってでも楽しみたい。使っていない田畑を利用して。(女性：75歳以上：白木)
- ・障がい者手帳を持っている人に対し、どんなサービスを受けられるのか、支援制度があるのか、わかりやすいパンフレットをつくってほしいし、窓口の人にも丁寧に説明してほしい。
(女性：30～39歳：河内)
- ・防災無線の音がまったく聞こえないため、LINEなどで通知が来れば、災害時など安心だと思う。(女性：30～39歳：白木)
- ・河南町のホームページに、町民が書き込めるサイトをつくってほしい。(男性：65～69歳：白木)
- ・行政での状況内容等は、今、ネットの時代だから、スマホ（パソコン）等を利用して情報を広く公開する。高齢者だけの家庭には、月に一度くらいの訪問情報提供する必要あり。地域貢献した人には、表彰制度を設けるとよい。(男性：70～74歳：大宝)
- ・コロナ禍になってよく、町のホームページを見るようになったが、更新されるのも遅いし、探したい情報も探しにくい。もっと情報発信をしていくべきだし、今どき回覧板も不要であると思う。(女性：40～49歳：石川)
- ・高齢者への政策や住みやすいまちづくりはできているが、子どもが住みやすいまちとはいえない。もっと子どもがまちでより成長しやすく、活動しやすいまちづくりを行わないと、子どもがまちを離れていくばかりだ。(女性：18～29歳：大宝)
- ・河南町として、観光客の集客、有名ブランド（会社）とのコラボ等々で、税収アップを図ることで、福祉サービスの向上および新サービスのきっかけがつかれると思う。(男性：40～49歳：河内)
- ・新型コロナウイルス感染症で、仕事も休みになり、給料はすごく減りました。広報には、貸付のこともありましたが、それにも当てはまることなく、とても残念です。もう少し考えて

もらいたい、切に思います。(女性：50～59歳：不明)

- ・高齢化に対応した地域交通網の充実、憩いの場づくり。まちの特質である自然を活かした町民交流イベントの充実。(男性：70～74歳：白木)
- ・地区内に資材置き場がかたまっているため、騒音、焼却に伴う悪臭が毎日あり、時には、夜中に重機で石を割る音が数日続き、寝不足となることも。住みにくいところです。(女性：50～59歳：白木)
- ・自治会への加入者が減ってきている。班の運営ができていないところが出てきている。自治会に頼らない政策を考えてください。(男性：70～74歳：大宝)
- ・高齢者だけではなく、若い世代の孤立問題。健康診断の中に、歯の定期検診もあるとよい。(女性：30～39歳：大宝)

【居場所づくりに関すること】

- ・高齢者や共働き家庭の子どもの孤食をなくすため、空き家を利用し、地域における「子ども食堂」をつくり、高齢者や子どもと一緒に食事ができるような場をつくってほしい。(女性：60～64歳：大宝)
- ・休耕田等を利用し、ボランティア等で根菜類等をつくり、困窮者等に配る。また、収穫時に子どもたちに手伝ってもらい、農業の楽しさ、収穫の喜びを味わってもらおう。収穫したもので炊き出し等しても面白い。(男性：50～59歳：河内)
- ・一人暮らしの高齢者に、公民館などを利用して学校給食を昼食に配膳してはどうか(有料)。(男性：75歳以上：大宝)
- ・集会場に喫茶室をつくり、近隣の人たちの団らんの場にして、地域のコミュニケーションをよくする。(男性：75歳以上：石川)
- ・百歳体操や百円カフェ、ボランティア等で、体調、近況、さまざまな情報入手など身近で「集う」ことが、よい環境であった。コロナにあつて、さまざまな企画が中止となって、体力気力が低下してしまっている。活力は人がつくるものであるのかなと思いますので、集まることへ、プラスアルファできることを考えていきたいと思います。(女性：50～59歳：中村)

【近所づきあい・自治会に関すること】

- ・子どもが生まれるまでは、ご近所付き合いは一切ありませんでしたが、子どもが生まれてからは、まちでの付き合いは大事だなと感じました。気軽にあいさつし合える、あたたかいまちになればよいと思います。(女性：30～39歳：河内)
- ・今までは当たり前であった、世代を超えた家族間の助け合い、隣近所同士の交流、地域の活動等が、世の中の変化の中で、過疎化・孤立化が進んでいるのを実感する。自分たちの生活維持が最優先となり、家族間であっても、支え合う余裕がなくなっている。安全・安心に暮らすには、行政だけに頼るだけではなく、自分たちで支え合う気持ちの醸成ができればと思っています。(男性：70～74歳：大宝)
- ・広い地域でとらえることも大事ですが、向こう三軒両隣の関係を密に築く機会をつくる活動ができないか、考えてしまいます。(男性：65～69歳：大宝)
- ・年齢問わず、お互いに協力し合える地域づくりを願っています。(男性：65～69歳：大宝)
- ・常日頃から、ご近所様と挨拶して顔なじみにして生活する習慣が大切かと思っています。いず

れ若い方たちもお年を召す時が来るので。(女性：75歳以上：大宝)

- ・普段から交流を持って、いざという時が来たら誘い合えるような間柄になっておくこと。(女性：75歳以上：中村)
- ・引っ越しをしてきて2か月が経ちました。引っ越しの挨拶にうかがった時に、ご近所の方の顔を拝見しましたが、それ以後は、お会いする機会がありません。現状は、まったく顔すら知らないで、支え合うなんて思いに至らないのが寂しいです。(女性：50～59歳：大宝)
- ・地区によっては、同じ人が何年も続けざるを得ない地区もある。すべての住民を対象に、広く浅くボランティアをすることが大切。ボランティアをしない人ほど苦情も多いし、人に何かしてもらおうことのありがたみを感じていない。(女性：50～59歳：河内)
- ・まずは近所で知り合いをつくる。自治会役員や民生委員さんとも立ち話ができるくらい、知り合いになる。コロナで町内会のイベントなどが中止になり、役員さんが何をされているのか、何もわからないので不安。(女性：70～74歳：河内)

【情報に関すること（不安）】

- ・自身で動ける時はよいけれど、動けなくなった時の情報等入手できるような形を整えてほしい。(女性：60～64歳：白木)
- ・老人二人暮らしなので、デジタルに弱く情報についていけない。サポートしてくれる人があればと願う。(女性：75歳以上：大宝)

【移動手段に関すること（不安）】

- ・一人暮らしの者にとっては、「車の運転ができなくなった時に、どうやって生活していけばいいのか」が一番の心配事です。「今のうちに便利なところへ移った方がいいのか」「今から転居できるのか」等々、考えます。(女性：60～64歳：中村)
- ・ここ数年、バスの本数が減り、富田林駅、喜志駅に出るのが、時間を測るのが難しくなっている。バスを小さくし、本数を増やしてほしい。切実に望みます。(女性：50～59歳：大宝)
- ・高齢になると、病院通いがつきもの。かなちゃんバスでは通えない。電車もない。そのところは不便で不安。(女性：75歳以上：白木)
- ・河南町は、自然に恵まれたよいところです。この先、買い物等移動が大変ですが、家内がまだ運転して元気なので、生活も以前通りできますが、何年か先が不安があります。(男性：75歳以上：河内)
- ・河南町には鉄道がないため、近鉄富田林駅へは金剛バスを利用するが、本数も少なく最終バスが早すぎるため、利用するには不便。総合病院がないので不便。大きな病院がほしい。現在居住しているところは、店舗が一つもない。買い物をするにはあまりにも不便である。かなちゃんバスは、大いに利用していきたいと思う。(男性：75歳以上：河内)

【医療・介護・健康に関すること（不安）】

- ・総合病院とまではいなくても、内科・外科・耳鼻科・整形外科等が揃った医療地域があればよいと思う。高齢で免許返納した人に、金剛バスのチケット配布。高齢者と子どもたち（放課後保育、夏休み保育）とのお互いに見守り合うふれあいの場所づくり。(女性：65～64歳：大宝)

- ・河南町大宝地域は、住居環境はよく、健康に暮らしています。(男性：75歳以上：大宝)
- ・介護離職や遠距離介護なども、実態を把握する必要があるのかなと思います。(女性：50～59歳：大宝)

【安全・安心に関すること】

- ・災害時の避難場所は、川の近くで危険だと思っています。地域にある空き家を活用する方法を検討してはどうかと思う。あらかじめ災害時に利用する避難場所として、空き家を登録するなどの制度があれば、ありがたい。(男性：60～64歳：中村)
- ・災害発生時でなくても、普段から身近な場所に危険はある。ふたのない用水路、整備されていない竹やぶなど。高齢者、子ども、障がいのある方にとっては尚更のこと。(女性：40～49歳：中村)

【その他】

- ・高齢者や障がい者に対しては、個人が気付けば助ければよいと思います。(男性：60～64歳：中村)
- ・戦争、天災等による海外の難民の受け入れ。青少年の海外の人たちとの交流。海外研修のための一部援助や、海外研修生の受け入れ、ホームステイ等。グローバルな教育。(男性：75歳以上：大宝)

河南町地域福祉に関するアンケート調査結果報告書

令和4(2022)年3月



河南町 健康福祉部 高齢障がい福祉課

〒585-8585

大阪府南河内郡河南町大字白木1359番地の6

TEL:0721-93-2500



社会福祉法人 河南町社会福祉協議会

〒585-0014

大阪府南河内郡河南町大字白木1359番地の6

TEL:0721-93-6299

河南町役場内